

3月～5月の支出（図書、備品、慶弔、飲食除く）

419,791円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	104,844円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	37,987円
通信費(携帯電話、折込)	276,960円
支出計 15/3/2～15/5/31	419,791円

寄付仲加、加り、イヤ、効以、O、K、Sサ 120,000円

市政を考える

月刊武松

発行日

15/6/1

第151号

16000部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

小田原市斎場 もう延期!?

実施方針公表で、多くの事業者から工期の半年以上の延期希望が！

■小田原市斎場これまでの経緯

小田原市斎場は、供用開始から40年以上が経過し、老朽化が著しく、今後に想定される火葬需要の増加を考えると、新たな斎場の整備が喫緊の課題となっています。

この斎場が、これまでも周辺市町の住民にも広く利用され、県西地域にとり重要な役割を果たしていることから、小田原市、南足柄市、大井町、松田町、山北町、開成町、そして箱根町の2市5町による「小田原市斎場事務広域化協議会」で、新斎場整備に向けた検討を行っています。

平成24年度

- ・小田原市斎場として整備（小田原市が事業主体）
- ・現斎場と同一敷地内で整備することを決定

平成25年度

- ・基本的なコンセプトや火葬炉数を定める
炉数：火葬炉 9炉（式場、動物炉は非設置）
駐車場：72台程度（バス用含む）
- ・整備の事業手法としてPFIを選定

平成26年度

- ・PFI事業者の選定に向けて取り組む
- ・平成30年4月1日の供用開始をめざす
- ・平成27年2月 実施方針と要求水準書案を公表

■実施方針に示されたスケジュール

基本協定締結 平成27年10月

事業契約締結（議決）

平成27年12月

施設等の設計、建設

平成27年12月～平成30年12月

施設等の所有権移転

平成29年12月（平成30年4月供用開始分）、及び
平成30年12月（上記以外の残工事分）

施設等の運営準備

平成29年12月～供用開始まで

施設等（駐車場及び外構等の一部を除く）の供用開始

平成30年4月

施設等の運営・維持管理

平成30年4月～平成51年3月

現斎場の全面稼働停止

平成30年3月末

現斎場の解体・撤去

事業契約締結の日～平成30年12月

（解体・撤去の開始時期は提案された工程による）

■実施方針に寄せられた質問

質問（多くの社より同様の質問）

実際に設計業務が開始できるのは平成28年1月からになると思われます。その上、既設斎場を運営しながらの施設整備である事等、安全面への配慮からも平成29年12月に建物を一部竣工し、平成30年4月に供用開始とする期間設定はあまりにも短いと考えます。よって供用開始時期はもう少し（最低でも6か月以上）先延ばしするべきと考えます。

解答（小田原市）

整備期間については、ご指摘を踏まえ、設計期間、施工期間の変更を検討します。詳細は、募集要項公表時に示します。

■お知らせ(5月25日発表)

小田原市斎場整備運営事業に係るPFI事業者の募集 手続の一部延期について

平成27年2月17日付で公表した『小田原市斎場整備運営事業実施方針』に記載した、募集に係る手続の一部について、次のとおり延期することとします。なお、変更後のスケジュールについては、後日お知らせします。

1 平成27年5月以降に予定していた、募集要項等の公表などの事業者募集に係る手続を延期します

2 事業費の債務負担行為設定に関する議案について、平成27年市議会6月定例会への議案上程を見送ります

実施方針等外部委託して、これでは困ります。

選挙、葬儀、議長選

■市議会議員選挙

4月26日投票日の市議会議員選挙では、お陰様で**2646票**（9位/31人）で5回目の当選を果たしました。投票率が41.91%（-3.29ポイント）にもかかわらず、153票の上乗せができました。皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。選挙期間中に有給休暇等で運転手や車上運動員にご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

■今回の私の選挙

戸別訪問：0件、リーフレット：なし、
後援会等名前集め：5件、投票依頼電話：0件、
出陣式：なし、決起集会：なし、紅白幕：なし、
だるま：なし

■父の葬儀

父は、3月中旬に療養型の病院に転院した後、徐々に痩せていったのですが、4月28日に当選の報告ができました。その際には、座って食事もしていたのですが、5月4日あたりから、血圧が急低下したりするようになり、点滴となりました。そして、5月6日夜に亡くなりました。5月9日通夜、5月10日葬儀告別式と、私が喪主を務め、至らない点多かったと思いますが無事に送ることができました。

■会派結成

小田原市議会では、任期開始後約1週間で所属会派の届出をしなければならず、5月7日に新会派**政和**を結成し、代表は、大村学議員となりました。

■選挙収支報告書の作成提出

市議会議員選挙は、選挙終了後2週間以内に選挙管理委員会に収支報告書を提出しなければならず、その提出期限が5月11日となっていたのですが、5月7日に提出しました。

■市議会議長選挙

市議会議長は、5月15日の小田原市議会5月臨時会において、議員の投票により決定します。選挙に臨む前に、様々な駆け引きと交渉があるのですが、お陰様で議長となることができました。

■臨時会当日の市議会議長選までの流れ 議会運営委員会

議長・副議長・監査委員の候補者の有無の確認と
絞り込み



議長候補所信表明演説（試行）

議長候補は、希望者のみ所信表明演説（非公開）



小田原市議会 5月臨時会

議長選挙→就任あいさつ→副議長選挙……

議長選挙の結果

武松 忠 24票
関野 隆司 4票

副議長選挙の結果

俵 鋼太郎 22票
田中 利恵子 5票
安野 裕子 1票

議長就任あいさつ

このたび皆様の御推挙によりまして小田原市議会議長に就任いたしました武松忠でございます。改選後初めての議会で議長に選んでいただき、その責任の重さを痛感しております。

私の今期の行動目標は、「リスクを恐れず一歩前へ」であります。先日行われました市議会議員選挙の投票率が約40%となり、地方議会を取り巻く環境は、議会の機能に対する疑念や政務活動費の使途に対する疑念など厳しさが増しております。

そこで、これらを少しでも払拭するために

- ・議会報告会の充実
- ・継続的に改革検討できる仕組み作り
- ・積極的な情報発信
- ・前期からの課題の早期検討

について、しっかりと取り組んで参りたいと考えております。

議員各位におかれましては、何とぞ御支援そして御協力をお願い申し上げまして、就任のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

■就任翌日から公務

5/16-18 日光市姉妹都市交流（日光市）
5/20 神奈川県市議会議長会総会（横須賀市）
5/27-28 関東市議会議長会総会（水戸市）
6/1 全国自治体病院協議会（都市センタービル）…

武松政策研究会からのお知らせ

6月の個人議会報告会は都合により中止します。

E-mail : ttakemat@hk.airnet.ne.jp

HP : <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>



HPIは、「たけまつただし」で検索 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通 0051228 武松政策研究会 武松忠

6月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

74,944円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	13,510円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	12,501円
通信費(携帯電話、折込)	48,933円
支出計 15/6/1~15/6/30	74,944円

寄付 0さん、匿名さん

13,000円

市政を考える

月刊武松

発行日

15/7/1

第152号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者: **武松 忠(市議会議員)**
武松政策研究会

小田原城天守閣耐震改修!?

工事に伴う休館は、2015年7月1日から2016年4月下旬まで!

■2015年7月1日から2016年4月下旬まで休館

小田原城天守閣は、耐震改修工事及び展示更新のため休館します。なお、小田原城歴史見聞館、遊園地など城址公園内他施設は、工事期間中も通常通り営業します。

■継続使用には耐震補強が必要

2012年度に実施した耐震診断の結果、今後継続的に使用するためには耐震補強が必要であるとの診断内容だったことから、来館者の安全確保のために工事を行うものです。なお、2013年3月に一部耐震改修工事を行い、耐震補強の専門家からは当面は使用可能との意見をいただいていた。

■工事期間中の入場と外観

工事期間中は入ることができません。天守閣全体の工事となるため、来館者の安全を考慮して休館します。また、屋根・外壁等の改修に際し、天守閣全体が工事足場及びシートで覆われますので、これらの工事を行っている間は、見られなくなります。

■城址公園内の他施設は通常通り開館・営業

小田原城歴史見聞館など天守閣以外の各施設は、通常どおり開館・営業します。また、城址公園内の常盤木門やHaRuNe小田原内「ハルネギャラリー」などを活用したイベントを予定しています。更に、普段は公開されていない銅門内部の一般公開も行う予定です。

■展示は全面更新

小田原城を中心に、小田原の歴史的魅力を伝える、ストーリー性のある展示になります。

1階: 江戸時代の小田原城

2階: 小田原北条五代の歴史や戦国時代の小田原城の様子を紹介

4階: 摩利支天像の祀られていた空間を木造で再現(図1)

■摩利支天 まりしてん 原語のMaricilは、太陽や月の光線を意味する。摩利支天は陽炎(かげろう)を神格化したものである。陽炎は実体がないので捉えられず、焼けず、濡らせず、傷付かない。隠形の身で、常に日天の前に疾行し、自在の通力を有すとされる。(一部省略)日本では、護身、蓄財などの神として、中世以降信仰を集めた。楠木正成は兜の中に摩利支天の小像を箆めていたという。また、毛利元就は「摩利支天の旗」を旗印として用いた。山本勘助や前田利家といった武将も摩利支天を信仰していたと伝えられている。

(ウィキペディアより抜粋)

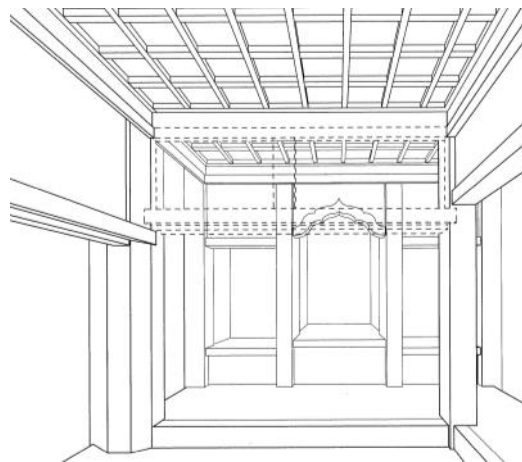


図1 摩利支天を祀る空間の復元パース

小田原城天守最上階に祀られていた摩利支天像は、現在も復興天守最上階の、三層天守の姿をした厨子の中に安置されている。この像は武士の守りの本尊とされ、貞亨3年(1686)に小田原藩主大久保忠朝が、天守に奉安したものであり、元禄16年(1703)の大地震で天守は全焼したが、この像のみ災いを免れたので、御天守摩利支天と呼ばれ、さらに尊崇されたといわれている。大久保神社模型と東博模型の2基の模型には摩利支天像を祀る空間が再現されており、この像の周りに他の天守七尊(大日如来・阿弥陀如来・如意輪観音・弁天天女・子安地藏・薬師如来)が安置されていたことなど、この調査により新たな知見を得ることができた。

(小田原城天守模型調査報告書より抜粋)

耐震工事他改修概要

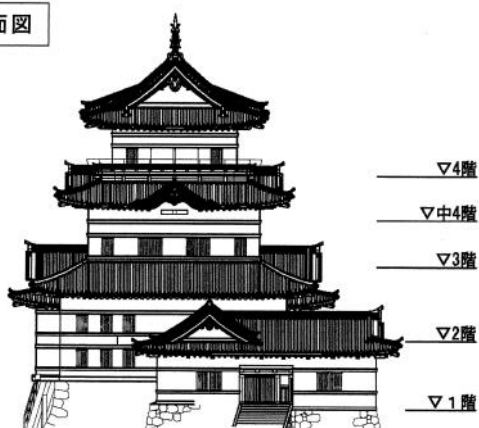
■耐震・展示更新工事内容

総事業費：約9億9000万円

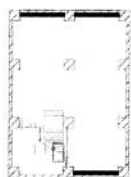
工事内容：

耐震壁等設置、スリット（切り込み）加工
屋根補修、外壁全面塗装、
機械設備工事、電気（空調）設備工事、
展示制作設置業務（摩利支天空間再現業務含む）、
工事監理

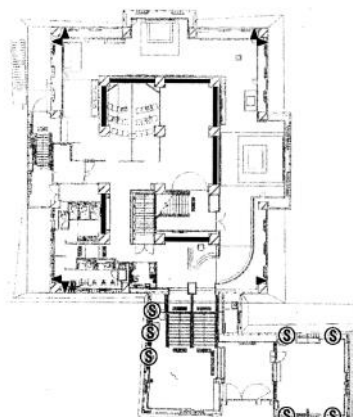
南側立面図



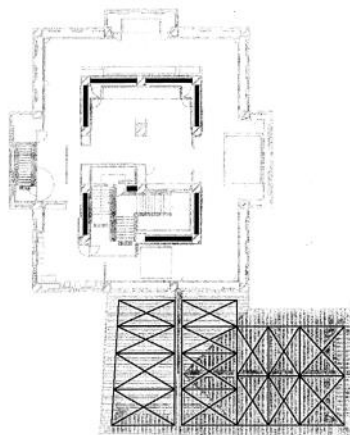
地下1階平面図



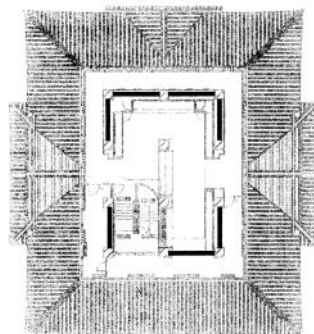
1階平面図



2階平面図



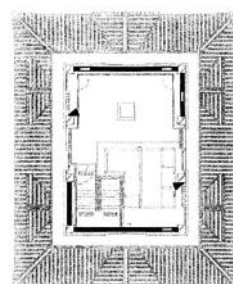
3階平面図



中4階平面図



4階平面図



凡 例

	耐震壁
	耐震スリット
	水平鉄骨ブレース

凡 例

	耐震壁
	耐震スリット
	鉛直鉄骨ブレース

用語解説

耐震スリット

壁の一部を切り、柱への応力集中を下げる施工

鉛直鉄骨ブレース

柱と梁の内側から鉄骨の筋違枠で補強

水平鉄骨ブレース

梁の内面から鉄骨の筋違枠で補強

武松政策研究会からのお知らせ

7月の個人議会報告会は、都合により中止します。

8月の月刊武松発行配布は、都合により中止します。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>



HPIは、「たけまつただし」で検索 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通 0051228 武松政策研究会 武松忠

7～8月の支出（図書、備品、慶弔、飲食除く）

91,558円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	17,730円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	19,185円
通信費(携帯電話、折込)	54,643円
支出計 15/7/1～15/8/31	91,558円

寄付 Nさん、Aさん 30,000円

市政を考える

月刊武松

発行日
15/9/1

第153号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

どうなる芸文センター整備!?

約21億円（28.7％）の予定価格超過で入札不調!?



図1 芸術文化創造センター実施設計外観

サブホール

平床形式のホールで、最大300席の客席を確保。発表会や展示、コンサートなど幅広く利用できる。

2007年10月 県企業庁と建築協定締結。

住民訴訟があり入札がおこなわれず。

■加藤市長公約の再開
発地区のホールを見直し
2008年8月 三の丸地区については、「新たな市民ホールと周遊拠点機能を設置する」と

約25年に渡る新市民会館建設の経緯をまとめます。

■地方裁判所現地再建で建設用地大幅減

1992年3月 市民会館整備に関する調査報告書

情報化社会や国際交流にも十分対応し得る高度な複合施設として、大・中・小の新しい多目的ホール群が提案され、ホールの適正規模は、1500席以上2000席まで。 →少年院・裁判所移転調整

1999年2月 (仮)城下町ホール建設検討委員会組織

2000年3月 地方裁判所現地再建で用地大幅減確定

(仮)城下町ホール建設市民委員会を組織

2003年3月 同市民委員会が、市長へ報告書を提出

2005年6月 基本構想策定

2005年10月 設計者公募 238件の設計提案

設計者選定委員会が(株)山本理頭設計工場を選定

2006年6月 基本設計完

2007年3月 実施設計完

(仮)城下町ホールメインホール

中ホール規模（1階席のみ利用で700席）、劇場型（1100席）、コンサート型（1360席）など、それぞれの演目にふさわしい形式に可変可能。

いう機能配置の基本方針を決定

2009年3月 小田原駅・小田原城周辺まちづくり検討委員会による検討結果

市民ホールコンセプト 周辺景観と調和、専門性を担保、市民参加、にぎわいの4つが示された。

建設の前提条件となる建設用地を拡張することができれば、より良い機能の市民ホールができ、景観形成にとっても好ましい。

■(仮称)城下町ホール改め市民ホール整備について

- ・市民ホール整備は、三の丸地区に計画し、建設用地の拡張と並行して再設計し、2014年秋を目標に開館を目指す。
- ・現市民会館については、耐震性を確保した上で、新しい市民ホールが完成するまでの期間は使用を継続する。

■市民ホールの整備

- ・2011年度中を目標に現市民ホール用地南側民有地の一部を取得し、建設用地を拡張する。
(約3000㎡) 裏面に続く→

- ・市民ホール建設に向けて専門的観点から設計等の準備作業を行うための市民ホール建設準備会を設置し、2009年度中を目標に施設整備の基本的な方針を決定する。

2011年3月 東日本大震災 →建設費の高騰

2012年12月 設計プロポーザルにあたり、市民ホールが、芸術文化創造センターに

2013年9月 東京オリパラ2020決定→建設費の高騰

■芸術文化創造センター基本設計(2014年4月)

- ・大ホール(1171席)、小ホール、スタジオ、展示室等

■芸術文化創造センター実施設計(2015年6月)

- ・大ホール(1100席):図2、小ホール:図3、大スタジオ:図4、展示ギャラリー:図5
- ・建設費約74億円を想定(基本設計時は65億円)
- ・2017年秋オープン予定
- ・開館から5年程度は直営で運営し、文化財団の設立等も視野に入れ、再度検討する。



図2 実施設計 大ホール(1100席 1F:708席 2F:392席)

■芸術文化創造センター入札不落

予定価格 72億9748万6560円(税込み)

入札状況 入札者 鉄建建設(株)

入札価格 93億8844万円(税込み) 2回目

入札結果 不調(予定価格超過)

中堅ゼネコン1社による不落、約21億円(28.7%)の予定価格超過です。

機能と設計の見直しは必須です。



図3 実施設計 小ホール(289席)



図4 実施設計 大スタジオ(リハーサル、小規模公演、展示)



図5 実施設計 展示ギャラリー

武松政策研究会からのお知らせ

9月の個人議会報告会は、都合により中止します。

芸術文化創造センター関係の報告(9/8厚生文教常任委)

一般質問の日程(9/14、9/15、9/16、9/17)

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>



HPIは、「たけまつただし」で検索 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通 0051228 武松政策研究会 武松忠

9月の支出（図書、備品、慶弔、飲食除く）

71,961円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	18,855円
交通費(燃料代、高速代)	6,378円
通信費(携帯電話、折込)	46,728円
支出計 15/9/1～15/9/30	71,961円

市政を考える

月刊武松

発行日
15/10/1

第154号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

小田原市の人口減!?

小田原市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(案)から

最近特に、「小田原って、住みやすく災害も少ないのにどうして人口が減っているの?」とよく聞かれるようになりました。

月例の人口統計では、どの世代が、どこへ転入出しているのか?などは公表されていません。今回、国の政策で“ある、まち・ひと・しごと創生”関連で人口ビジョンをまとめるにあたり、データが示されたのでポイントを以下にまとめます。

■小田原市の人口と人口推移

図1 人口の推移

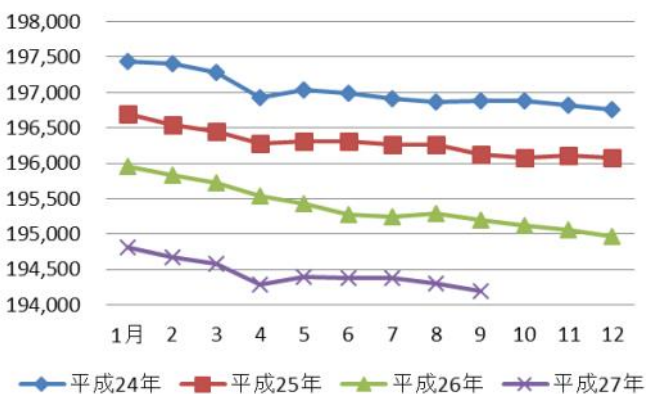


表1 小田原市の人口（2015年9月1日現在）

			前月からの増減	前年同月からの増減
人口	総数	194,190 人	△ 114	△ 1,007
	男	94,713 人	△ 22	△ 559
	女	99,477 人	△ 92	△ 448
世帯数	80,830 世帯		14	559

表2 2015年8月中の人口増減内訳

	総人口	自然増減	社会増減	転入	転出
総数	△ 114	△ 45	△ 69	444	513

■人口見通し

- 小田原市の総人口は、1999年の200,695人をピークに漸減しています。
- 小田原市の総人口は減少を続け、2040年には158,299人となっています。
（国立社会保障人口問題研究所の推計）

■年齢3区分別人口推移

- 生産年齢人口は、2000年頃をピークに、近年は減少傾向です。
- 1975年以降、年少人口は一貫して減少傾向。一方、老年人口は一貫して増加傾向です。

■自然増減（出生数－死亡数）

- 出生数は減少を続ける一方で、死亡数は増加し続けています。
- 2005年以降、死亡数が出生数を上回ります。
- 合計特殊出生率は、1.24（2013）で、改善傾向にあるものの、国、県よりも低く、人口維持に必要な2.00と大きくかい離しています。

表3 合計特殊出生率の比較

	2005	2013
市	1.20	1.24
国	1.19	1.31
県	1.26	1.42

※合計特殊出生率

一人の女性が、一生に産む子供の数の平均値。

■人口の推移の内訳

- 1971年以来、社会増減に関わらず、自然増のために総人口は増加傾向にありました。
- 徐々に自然増の数が少なくなり、1999年以降は社会減を補いきれず、総人口が減少に転じました。
- 2005年以降、自然減に転じています。
- 2007年以降は、総人口も減少に転じています。

■年齢階層別人口移動の推移

- ・各年、20～29歳の間に人口流出が見られます。
- ・各年、60歳以上では、人口流入傾向が見られます。

図2に年齢階層別人口移動の推移を示します。これは、1995年から2010年まで各5年間毎の人数をグラフ化したもので、■の2005→2010年では50代後半以降の人口流入傾向になっています。

首都圏の端である小田原の特徴なのかもしれませんが、大学進学や就職で転出し、気候温暖で今のところ災害が少ないため、定年以降に転入する傾向のようです。これは、税金を納める生産年齢人口が薄くなることから税収減となり、その一方、病院や介護を必要とする人口が増えることから、税支出が多くなります。出生数も減っていることから、将来的な収支は、さらに悪化します。

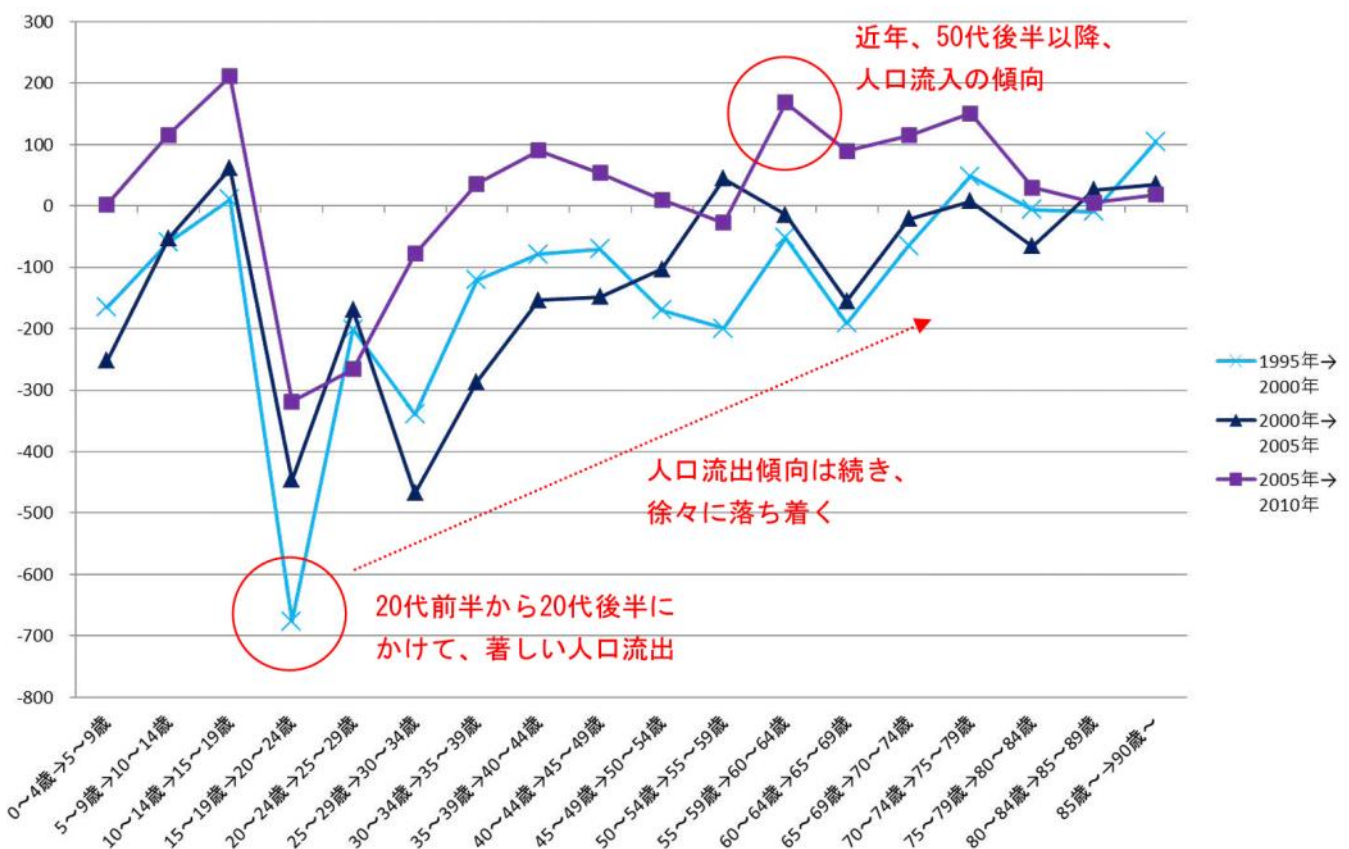
20～29歳の流出を食い止める対策が必要！

■近年の転入元、転出先の特徴

- ・中部地方からは、転入超過です。転入元は主に静岡県です。
- ・東京圏へは、転出超過です。
- ・2012、2013年ともに、横浜市への転出超過（2012年は139人、2013年は109人）及び箱根町からの転入超過（2012年は115人、2013年は156人）が目立ちます。
- ・2012年は、開成町、秦野市、南足柄市への転出超過（開成町へ92人、秦野市へ85人、南足柄市へ57人）が目立ちます。2013年になると、開成町とは転入転出が均衡しました。秦野市、南足柄市へは転出超過傾向が続いています。
- ・2012、2013年ともに、東京都への転出超過（2012年は77人、2013年は157人）が見られ、特に2013年が顕著です。

近隣市町への転出対策が必要！

図2 年齢階層別人口移動の推移(小田原市)(1995～2010年)



武松政策研究会からのお知らせ

日 時：10/24(土)18時～20時

場 所：小田原市民会館6階 第一多目的室

テーマ：「**芸文センター・斎場について**」

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。



HPIは、「たけまつただし」で検索 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通 0051228 武松政策研究会 武松忠

10月の支出 (図書、備品、慶弔、飲食除く)

69,252円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	12,352円
交通費(燃料代、高速代)	8,544円
通信費(携帯電話、折込)	46,156円
支出計 15/10/1~15/10/31	69,252円

寄付 Kさん 10,000円

市政を考える

月刊武松

発行日
15/11/2

第155号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者: 武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

小田原駅東口 便利に賑やかに!?

11/19駐車場・11/28市民交流センター・11/27トザンイースト

■小田原駅東口駐車場

2015年11月19日 10:00オープン

入口が小田原駅交番前から、お城通り交差点に変更
※レンタサイクル事業は、12月1日から営業を開始。

・自動車駐車場(368台)

昼間(7:00~22:00)

最初の1時間300円、以後30分ごと100円

夜間(22:00~7:00)

1時間ごと100円

・自動二輪車等駐車場(40台)

24時間ごと200円

・一般自転車用駐車場(80台) 24時間ごと200円

・レンタサイクル(30台) 9:00~16:30

(最終貸出し15:30) 年末年始休業

普通自転車 1日300円

電動自転車 4時間1000円

保証金 1000円(自転車返却時に返金)

※借りた場所に返却

■おだわら市民交流センターUMECO

2015年11月28日 10:00オープン

※会議室などの通常利用は、12月1日から開始。

施設概要

(1) 開館時間 9:00~22:00

(2) 休館日

毎週月曜日(祝・休日は除く)

祝・休日の翌日(土・日曜日、祝・休日は除く)

年末年始(12月29日~1月3日)

市民活動プラザ

誰でもいつでも利用できる交流エリアと登録団体が予約の上利用する活動エリアがあり、いずれも無料。

活動エリアは、12ブロックあり、1団体3ブロックまで、1時間単位での貸出しとなります。

小田原市公共施設予約システムにより、使用しようとする日の属する月の3月前の月の初日から先着順で予約を受け付けます。

会議室

小田原市公共施設予約システムにより、使用しようとする日の属する月の6月前の月の初日から予約を受け付けます(抽選あり)。

使用は、原則として月6日までです。

表1 会議室定員と利用料金

会議室	定員(人)	単位	利用料金(円)	
			9:00-17:00	17:00-22:00
1	36	1時間	800	900
2	45		900	1100
3	36		700	800
4	39		900	1100
5	24		500	600
6	24		500	600
7	36		800	1000
8	12		300	300
9	12		300	300

※会議室1~3及び会議室5・6は、それぞれ連結して1室としても利用可能です。

※入場料その他これに類する料金(その金額の最高額が1人当たり1000円を超える場合に限り。)を徴収する場合又は物品の販売をする場合における利用料金は、規定料金の2倍とします。

愛称UMECO(うめこ)

おだわら市民交流センターUMECOは、梅の香る小田原で、あなた(you)と私(me)が、あなたらしく私らしく、夢を描くこと、そして皆が、communication、collaboration、coordinationにより、つながる場を実現することを目指します。
※「ウメ子」は、城址公園にいた象(2009/9没)

トザンイースト11/27

■7つの飲食・サービス店舗の商業ビル11/27開店

箱根登山鉄道株式会社は、小田原駅東口ロータリー前（旧箱根登山ベルジュ跡地）に建設を進めていた新規商業ビルについて、ビル名称をトザンイーストとし、11/27にグランドオープンします。

トザンイーストは、地上4階建（テナント区画は地上1階-3階）の商業ビルとして、駅ナカから駅前に、さらに街なかへをコンセプトに、小田原駅の利用客を駅前へ呼び込み、さらに街なかへ商業の輪を広げていくことを目指しています。おしゃれ横丁へは、従来通り1階店舗中央から。店舗配置は表2。

■トザンイーストの由来

- ・長年地元より親しみをもって呼ばれている愛称である「トザン」
- ・小田原駅東口に立地
- ・東の空から太陽が昇るように、街を明るく照らし、訪れる人々を幸せな気持ちにしたい



TOZAN EAST

■ロゴマーク

- ・箱根登山鉄道の箱の文字をモチーフ
- ・円で囲うことにより、かつて市内電車のホームであったという立地と小田原の繋がりを表現
- ・TOZAN EASTについてAは山を表現し、Eは線路の三軌条に見

図1 ロゴマーク 立てたもの

・ロゴマークとTOZAN EASTが揃って「1つの顔」に見えるよう全体のイメージを統一

表2 駅から見たトザンイースト店舗配置

3階	(海鮮居酒屋) 漁港直送 目利きの銀次	(携帯電話サービス店) NTTドコモショップ
2階	(ビストロ) 銀座ライオン	(和食ファミリーレストラン) 夢庵
1階	(コヒ-) タリーズ	(カフェ&バー) フロント (バー-カリ-) プリオッシュ ドーレ

HaRuNe新規店舗他

■地産café 10/10移転 元北条楽市に

9月まで期間限定ショップとして営業していた「地産café」が、場所を変えて新たにオープン。ソフトクリーム【クレミア】

小田原牧場アイス工房のジェラート

地域振興サイダーの

【片浦レモンサイダー】【小田原みかんサイダー】

【小田原梅サイダー】等を販売。

■中華惣菜のお店 富貴包子楼10/27オープン！

横浜中華街に店舗を構える本格派中華総菜専門店、富貴包子楼が10/27オープン！

■洋菓子のお店 箱根SAGAMIYA11/1オープン！

箱根の五つ星スイーツのお店「箱根SAGAMIYA」が11/1オープン！

■北条楽市

HaRuNe小田原内で移転

■なぜ新規店舗出店か？

撤退、親会社の倒産に伴う空き店舗に、新規店舗が出店。また、空き店舗に期間限定出店していた店舗が、場所を変えて正式出店。

議会報告会

	開催日時	場所
(1)	2015/11/14 19:00~20:30	川東外池カマロニエ 集会室202
(2)	2015/11/15 13:00~14:30	ハルネ小田原(地下街) ハルネ広場

是非、参加ください。

第1部 議会報告会

9月定例会の審議結果及び小田原駅前周辺の機能配置について報告いたします。

(両日とも報告内容は同じです)

第2部 意見交換会

市議会及び市政に関する意見交換を行います。

武松政策研究会からのお知らせ

11月の個人議会報告会は、中止します。



HPIは、「たけまつただし」で検索 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通 0051228 武松政策研究会 武松忠

11月の支出（図書、備品、慶弔、飲食除く）

74,849円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	18,855円
交通費(燃料代、高速代)	9,295円
通信費(携帯電話、折込)	46,699円
支出計 15/11/1～15/11/30	74,849円

市政を考える

月刊武松

発行日
15/12/1

第156号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

芸文センター 今後の整備方針!?

市場調査から、事業提案を軸に、整備の可能性を探っていくと説明

■芸文センター 今後の整備方針

実施設計にとらわれない自由な発想による事業提案を軸に、整備の可能性を探っていく。

議会に示した4案の評価と事業提案を選択した理由を以下に示します。

①延期

市民意見、市民会館の現状、市民会館に多額の改修費（最低限で約21億円）を要すること等から選択することは出来ない。

②設計見直し

予算内で整備することは不可能である。

③分割工事

早期整備の可能性はあるが、依然として入札不調のリスクがあり、後年、小ホールを整備すれば、さらに多額の建設費を要することになる。また、市民の利用率が高い小ホールを整備しないことは、市民要望と大きくかけ離れるものである。

④事業提案

提案の条件（要求水準）を作成する必要がある

が、その作成に基本計画をベースに取り組み、整備の遅れを最小限に抑えることが出来る。また、民間事業者から前向きな意向が示されており、入札不調のリスクも無い。さらに、設計料を含めて予算内で整備を行うことで、財政的な負担も一番少なくすることが出来るものである。実施設計に捉われずに諸施設の配置や機能を検討することで、小ホールを含めた整備を追求することが出来る。

入札不調の原因の一つが実施設計のデザインにあると指摘する声もあり、整備の確実性が高く、予算内で、基本計画をベースとした市民要望を最大限反映していくためには、実施設計にとらわれない自由な発想による事業提案を軸に今後も整備の可能性を探っていくことが、市民の皆様の期待に応えることである。

7月の入札不調となった内訳をグラフにしました。図1に設計金額と入札金額の内訳を、図2に入札で超過した21億円の内訳を円グラフで示します。

裏面に市場調査結果を示します。→

図1 設計金額と入札金額の内訳(億円)

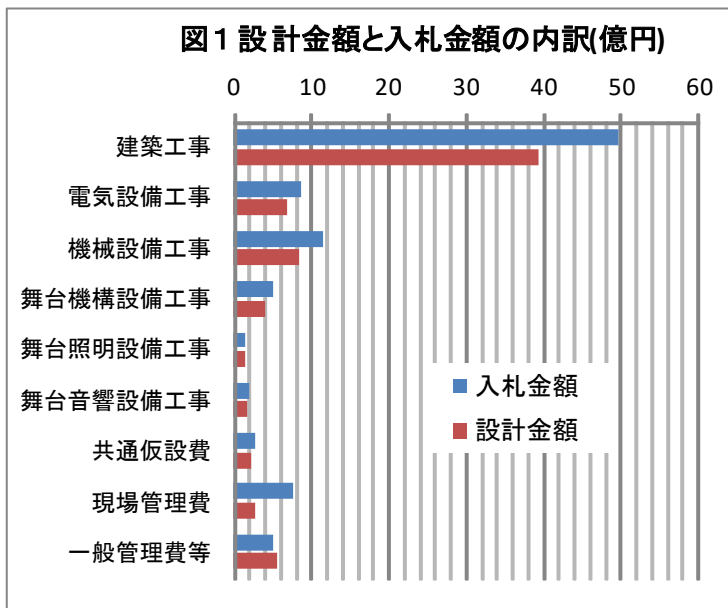
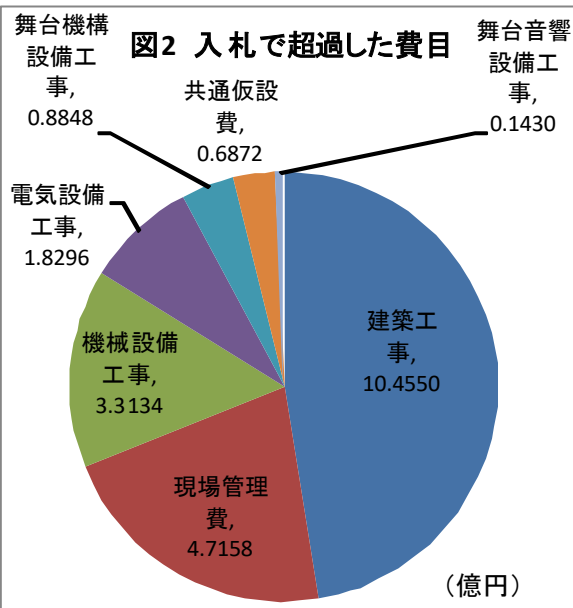


図2 入札で超過した費目



市場調査結果の概要

■実施結果概要

芸文センターの今後の整備方針や事業手法について、4社から次のとおり提案がありました。

ア A社（サービス業）

設計施工・運営管理一括やPFI方式での事業提案が可能である。

入札不調の原因

- ・市の予算は、施設規模から想定される建設費とかけ離れたものではない。
- ・実施設計のデザインは、予算内に収まらない。

今後の整備方針や事業手法についての考え

- ・運営上、興行面からも大ホールと小ホールの両方とも必要。
- ・整備まで相当の期間を要するが、施設整備と運営管理を含めた総事業費としてのコストパフォーマンスを考慮すれば、現在の計画を見直して、PFI方式が望ましいと考える

イ B社（建設業）

事業提案で、市が予算の範囲内で整備出来る諸施設を建設して、整備出来なかった施設は収益施設と合わせて民間が建設する。

入札不調の原因

- ・人件費や資材費が積算よりも高騰している。
- ・コンクリート打ち放しは、積算以上に建設コストを押し上げている。

今後の整備方針や事業手法についての考え

- ・事業提案で、予算内での設計施工との意見は、他社からも出てくるであろう。
- ・市が予算の範囲内で整備出来る諸施設を建設し、整備出来なかった諸施設は収益施設と合わせて民間が建設する事業提案も可能性はある。
- ・民間で整備した諸施設について、市では民間に賃料を支払う必要がある。
- ・民間は収益施設のテナントからの賃料が入り、市には地代を支払うので、市が負担するランニングコストの低減に寄与することも考えられる。
- ・事業提案とした場合に参加するかどうかは、収益施設の採算性が重要であるため、柔軟な提案条件を求めるとともに、採算性を精査したうえで、対応を決めていくこととなる。

ウ C社（建設業）

小ホールを除いた分割工事が現実的である。

入札不調の原因

- ・人件費が高騰していることが、積算以上に建設コストを押し上げている。

今後の整備方針や事業手法についての考え

- ・小ホールを先送りする分割工事が最も早期に整備出来る。
- ・事業提案のPFIでは、その手続きにかなりの期間がかかるため、市民会館の改修を迫られることもあり得る。
- ・事業提案の設計施工では、市民の意見を反映できるのは要求水準作成までであるので、機能重視の施設には向いているが、シンボリック施設には向いていない。
- ・これまで市民との合意を重ねてきた実施設計を生かした分割工事が現実的である。施設整備実現に向けて、予算内に収まるよう設計事務所が中心となり設計見直しをすることが必要である。

エ D社（建設業）

小ホールを除いた分割工事もあり得るが、条件によっては、設計施工を含めた事業提案も考えられる。

入札不調の原因

- ・積算単価と実勢価格がかけ離れている。
- ・仕様の検討などが必ずしも十分ではなかった。

今後の整備方針や事業手法についての考え

- ・建物はコンクリート打ち放しであるため、建設費を大幅に低減できない。
- ・実施設計を生かした仕様変更をしても、予算内で収めることは出来ない。
- ・事業提案ならば、設計施工として予算内での提案が出てくる可能性はある。
- ・事業提案では、基本計画の諸室やスペックなどの全ての整備を目指して要求水準を厳しくすると、予算内での提案は出来ない。
- ・要求水準の作成に基本計画をベースで取り組めば、整備の遅れを最小限に抑えることが出来る。
- ・事業提案とした場合に参加するかどうかは、要求水準次第である。

**本会議で市長の政策決定の根拠を明らかに！
結果的に事業費積上げとならないように！**

武松政策研究会からのお知らせ

12月の個人議会報告会は、都合により中止します。

1月と2月の月刊武松の発行配布は、都合により中止します。



HPは、「たけまつただし」で検索 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通 0051228 武松政策研究会 武松忠

12～2月の支出（図書、備品、慶弔、飲食除く）

147,578円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	19,875円
交通費(燃料代、高速代)	20,359円
通信費(携帯電話、折込、郵送)	107,344円
支出計 15/12/1～16/2/29	147,578円
寄付 Kさん	5,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
16/3/1

第157号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

突然、合併も視野に？

県西地域の中心市のあり方を南足柄市と協議？

突然の新聞報道に驚かれた方も多かったと思います。ここで、少し整理したいと思います。

■県西地域の中心市のあり方に関する南足柄市との協議について

小田原市と南足柄市は、安定的な行政サービス提供体制の構築と県西地域の広域連携体制の強化に向けて、2市間で県西地域の中心市のあり方に関する協議組織を設置することで合意した。

1 協議組織の設置方針

1) 設置目的

人口減少・少子高齢化が進む中であって、両市市民に対し安定的な行政サービスを継続的に提供可能な体制を構築するとともに、両市を中心市とした県西地域の広域連携体制の層の強化策として、両市の合併や新たな広域連携制度の活用等について、検討、協議を行う。

2) 組織名称

（仮称）県西地域の中心市のあり方に関する2市協議会

3) 設置期間

2016年10月から約1年間

2 協議の開始に向けた取組方針

1) 準備・推進体制の整備

①両市の市長及び担当職員による定期的な連絡会合の開催（2016年1月～）

②両市の担当職員による準備事務局の設置（2016年4月～）

2) 協議会の設置、運営方針の調整（2016年4月～）

①協議会委員の編成、例規の整備、運営経費の予算措置

②両市の重要政策、事業。計画、行政サービス内容及び財政状況の事前調査

3) 市民への情報提供（2016年4月～）

①各市の広報媒体等による取組の周知

②市民意識醸成に向けた両市共同のイベントの企画

4) 関係行政機関との連携（随時）

- ①神奈川県への情報提供と協力要請
- ②国に対する要望活動

3 合意に至った経緯

■2007～09年度

県西地域合併検討会（2市8町）

任意合併協議会の設置に至らず

※ 組織設置は2007年2月

■2013年度

「県西地域におけるこれからの基礎自治体のあり方に係る共同研究」を実施（2市8町）

2市と他町との間で今後の対応策の考え方に差異。

■2014年度

「県西地域における中心市のあり方研究」を実施（2市）

「2市が合併を選択し、スケールメリットを生かした行政サービスの提供を可能とする体制を備えた上で圏域内に新たな連携関係を構築することが望ましい」との結論を両市長に報告

■2015年度

小田原市の中核市移行や南足柄市の市長選挙を是年で両市の事務方が意見交換を継続。

県西地域の中心市のあり方に関する2市懇談会（2市）

- ・12月18日、中心市のあり方に関する協議を行うことで合意
- ・1月21日、協議組織の設置方針等について合意

議会には、2月2日の議員説明会まで2013、14の研究結果が報告されておらず、その際の資料請求により、後日入手したものです。

裏面に2市の合併でスケールメリットが生かせるのか検証します。

中心市のあり方研究から

■県西地域の課題

- ・人口減少、少子高齢化の影響で税収減、福祉の扶助費増で深刻な財政状況に陥る。
行政サービス水準低下と住民負担の増大

■財政指標で2市において差のあるもの(2013)

- ・将来負担比率

借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したもの。

小田原市 25.9

南足柄市 110.1

- ・財政調整基金残高(2007を100とした伸び率)

小田原市 147.0% (+22.1億円)

南足柄市 -48.1% (-6.0億円)

- ・扶助費(2007を100とした伸び率)

小田原市 51.9% (+53.8億円)

南足柄市 56.7% (+10.4億円)

- ・地方債残高(2007を100とした伸び率)

小田原市 -12.8% (-70.5億円)

南足柄市 +56.7% (+62.9億円)

小田原市の方が財政状況が改善しているように見えるが、ホール、斎場、ゴミ焼却炉等の建替えや改修を先延ばしにしてきたためであり、今後増大する。

■職員数等の状況

- ・現員数

小田原市 2176人(病院589人、消防365人)

南足柄市 314人(病院 0人、消防 0人)

- ・一般行政職平均年齢

小田原市 39.5歳

南足柄市 45.3歳

図1、図2に一般行政職における年代別職員数を示す。

- ・一般行政職における級別職員数

小田原市 2級から4級の一般職が60%

南足柄市 5級から7級(管理監督者)が64%

図1 小田原市年代別職員構成

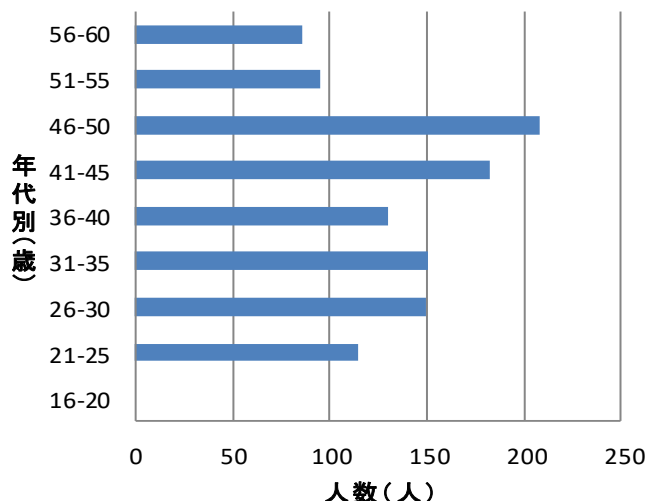
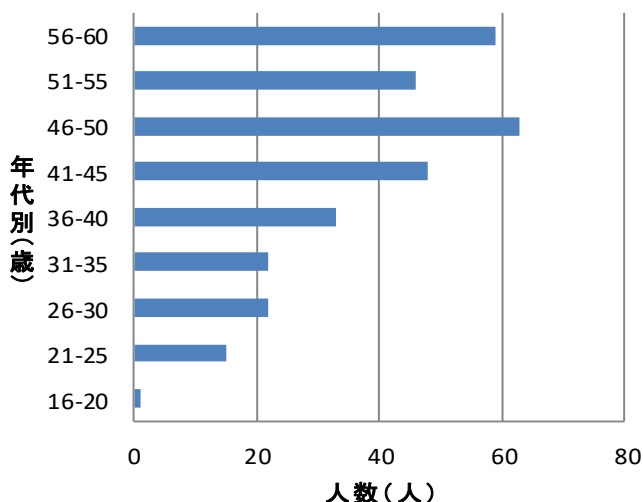


図2 南足柄市年代別職員構成



市職員の退職金は、民間企業のように積立てておらず、単年度で執行するため行政サービスの低下が避けられない。

■施設等

両市とも築30年以上の公共施設を多く所有

これらのデータから、なぜ合併が望ましいという結論を導き出したのか？

武松政策研究会からのお知らせ

3月の個人議会報告会は、都合により中止します。



HPIは、「たけまつただし」で検索 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通 0051228 武松政策研究会 武松忠

3月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

112,544円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	19,980円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	7,036円
通信費(携帯電話代、折込代)	85,528円
支出計 16/3/1~16/3/31	112,544円
寄付 Sさん	3,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
16/4/1

第158号

16100部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

2016年度予算成立!

環境・エネルギーの里づくり事業費と太陽光発電設備借上料を削除!

■2016年度予算 2件の修正し賛成多数で可決

修正案は、①環境・エネルギーの里づくり事業費(268万円)と②太陽光発電設備借上料の債務負担行為を削除するものです。

修正理由は、①市内に再生可能エネルギー関連施設が少なく、豊かな自然を有する本市のイメージにそぐわないことや、市内の民間環境団体が全国的に活躍している分野であり、民間に任せるべきである。

②発電量が少なく費用対効果が低いことや、市民ニーズと本市の厳しい財政状況から優先順位は低い。

歳入は、市税が327.1億円2.19%増の見込みです。

図1の義務的経費は微増のものの、その他経費は繰出金等で増えています。投資的経費は、10.46%減です。図2の義務的経費の中の扶助費は、前年比5.17%増となりました。

■2016年度予算規模

一般会計	639億0000万円(+ 1.27%)
特別会計(10会計)	654億1500万円(- 8.87%)
企業会計(3会計)	309億4418万円(+69.79%)
下水道が特別会計から企業会計に移行したため	
全会計(14会計)	1602億5918万円(+ 4.67%)

■一般会計予算の特徴

主な歳入

(1)市税	327億0900万円(+ 2.19%)
(2)地方交付税	8億3000万円(- 2.35%)
(3)市債(借金)	42億5900万円(-23.58%)
うち臨時財政対策債	14億5000万円(-28.59%)

歳出

(1)投資的経費：道路、施設等整備
59億0162万円(-10.46%)

富水駅踏切実施設計、国府津駅駐輪場測量・基本設計等も予算化されています。

(2)義務的経費：人件費+扶助費+公債費

うち人件費	317億5083万円(+1.57%)
うち人件費	97億5909万円(+1.55%)
扶助費	172億0786万円(+5.17%)
公債費(借金返済)	47億8388万円(-9.54%)

扶助費：生活保護、障害者支援、保育所運営、医療費助成

図1 一般会計歳出(性質別当初予算)

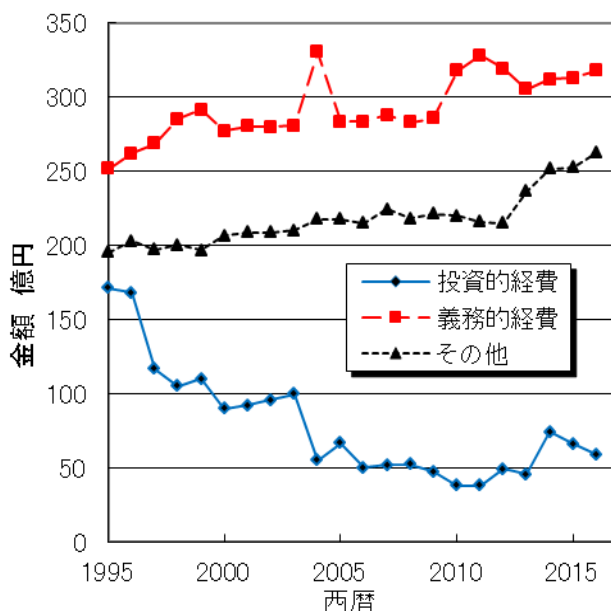
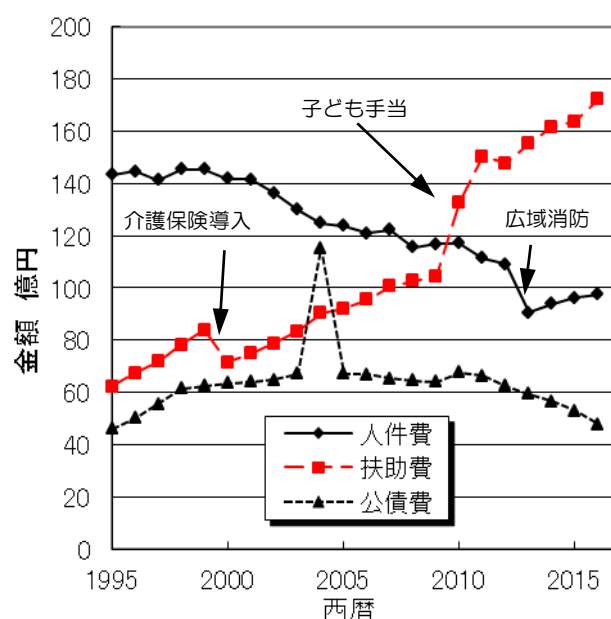


図2 一般会計歳出 義務的経費内訳



■一般会計の主な事業の予算額

新年度の特徴的な予算を以下に列記します。図3は、主な費目別歳出の推移を示します。

民生費

- 生活保護費 56億1829万円
- 児童福祉費 79億4232万円
- 障害者福祉費 38億0240万円
- 産婦人科医療施設整備費補助事業 7040万円
- 小児医療費助成事業（中学終了まで） 3621万円

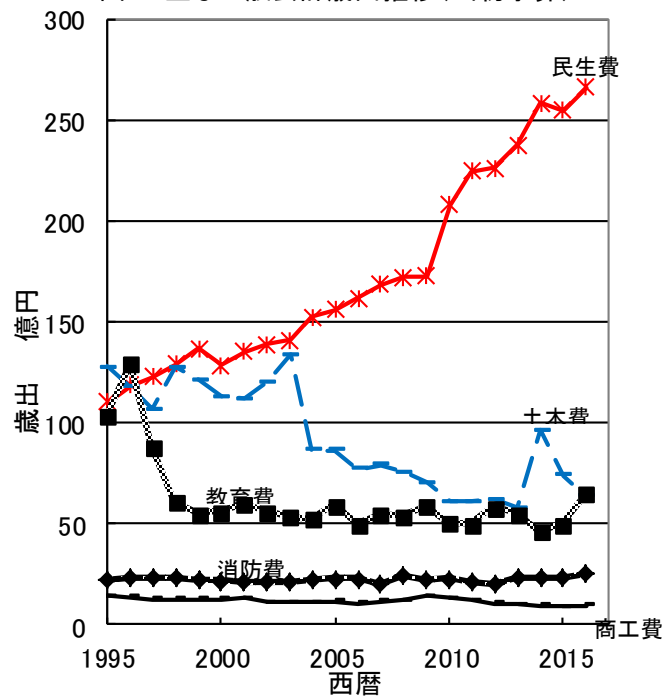
教育費他

- 学校・幼稚園施設維持管理事業
便所改修・空調設備設置等 2億9336万円
- 本丸・二の丸整備事業 7739万円
- 生涯学習センター本館耐震補強事業 6億4957万円
- 城山陸上競技場リニューアル事業 7億0868万円
- スポーツ広場整備運営事業(便所設計) 1808万円

土木費他

- 河川改修事業（下菊川、関口川他） 4500万円
- 幹線道路整備事業(栄町中町地内他) 2億4000万円
- お城通り地区再開発事業 5億2842万円
- 上水道管路等整備事業 13億2348万円
- 污水管渠整備事業 12億3486万円

図3 主な一般会計歳出推移(当初予算)



トレプラ毎週回収!

トレー類・プラマーク表示のあるものの収集が、4月より、隔週（月2回）水曜日から毎週水曜日となり、収集回数が増えます。

■収集回数増の理由

- 平成9年度と比較して、収集量が約2倍に増えた
- 2週間分を保管すると家庭内で場所を取るなど、市民からの要望が多かった
- 燃せるごみへのトレプラの混入が多く、分別の余地がある

これらのことから、市民サービスの向上だけでなく、トレプラの収集日を増やすことで燃せるごみからのさらなる分別に繋げ、燃せるごみの減量及び資源化を進めることを目的に、毎週収集を実施することとなりました。

経費は年間、2000～2500万円増の見込み。

髭を伸ばしてます!?

5月3日（祝）は、小田原市の最大のイベントである北条五代祭りです。

北条五代歴代城主を模した武者行列と、吹奏楽部や陸上自衛隊の音楽隊、神輿など総勢1700名が勇壮に市中を練り歩きます。

「北条五代」の大河ドラマを目指しパレードの先頭を歩くのは加藤市長や俳優の台田雅史さんら。

武者行列には、長年早雲公役を務めていただいた阿藤快さんの急逝により、柳沢慎吾さん。二代氏綱には私武松忠、三代氏康（全国公募）、四代氏政（自治会総連合）、五代氏直（外国人公募）の方々が馬に乗ります。

そこで私は、お祭りのPRと盛り上げのために、

北条氏綱として髭を伸ばしています。

武松政策研究会からのお知らせ

4月の個人議会報告会は都合により中止します。

5月の月刊武松発行・配布は、

市長選挙の公示期間と重なるため中止します。



HPは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

4月～5月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

48,207円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	17,715円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	15,260円
通信費(携帯電話代、折込代)	15,232円
支出計 16/4/1～16/5/31	48,207円
寄付 Yさん	6,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
16/6/1

第159号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

また延期!?決められないホール

2019年度までの建設工事着手を急頭に置く?

芸術文化創造センター整備について5/23に議員説明会が開かれ、その後記者会見が開かれました。

■迷走の政策判断

2015/7 芸術文化創造センター入札不落

予定価格 72億9748万6560円(税込み)
入札価格 93億8844万円(税込み) 2回目
入札結果 不調(予定価格超過)
中堅ゼネコン1社による入札不調。

2015/10～11 市場調査 → 事業提案を軸に

①延期、②設計見直し、③分割工事、④事業提案の4つを選択肢として挙げ、方針を検討するため、民間事業者との対話を通じて、整備の可能性を調査する市場調査を実施。

2016/1～4 事業提案に向けた意見募集

A社(建設業)

大ホールと小ホールをはじめ利用目的に沿った施設計画で、想定事業費内での整備が可能である。

具体的には、大スタジオを取りやめ、小ホールは市民利用を想定した必要不可欠の機能やスペックに絞り、その他の諸室は部屋数を限定し利用目的に沿った機能での整備とすることを想定している。

B社(建設業)

ホール機能を優先させて、大スタジオと小ホールのあり方を見直し、市民利用主体の他の諸室では、これに見合ったグレードとすることで、想定事業費内で、基本計画のかなりの部分を整備する。

■事業提案でもリスク大 → 延期(議員説明会)

芸術文化創造センター整備についての考え

1 整備を取り巻く現状

(1) 建設費の高止まり

建設費が高止まっており、インフレスライド条項を適用すると、建設費の額は、かなり増加することとなる。

(2) 整備内容

現時点で整備すると基本計画の全てを実現するこ

とはできず、また、整備内容に対する建設費が割高になることから、基本計画を精査する必要がある。

(3) 国からの交付金

これから交付金がどのくらい交付されるのかは、流動的である。

(4) 市総合計画(後期基本計画)の策定

入札不調により事業が延期となり、現時点で整備に着手すると、他の大規模事業と整備時期が重なるため、芸術文化創造センター整備の時期や建設に充当する一般財源の額を後期基本計画策定作業の中で見極める必要がある。

2 整備についての考え

芸術文化創造センターは本市の芸術文化創造の拠点となることから、2019年度までの建設工事着手を急頭に置き、引き続き整備を推進する。

なお、建設費の高止まり等、この事業を取り巻く厳しい現状に鑑み、建設に充当する一般財源の額、整備内容、整備手法については再検討する。

今後の検討には、実施設計に至るこれまでの作業の成果や、事業提案に向けた意見募集を通じて得られた知見などをできる限り生かしつつ、市として望ましい整備のあり方を目指すというスタンスで臨む。

3 当面の対応

(1) 市民会館

当面は、必要最低限の維持・修繕を行い、予期せぬ不具合が生じた場合は、その対応をどうするか、改めて検討する。

(2) 交付金

交付金は、引き続き、国県と調整を行う。

市長選挙後まで整備方針の公表を遅らせた結論が、延期とは情けない。

芸術文化創造機能を削減し、 優先順位をつけ早期の整備を!

次は小田原!?!を検証

熊本地震後、次は小田原ではとの週刊誌報道もあります。そこで少し整理してみます。

「次の震災は、小田原」との根拠とされるものは、次のように17世紀の地震を基にしたものです。

①1611年 東北で大震災(津波も発生)

②1619年 熊本で地震発生

③1633年 小田原で地震発生

17世紀前半の記録ではどうなっているか、次項で示します。

■17世紀前半の主な地震 出展：理科年表他

1605年2月3日 慶長地震 - M 7.9

関東から九州までの太平洋岸に津波、紀伊・阿波・土佐などで大きな被害。八丈島でも津波による死者数十人。死者1万～2万人と推定されるが、津波以外の被害はほとんどなかった。

1608年12月30日 仙台で地震 津波で50人死亡

1611年 9月27日 会津地震 - M6.9

若松城下とその付近で寺社・民家の被害が大きく死者3700人。

①1611年12月2日 慶長三陸地震 - M8.1

十勝・根室沖のM9クラスとする説がある。一方、東北地方太平洋側で繰り返し発生していると推定されるM9クラスの地震の候補ともされる。伊達領で大津波による死者1783人。

1614年11月26日 高田領大地震 - M7.7?

越後高田の地震とされていたもの。大地震の割に史料が少なく、震源については検討すべきことが多い。京都で家屋・社寺などが倒壊し、死者2、傷370という。京都付近の地震とする説がある。

1615年6月26日 相模・江戸で地震 - M6 超

江戸：家屋が倒壊し死傷多く、地割れを生じた。

1616年9月9日 宮城県沖地震 - M7.0

仙台城の石壁・櫓等破損。江戸で有感。津波も?

②1619年5月1日 肥後八代で地震 - M6.0

卯の刻と牛刻の2回の地震で旧八代城(麦島城)が倒壊。公私の家屋が破壊した。

1625年1月21日 広島で大震

城中の石垣・多門・堀などが崩壊した。島根で有感

1625年7月21日 熊本で地震 - M5～6

死者約50人。地震のため熊本城の火薬庫爆発、天守付近の石壁の一部が崩れた。城中の石垣にも被害。

1627年10月22日 松代地震 - M6.0

長野県松代：家屋倒壊80戸。死者があった。

1628年8月10日 江戸で大きな地震 - M6.0

江戸城の石垣所々崩れる。戸塚で道路破壊。

③1633年3月1日 寛永小田原地震 - M 7.1

小田原城の櫓・門堀・石壁ことごとく破壊。小田原で民家の倒壊多く死者150人。熱海に津波来襲。

1635年3月12日 江戸で地震 - M6.0前後

江戸：長屋の堀など破損。増上寺の石灯籠はほとんど倒れる。戸塚で有感。

■17世紀前半は地震が多発

小田原も地震に備えることは一番大切なことです。それは、行政はもとより、個人でも建物の耐震化、家具類の固定、避難経路の確認等を命を守る準備が第一です。

次の震災が小田原か?については、前項のとおり必ずしも言い切れるものではないと思います。

1605年の東海東南海南海地域の津波後の①東北地域の地震、京都付近の地震後の②熊本の地震。長野や江戸での地震後に③寛永小田原地震となっています。いずれにしても、18世紀前半の元禄地震、宝永地震までは地震の活動期といえ、現在が地震の活動期ということも間違いないでしょう。

今回調べていて、②の熊本地震では、同日に2度地震が起きているということがわかりました。平成28年度熊本地震でも、自宅に戻った後の2度目の地震で多くの方が亡くなったことが悔やまれます。

地震対策ですぐにできること

家具類の転倒防止対策を!

武松政策研究会からのお知らせ

6月の個人議会報告会および7月・8月の月刊武松発行配布は参院選の公示期間および都台により中止します。

5/3北條五代祭りにて →



HPは、「たけまつただし」で検索! 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter: @ttakemat

facebook: <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

6月～8月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

95,877円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	17,715円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	16,641円
通信費(携帯電話代、折込代)	61,521円
支出計 16/6/1～16/8/31	95,877円
寄付 アキヤマさん、Yさん	19,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
16/9/1

第160号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

合併・中核市・連携!?

事実上の任意合併協議会を10月に設置!?

■苦渋の決断

議長に、市が設置しようとしている(仮称)県西地域の中心市のあり方に関する2市協議会(以下2市協議会)に議会からの参加を要請されていました。私は、小田原市民の合併への機運が全く無い中で、**事実上の任意合併協議会に参加することはできない**と考え、しばらく保留にしていたところ、各方面からの要請があり、また市民への説明責任を果たす為にも具体的に数字を積み上げる必要もあることから、2市協議会への参加を認めました。

議会が、参加するからには、平成の大合併時の国県の手厚い補助政策や法律の現在の状態、平成の大合併後の合併市の状況や新たな連携中枢都市圏の取組など事前に共通認識をしておく必要があることから、市議会にこの件に関する**調査特別委員会を設置**することを決めました。

■市議会に県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員会を設置

人口減少や少子高齢化が進む中、安定的な行政サービスを提供するため、行政では2市協議会の設置を進めています。協議内容は、

- ・南足柄市との合併の検討に関すること
 - ・小田原市が中核市に移行する場合の影響
 - ・南足柄市をはじめ周辺自治体との広域的な連携体制の構築に関すること
- などが予定されています。

そこで市議会としてこれら協議に係る諸問題を調査するため「**県西地域のあり方に関する調査特別委員会**」を6月28日に設置しました。

■8/17に調査特別委員会を開催

当日の議題は以下の通り

報告事項

- ア 中心市のあり方に関する協議について
- イ 人口減少等の市財政への影響について
- ウ 広報、市民周知の実施状況
- エ 南足柄市の財政計画について

協議事項

- ア 今後のスケジュール(案)について
 - イ 予算編成(2016年度予算及び2017年度当初予算)について
 - ウ その他会合(講演会、意見交換会)の開催について
 - エ 2市協議会への参加依頼に係る委員選出
- 県西地域の中心市のあり方 →
に関する調査特別委員会資料
(8/17開催分)



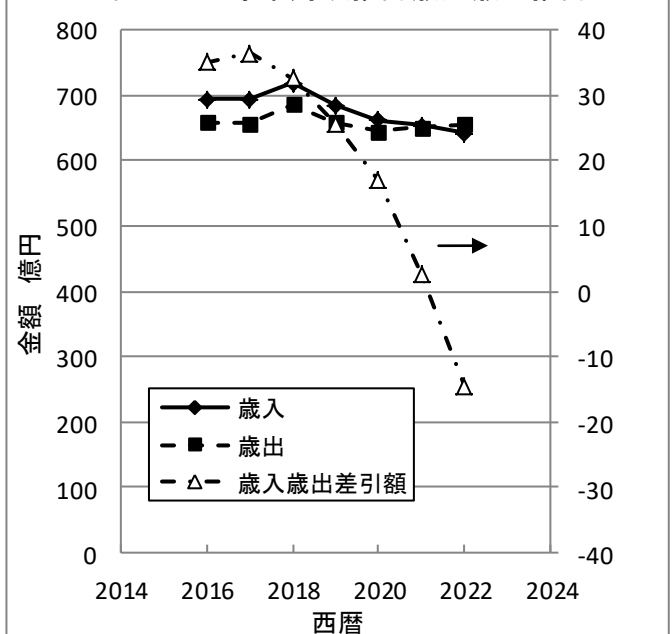
■調査特別委員会資料から

図1に小田原市の今後の財政推計を示します。推計に計上した事業は、お城通り再開発、漁港交流促進施設、焼却施設整備、斎場整備運営事業。

2022年度には収支が赤字に転じる。

裏面に続く

図1 小田原市財政推計歳入歳出推計



財政推計から

財政推計に含まれる大型事業は、お城通り再開発、漁港交流促進施設、焼却施設整備、斎場整備運営です。芸術文化創造センター整備、卸売市場建替え、市立病院建替え、公共施設長期保全、道路橋梁等維持修繕費用は含んでいません。

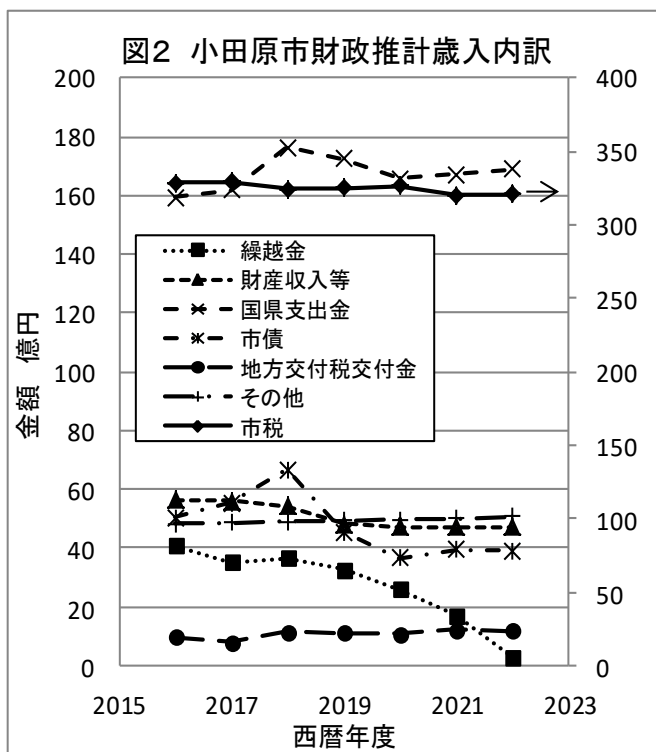


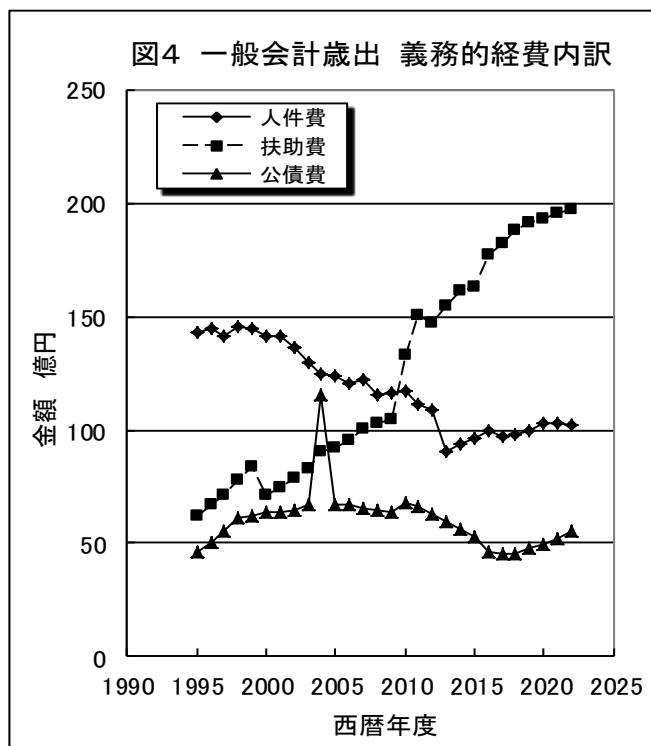
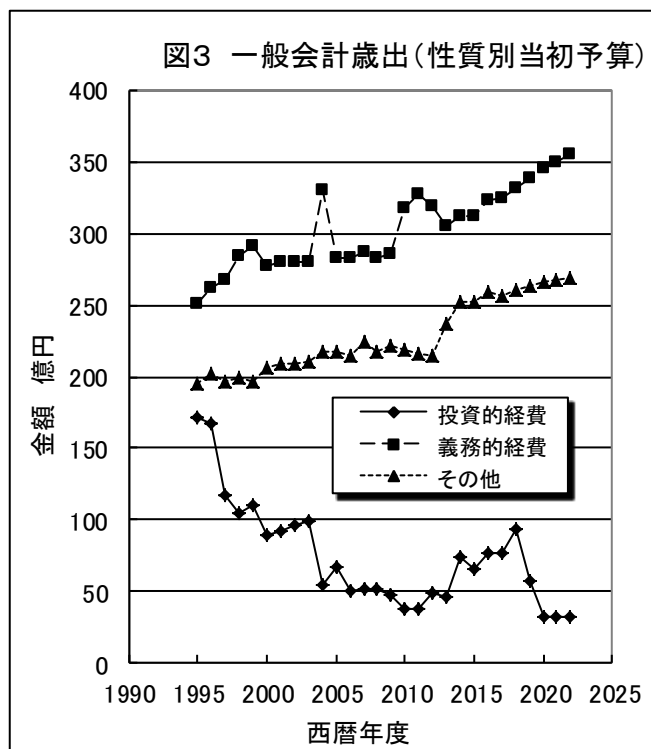
図2に財政推計の歳入内訳を示します。

歳入減の主な要因は、繰越金の減少です。これは財政に余裕がなくなってくることを意味し、独自の行政サービスの縮減や施設利用料等公共料金の値上げが必要となってきます。

図3は、歳出の性質別当初予算を示し、2016年度までは当初予算で、以降は財政推計によるものです。

図4は、図3の義務的経費の内訳を示しました。

図4より、**増加する義務的経費の要因は、扶助費**であり、高齢者人口や生活保護世帯の増加等によるものです。図にはありませんが、高齢者数は2025年以降に減少に転じる見込みですので扶助費の増加も頭打ちとなる予想です。



武松政策研究会からのお知らせ

9月の個人議会報告会および10月・11月の月刊武松発行配布は市外公務出張等により中止します。

5/3北條五代祭りにて →



HPは、「たけまつただし」で検索！

月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

9月～11月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

81,385円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	11,235円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	18,024円
通信費(携帯電話代、折込代)	52,126円
支出計 16/9/1～16/11/30	81,385円
寄付 Yさん	9,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
16/12/1

第161号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

芸術文化創造センター改め

「市民ホール」 機能と規模を限定し建設費を圧縮！

秋に整備方針を示すと市長が明言した芸術文化創造センターの整備方針が示されました。

- ・呼称を「市民ホール」とする
 - ・建設費（設計費を含む）63億円程度
内23億円程度は、基金等や国交付金を充てる。
 - ・大ホール（客席数1000席以上）
小ホール（段床式可動席）、諸室
 - ・整備手法 事業提案（設計・施工一括発注方式）
- 以下に示された資料を示します。

■市民ホール(旧芸術文化創造センター)の整備方針について

今後、厳しい財政運営が見込まれることや、老朽化が著しく早期の建て替えが求められている市民会館の現状を踏まえ、新しい施設は「シンプルで使いやすいホールを造る」という原点に立ち、市総合計画・後期基本計画に位置付けて整備を進める。

市民ホール基本計画に位置付けた諸機能は、その一部をまちなかに配置することで、市民の多様な芸術文化活動をまち全体へと広げ、希望と活力にあふれた小田原をつくる。

1 新しい施設の呼称

計画地に整備する新しい施設は、現市民会館の機能を核に組み立てることとし、当面の呼称を「市民ホール」とする。

2 建設費（設計費を含む）

63億円程度

このうち23億円程度は、新たに創設する基金、ふるさと文化基金及び国からの交付金を充てる。

3 整備内容

大ホール（客席数1000席以上）

小ホール（段床式可動席）、諸室

展示系及び創造系、支援系機能については、計画地に建設費内で可能な諸室を整備するとともに一部機能については民間再開発事業の中で規模や配置等、整備の可能性を検討・調整する。

4 整備手法 事業提案（設計・施工一括発注方式）

5 建設用地の考え方

お堀端通り沿いに可能な限り空地を確保する。そのため、小田原法務合同庁舎敷地の一部と市民ホール建設予定地の一部の交換について協議している。

なお、この空地については、良好な景観を保ちつつ、今後、現市民会館用地も含めた将来の三の丸地区全体の整備を視野に入れながら、小田原城と一体となった新たな観光交流空間としての活用方策を検討する。

6 今後の取り組み

（1）実施設計に至るこれまでの作業の成果の反映

実施設計に至るこれまでの成果（基本設計の際の市民ワーキングや平面プランのパブリックコメント、実施設計の際の意見交換会や市民説明会で出された意見など）については、要求水準書の作成過程において、専門家の協力を得ながら可能な限り反映させる。

（2）要求水準書の作成

要求水準書は、良質なホールを整備することを大前提にしたものとする。また実施設計におけるコストコントロールの反省から、要求水準書の作成から事業者の選定、建設工事に至るまで、専門家の協力を得るとともに、コストマネジメントの観点から専門業者に支援を委託する。

（3）事業者の選定

国土交通省に採択された多様な入札契約方式モデル事業を活用し、事業提案（設計・施工一括発注方式）による具体的な事業者選定方法を年度内に確定する。

建築費に充てる基金の内訳は、事実上主に決算剰余金と見込まれ、財政推計で余裕のあるうちに建設しなければ、借金を増やさざるを得ません。

また、要求水準書の作成が重要となりますが、よりよい事業提案には、建設用地のお堀端通り沿い空地確保条件を如何に緩和できるかが肝要です。

小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会

小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会が2回まで開催されました。

前回は他の公務と重なり参加できなかったのですが、11/25の第2回協議会を傍聴しました。今回の会場は、南足柄市文化会館での開催で、自宅から車で35分（15.4km、公共交通機関だと1時間）かかりました。「中心市のあり方」という名称ですが、おかしなことに「合併しない」という選択肢が入っていないのです。そのため、実質任意合併協議会となっており、次回1/24の第3回任意協議会で合併方式（新設合併か、編入合併か）が議題となります。また、閉会の挨拶で協議会副会長（南足柄市加藤市長）は、第1回協議会の冒頭挨拶に引き続き、「ニュートラル」という発言をし、合併に前向きではない模様。はたしてどうなるのか？次回、第3回任意協議会に注目です。

表1 新設合併と編入合併の違い

区分	新設合併	編入合併
定義	2以上の市町村の区分の全部もしくは一部をもって市町村を置くことで市町村の数の減少を伴うもの。	市町村の区域の全部もしくは一部を他の市町村に編入することで市町村の数の減少を伴うもの。
法人格	両市の法人格が消滅し、新たな法人格が発生する。	編入される市の法人格が消滅する。
市の名称	新たに定める。	（規定なし）編入する側の市名が存続する前提
本庁舎の位置	新たに定める。	（規定なし）編入する側の本庁舎使用が前提
特別職職員 市長、副市長、 各種審議会委員	両市の特別職職員は、全て失職する。 合併から50日以内に、新市の市長選挙を行う。 新市の市長以外の特別職職員は、新市の議会で同意を得る。	編入される市の特別職職員は、全て失職する。
一般職職員	両市の職員は全て失職するが、引き続き合併後の市の職員としての身分を保有するよう措置される。	編入された市の職員は、全て失職するが、引き続き編入する市の職員としての身分を保有するよう措置される。
議会の議員	両市の議員は、全て身分を失う。 あらかじめ新市の議員定数を定め、合併から50日以内に設置選挙を行う。 〈特例措置〉 両市の議員の身分について、特例措置（在任特例）を適用できる。	編入される市の議員は、全て身分を失う。 〈特例措置〉 編入される市の議員の身分について、特例措置（在任・定数特例）を適用できる。
条例・規則	両市の条例・規則は全て失効する。	編入される市の条例・規則は全て失効する。
予算編成	合併後、選挙により市長及び議員が選出され、議会が設置されるまでの間は、暫定予算を編成し、予め定めた職務代理者が執行する。	（規定なし） 先行例では、編入される市に関する予算については、協議結果に従い、編入する市の市長が専決処分し執行している。

武松政策研究会からのお知らせ

12月の個人議会報告会および1月と2月の月刊武松発行配布は公務等都台により中止します。

5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →



HPは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

12月～2月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

155,933円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	27,924円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	19,959円
通信費(携帯電話代、折込代、郵送代)	108,050円
支出計 16/12/1～17/2/28	155,933円
寄付 Yさん、Kさん	14,000円

市政を考える

月刊武松

発行日
17/3/1

第162号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

市民ホール要求水準書素案!?

建設用地が未だ確定せず

市民ホール整備の要求水準書素案が示されましたが、横浜地方検察庁小田原支部の建替えに伴う土地交換の話もあり、まだ用地が確定していません。

■要求水準書骨子について

シンプルで使いやすく、質の良いホールを整備することを前提に、次のとおり、市民ホールに必要な諸室とその考え方を示す。

必要諸室及びその考え方

ア 大ホール系機能客席数

1000席以上で、多様な演目に対応することが出来る多目的ホール。

イ 小ホール系機能

客席数200席以上で、主に市民が発表、上演することを想定したホール。段床式可動席とし、平土間としての利用を可能とする。

ウ 展示系機能及び創造系、支援系機能

展示系機能及び創造系、支援系機能の諸室を合計で300m²程度配置する。これに加えて、平土間とした小ホールにも展示系機能及び創造系、支援系機能を確保するとともに、交流系機能のオープンロビーでも展示を可能とする。

エ 交流系機能

インフォメーション、情報コーナー等を備えたオープンロビーを配置する。

オ 管理系機能

その他施設を運営するうえで必要最低限な管理事務室、機械室に加え、必要な倉庫、さらに授乳など多目的に利用できる場所を確保する。

駐車場は、敷地内には業務を行ううえで必要な台数分を確保し、車での来場者は周辺の駐車施設の利用を基本とするが、車いす利用者用駐車は配置するとともに、高齢者や障がい者の送迎については配慮する。

■整備手法

設計を重視した設計交渉・施行タイプ(DB方式)

■スケジュール及び審査方法について

2017年6月末迄	要求水準書作成
8月下旬	一次審査 コンzept、配置、設計他
11月	二次審査 基本計画、デザイン他
2018年1月下旬	協定締結・設計契約
2019年3月下旬	工事契約
2021年3月	竣工
上半期	オープン



図1 想定配置図

中核市と施行時特例市の違い

小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会が行われていますが、都市制度である中核市となると現在の小田原市の施行時特例市とどのような事務が増えるかとまとめます。

改正地方自治法（2015年4月1日施行）により、**特例市制度が廃止**され、中核市の人口要件が**30万人以上から、20万人以上に引き下げ**られました。また改正法施行の時点で既に特例市であった小田原市は、経過措置として、従来の特例市の事務権限を引き続き保持し、2020年4月1日までに限り、人口が20万人未満になっていたとしても中核市に移行できます。

中核市になる手続きは、

- ・政令で指定（市の申し出により総務大臣が立案）
- ・市は、予め、市議会の議決を経て、県の同意（県議会の議決）を得なければならない。

表1に中核市と施行時特例市の処理する主な事務を示します。

表1中で、市に最も負担が大きいものは、**保健所の設置**です。現在、県の合同庁舎内に小田原保健福祉事務所があり、小田原市と足柄下郡3町を管轄しています。保健福祉事務所の職員は、医師、保健師、管理栄養士、衛生監視員等の専門職種が57名と一般事務17名の正規職員が勤務しており、非正規雇用を含め99名にもなります。

小田原市が中核市となると合同庁舎にあるにもかかわらず、市役所内に数十名規模の専門職の雇用や検査機器や測定器類の整備が必要になり、まさに二重行政です。 **中核市になる必要はありません。**

表1 中核市と施行時特例市の処理する主な事務

	中核市	施行時特例市
概要	政令指定都市が処理することができる事務のうち、都道府県がその区域にわたり一体的に処理することが中核市が処理することに比して効率的な事務を除き、中核市に対して移譲するものである。	中核市が処理することができる事務のうち、都道府県がその区域にわたり一体的に処理することが特例市が処理することに比して効率的な事務を除き、特例市に対して移譲するものである。
保健衛生	保健所の設置 飲食店営業等の許可 旅館業・公衆浴場の経営許可 浄化槽設置等の届出受理 温泉の利用許可	
福祉	身体障害者手帳の交付 養護老人ホームの設置認可・監督 母子・寡婦福祉資金の貸付け	
環境保全	ばい煙発生施設の設置の届出受理 産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に対する措置命令	一般粉じん発生施設の設置の届出受理 汚染又は廃液を排出する施設の設置の届出の受理 汚染土壌処理業の許可の申請の受理及び許可
都市計画等	屋外広告物の条例による設置制限 サービス付き高齢者向け住宅事業の登録	土地区画整理組合の設置の認可 宅地造成の規制区域内における宅地造成工事の許可 市街化区域又は市街化調整区域内の開発行為の許可
その他	県費負担教職員の研修	計量法に基づく勧告、定期検査

武松政策研究会からのお知らせ

3月の個人議会報告会は、都合により中止します。
5月3日は、北條五代祭り！今年も髭を伸ばします。

5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →



HPは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

3月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

115,217円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	16,432円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	13,830円
会場費	1,900円
通信費(携帯電話代、折込代)	83,055円
支出計 17/3/1~17/3/31	115,217円
寄付 Yさん	3,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
17/4/1

第163号

15800部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

2017年度予算成立!

分かち合い社会懇談会出席者(30万円)を削除

■2017年度予算 一部修正し、賛成多数で可決

修正案は、企画費 政策調整研究経費 政策課題検討事業 謝礼のうち、分かち合い社会懇談会出席者(30万円)を削除したもの。その理由は、人口減少社会により税の減収が見込まれる中、行政サービスの継続維持を実現していくために必要な事項を検討していくとのことであるが、懇談会が必要な理由が明確ではなく、職務に携わる職員が各々の英知を結集して取り組むことが先決であり、行政戦略アドバイザーでの対応も可能ではないのか。

■2017年度予算規模

歳入は、市税が326.8億円0.1%減の見込みです。

図1の義務的経費は微減、その他経費は物件費が微減です。投資的経費は、13.31%増です。図2の義務的経費の中の扶助費は、前年比2.02%増となりました。

一般会計	644億0000万円(+ 0.78%)
特別会計(10会計)	620億3400万円(- 5.17%)
企業会計(3会計)	314億0300万円(+ 1.48%)
全会計(14会計)	1578億3700万円(- 1.51%)

■一般会計予算の特徴

主な歳入

(1)市税	326億7700万円(- 0.10%)
(2)地方交付税	9億0000万円(+ 8.43%)
(3)市債(借金)	45億8440万円(+ 7.64%)
うち臨時財政対策債	16億0000万円(+10.34%)

歳出

- (1)投資的経費：道路、施設等整備
66億8655万円(+13.31%)
斎場整備事業、お城通り地区再開発事業等が予算化されています。
- (2)義務的経費：人件費+扶助費+公債費
316億5015万円(- 0.32%)
うち人件費 96億0991万円(- 1.53%)
扶助費 175億8600万円(+ 2.20%)
公債費(借金返済) 44億5424万円(- 6.89%)
扶助費：生活保護、障害者支援、保育所運営、医療費助成

図1 一般会計歳出(性質別当初予算)

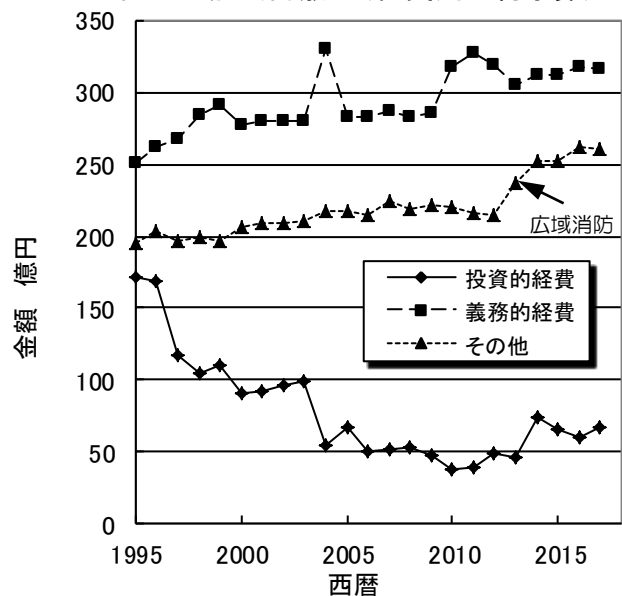
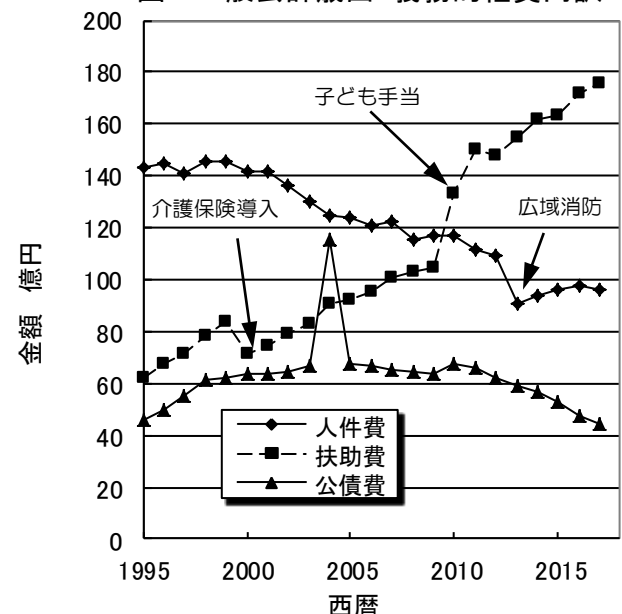


図2 一般会計歳出 義務的経費内訳



主な事業の予算額

■一般会計の主な事業の予算額

新年度の特徴的な予算を以下に列記します。図3は、主な費目別歳出の推移を示します。

民生費

・生活保護費	56億5227万円
・児童福祉費	81億8686万円
・障害者福祉費	39億4791万円
・小児医療費助成事業	5億8877万円

教育費

・学校・幼稚園施設維持管理事業 便所改修・空調設備設置等	5億7281万円
---------------------------------	----------

土木費他

・幹線道路整備事業(栄町中町地内他)	1億3090万円
・お城通り地区再開発事業	7億8245万円

■特別会計・企業会計

競輪事業特別会計 126億4000万円(-19.80%)

天守閣事業特別会計 1億8200万円(-68.84%)

国民健康保険事業特別会計

250億8600万円(-0.92%)

国民健康保険診療施設事業特別会計

2800万円(-6.67%)

公設地方卸売市場事業特別会計

1億3500万円(-0.74%)

介護保険事業特別会計

152億4000万円(+1.47%)

後期高齢者医療事業特別会計

42億9500万円(+4.53%)

公共用地先行取得事業特別会計 2700万円(0.0%)

広域消防事業特別会計 40億8600万円(-0.58%)

地下街事業特別会計 3億1500万円(-1.56%)

水道事業会計 53億5245万円(+3.46%)

・上水道管路等整備事業 15億4057万円

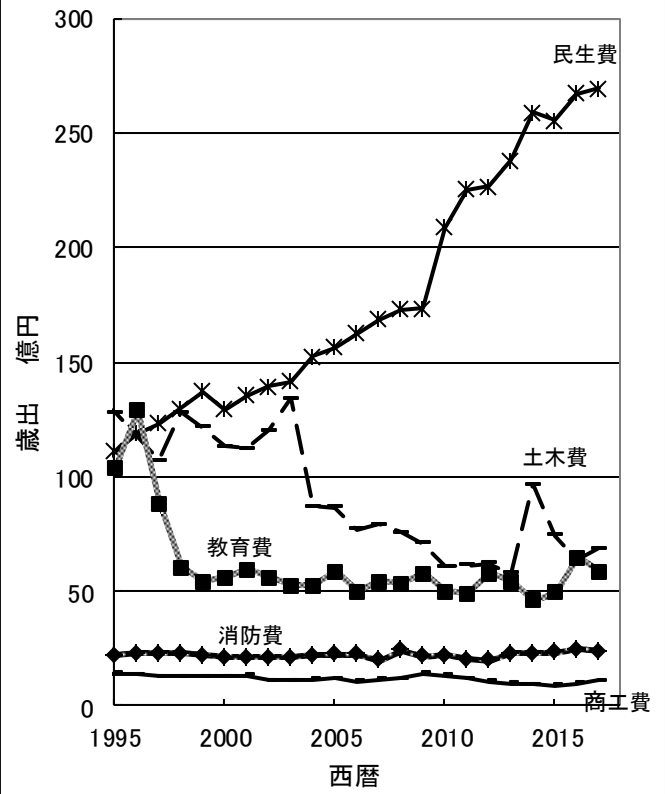
病院事業会計 136億7031万円(+0.09%)

下水道事業会計 123億8024万円(+2.21%)

・污水管渠整備事業 13億5224万円

・雨水渠整備事業 2億7560万円

図3 小田原市の一般会計主な歳出推移
(当初予算)



市民ホール修正案は否決

市民ホールには、予算特別委員会と本会議で事業者選定等経費等の削除を求める修正案が提出されましたが、何れも賛成少数で否決されました。

予算特別委員会では、事業提案方式、諸室の機能、建設費、建設費や建設用地の検察庁との付け替え等の質疑がありました。

質疑の途中で、検察庁との用地付け替えは、当面行わないとの方針が示され、現市民ホール計画用地で事業者選定を行うことができるようになりました。

余裕ある用地で少しでも多くの事業者が、事業提案していただきたいと思います。

武松政策研究会からのお知らせ

4月の個人議会報告会について

日時場所 4/22 18:00～ おだわら市民交流センターUMECO 第9会議室

テーマ 「新年度予算等について」 参加費 100円

終了後 懇親会を行います。

5月3日は、北條五代祭り！今年も二代氏綱として馬に乘ります。

5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

4月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

19,850円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	9,330円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	10,520円
通信費(携帯電話代、折込代)	0円
支出計 17/4/1~17/4/30	19,850円
寄付 Yさん	3,000円

市政を考える

月刊武松

発行日

17/5/1

第164号

15800部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

武松政策研究会

小田原市斎場建設工事始まる!

既存火葬炉を使用しながら現地再建

1972年1月の供用開始から45年が経過し、施設の老朽化が著しい小田原市斎場の建設工事が始まりました。

施設は引き続き小田原市営火葬場として位置づけ、供用開始後は小田原市が1市5町(南足柄市、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町)から事務の委託を受けて運営する予定です。

■施設概要

- ・所在地 小田原市久野3664-8
 - ・構造 鉄骨造・地上2階建て
 - ・延床面積 約3,200㎡
 - ・火葬炉 9基(大型炉8基、超大型炉1基)
 - ・駐車台数 普通車67台、車椅子用2台、大型バス3台、マイクロバス2台
 - ・1階…エントランスホール、お別れ室、火葬炉室、事務室等
 - ・2階…待合室、待合ロビー等
- ※式場、動物用の火葬炉は設置しません

■運営・事業費

- ・PFI事業(設計・建設した施設を市へ移転後、民間事業者が15年運営)
- ・限度額 63億2976万円
(物価変動・増税等増減は、加算)

■スケジュール

- ・事前調査・設計・工事・運営準備
2016年6月~2019年3月
- ・供用開始 2019年4月~
- ・外構整備・現火葬棟解体
2019年1月~2019年12月

裏面に続く

月刊武松 第164号



▲図1 新斎場全景



▲図2 車寄せ(雨に濡れずに乗降)



▲図3 2階待合室へはエレベータと階段で

武松政策研究会 討議資料

■新斎場の特長

- ・利用者の心情に寄り添った安心・安全な施設
バリアフリー
15人乗りエレベータ2機を設置
- ・プライバシーを守る施設
2箇所の入退館口
5箇所の独立したお別れ室
規模に柔軟に対応できる待合室
- ・周辺環境に配慮した施設
建物の高さの抑制
適切な排ガス処理
騒音を抑えた火葬炉
- ・静かで落ち着いた空間を実現できる施設
利用者動線と管理者動線の分離
利用者空間と管理者空間の分離
- ・事業費を低減しつつ、よりよい公共サービスを提供できる施設
PFI方式の導入(設計施工運営一括)

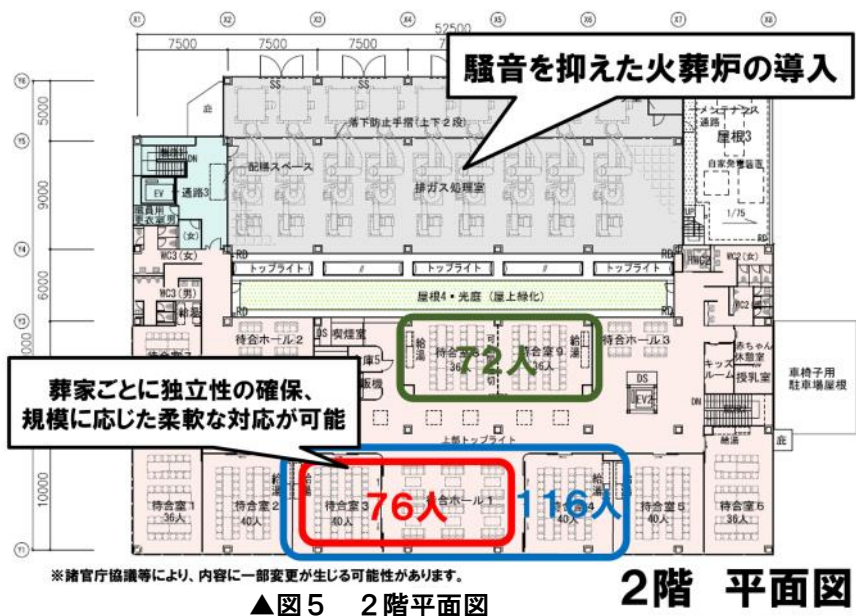
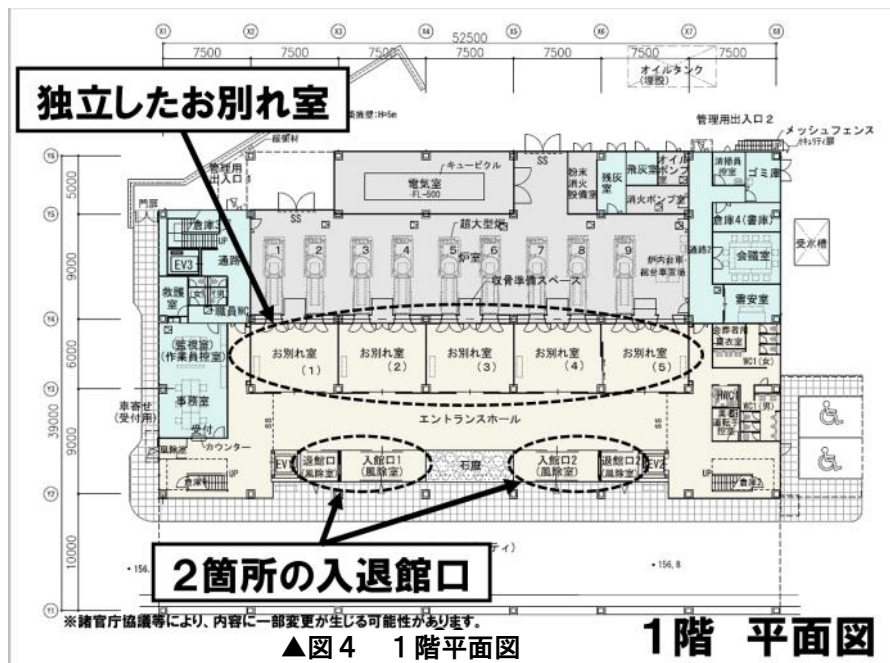
■利用料は今後の課題

現在の斎場使用料は、小田原市内居住者は無料。

南足柄市内居住者が、2万7千円、市外居住者が3万8千円でしたが、新斎場の建設費や運営費の償還を考慮すると、小田原市内居住者の有料化も含めた利用料の値上げが必要との説明を受けています。

平塚市では、市内居住者が無料で、市外居住者は9万5千円(12歳以上)となっており、これらも参考にしていける必要があります。

工事中は臨時駐車場や仮設待合室で、ご迷惑をお掛け致します。



武松政策研究会からのお知らせ

5月の武松忠議会報告会について

日時 5/27(土) 18:00～
場所 おだわら市民交流センターUMECO 会議室8
テーマ 「任意協議会の協議状況について」
参加費 100円
終了後 懇親会を行います。

5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

5月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

77,528円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	10,272円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	10,452円
会場費	2,500円
通信費(携帯電話代、折込代)	54,304円
支出計 17/5/1~17/5/31	77,528円

市政を考える 月刊武松

発行日
17/6/1

第165号

15800部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

市民ホール要求水準書案固まる！

建設費63億円以下 大ホール1100席以上 小ホール200席以上

市民ホール要求水準書(案)の建設費、施設概要等について以下に説明します。

■建設費 63億円を上限

■計画地 面積 約9720㎡ (民地は購入予定)

■施設概要

建築計画

- ・お堀端通りから20m程度の範囲には、にぎわいを創出できるスペースを配置する
- ・ホールのフライタワー(背の高い舞台空間)は、周辺地域に配慮して配置し、圧迫感を軽減
- ・にぎわいが周辺にもあふれ出るような配置計画
- ・外観は、歴史的環境を生かした質の高い都市景観の形成に寄与するもの
- ・災害時の一時的な避難所として活用できる
- ・生涯費用の低減を図れる

構造計画

- ・構造は十分な耐震性能を有した構成
- ・他の施設部分へ騒音や振動の影響を抑えた計画

大ホール系機能

芸術文化創造センターと同程度の舞台仕様を求めることで、ホールとしての質を確保する。また専用の搬入口を設ける。

- ・客席数：1100席以上
- ・楽屋：6室以上
- ・舞台寸法：8×8間(14.56m×14.56m)以上
- ・その他：オーケストラピットを設置

小ホール系機能

市民の使用を主とし、大ホールのリハーサルや展示系機能や創造系・支援系機能等を補完する。

- ・客席数：移動型客席数200席以上、最大300席
- ・楽屋：3室以上
- ・舞台寸法：6×5間(10.92m×9.1m)以上
- ・その他：フライタワーは小規模なものとする

展示系機能

平面作品だけでなく、多様な表現を持つ現代の芸術作品、立体作品の展示に対応するものとする。また、小ホールの平土間やオープンロビーなどを利用



▲図1 市民ホール計画地

することにより、これまでの展覧会の開催を可能とする展示スペースを550㎡以上確保する。

- ・想定面積200㎡以上
- ・有効天井高4.0m以上

創造系・支援系機能

- ・小ホールのリハーサルやワークショップも行える
- ・中スタジオを1室及び小スタジオを3室配置

交流系機能

- ・オープンロビー：展示としても利用できる
- ・カフェ等

管理系機能、その他

- ・管理系機能：管理事務室、機械室、倉庫
- ・その他：託児など多目的に利用できる場所を確保

外構施設

お堀端通り側のアプローチ広場は、にぎわいが感じられ、人々が集い、交流が生まれる計画とする。

駐車場は、敷地内は業務用。車ででの来場者は周辺の駐車施設の利用を基本とする。ただし、車いす利用者用駐車場は配置するとともに、高齢者や障害者の送迎について配慮する。

議長辞任挨拶要旨他

5月23日の小田原市議会5月臨時会で議長辞任挨拶をしました。以下発言の要旨と実施できたことを列記します。

■辞任挨拶要旨

- ・一身上の都合により議長の職を辞させて頂く。
- ・改選後の臨時議会において、議長という大任をいただき早2年、その職を何とか全うできた。
- ・皆様方の御協力の賜物と心から感謝申し上げます。
- ・モットーは、「リスクを恐れず一歩前へ」
- ・議員の皆様は4点約束した。

1 議会報告会の充実

- ・平成27年度は、議決の結果報告に加え、小田原駅周辺の機能配置についてテーマ設定し、ハルネ広場での開催が出来た。
(井上昌彦 広報広聴常任委員長)
- ・平成28年度は、市議会シンポジウムとして専門的知見の活用と特別委員会の市役所外、休日夜間開催という新たな形で実施。
(今村洋一 県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員長)
(鈴木敦子 広報広聴常任委員長)

2 継続的に改革検討できる仕組みづくり

具体化はできず。課題に対し適宜対応した。

- ・報道機関の傍聴方法の見直し
(佐々木ナオミ 議会運営委員長)
- ・小田原城天守閣リニューアル初日の入場料を熊本城へ寄付する際の先決処分の内諾（会派代表者）
- ・県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員会の設置（代表者会議）

3 積極的な情報発信

市議会ホームページにおいて

- ・政務活動費支出一覧表の掲載
(大村学 議会運営委員会委員長)
(井上昌彦 広報広聴常任委員長)

- ・常任委員会と特別委員会の審査資料の掲載
(大川裕 広報広聴常任委員長)
- ・常任委員会の映像配信
(井上昌彦 広報広聴常任委員長)
(鈴木敦子 広報広聴常任委員長)

4 前期からの課題の早期検討

- ・本会議場への国旗と市旗の設置（代表者会議）
- ・予算及び決算特別委員会の審査方法見直し
(井原義雄議長、俵綱太郎 議会運営委員長)
(井原義雄議長、奥山孝二郎 議会運営委員長)
(大村学 議会運営委員長)
- ・これらは、全て、図らずも私が議長を務めている間に結果が出たものである。
- ・その多くは、10年以上前から歴代議長を中心に各議員が真剣に検討されてきたものである。
- ・改めて、皆様方のご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

■対外的な活動

- ・小田原市や小田原市議会へ視察が増えており、2年間で行った視察対応は挨拶のみも含め20回
- ・議会改革の視察も多く、事務局の説明の後、質疑に回答した。
- ・その中で幾つかの市が、視察後に広報広聴委員会の常任委員会化、議会報告会の実施方法や電子端末の持込など実践され、議長会等でお会いした際に感謝の言葉を頂いた。
- ・各議長会への出席や姉妹都市との交流、カリフォルニア州チュラピスタ市との姉妹都市提携35周年記念訪問等、海外や全国を回った。

■最後に

- ・議員各位には色々とお迷惑をお掛けした部分もあったかと思う。
- ・充実した毎日を送ることができた事に心から感謝を申し上げ、退任の挨拶とする。

どうもありがとうございました。

武松政策研究会からのお知らせ

6月の武松忠議会報告会について

日時 6/24(土) 18:00～
場所 おだわら市民交流センターUMECO 会議室8
テーマ 「市民ホール要求水準書について」
参加費 100円
終了後 懇親会を行います。

5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

6月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

117,434円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	16,752円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	12,427円
会場費	2,500円
通信費(携帯電話代、折込代)	85,775円
支出計 17/6/1~17/6/30	117,434円
寄付 Kさん、匿名さん	15,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
17/7/1

第166号

15800部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

保健所を抱える小さな中核市？

想定では、合併後3～5年で中核市に移行!? → 広域連携の強化

最近、複数の方から「南足柄市と合併するんですね。」言われることが多くなり危惧しています。

合併することは決定していませんし、今は合併したらどうなるか検証している段階です。

協議会での中核市の協議について示します。

■中核市への移行について

中核市への移行について、以下の協議を求める。

- 1 両市の合併後、中核市へ移行することとする。
- 2 移行の時期は、合併後3～5年後とする。

【調整理由】

- ・中核市へ移行し、基礎自治体としての権能強化を図ることで、地域課題を自律的に解決するための総合行政体となり得ること、市民サービスの向上へ寄与すること、財政面においてマイナスとならないこと等が見込まれるため。→本当か？
- ・移行時期については、合併後可能な限り速やかな中核市への移行が適当であるが、移行までの準備期間を考慮し、職員の事務負担の平準化や合併によって生じる余剰人員の活用といったメリットが見込まれるため。→余剰人員の為？

■中核市移行基本計画(案)概要

1 中核市移行基本計画の策定趣旨

2市は、自律的な総合行政体を引き続き標榜するとともに、県西地域の核としての役割を果たし続けていくため、両市での中核市への移行に際して期待されるメリット及び課題を精査し、移行作業を円滑に進められるよう本計画を策定する。

2 中核市制度の概要

中核市は、指定都市が処理する事務のうち、県が実施する方が効率的である事務を除くものについて、県からの移譲を受けて実施する。

3 中核市への移行による具体的効果

中核市への移行により、市民生活に関わる多くの事務が県から移譲され、より住民に身近な市が事務を実施することで様々な効果が見込まれる。

4 中核市への移行に当たっての基本方針等

権能強化による幅広い施策展開と、きめ細かく高

度な行政サービスを実現する。合併後の市が進める諸施策の強力な推進力とする。県西地域の中心的都市としての存在感、発信力を高める移行の時期は、準備期間及び合併に伴う人員調整等を考慮し、合併後3～5年程度を目標とする。

5 中核市への移行事務の実施方針

(1) 職員の確保・育成の実施方針

事務量の増加や専門性を要する事務の移譲に対応するため、職員の増員数を77人と見込む。職員の育成は、県等での実務研修や県内保健所設置市との職員交流について調整する。

(2) 施設等の整備の実施方針

保健所は、「小田原市保健センター内」もしくは「南足柄市保健医療福祉センター内」に整備することを優先的に検討するが、必要に応じて機能の分散も含め他の施設の活用についても検討する。

(3) 移行の推進体制整備の実施方針

中核市への移行準備を推進するための組織のほか、特に専門性が高い保健所整備に特化した推進組織の設置についても検討する。

6 中核市への移行による財政への影響

(1) 財政への影響

基準財政需要額の増	14億1027万円
財源移譲額	1億6108万円
中核市移行に伴う歳入増(A)	15億7135万円
移譲事務の処理に係る人件費の増	5億5200万円
移譲事務の処理に係る事業費の増	5億1297万円
既存事業に係る県負担金等の減による負担増	3億6302万円
中核市移行に伴う歳出増(B)	14億2798万円
財政収支見込額(A)-(B)	1億4336万円

※職員の増員数は、事務の統合による削減と他市での状況等も勘案し、69人として試算した。

(2) 初期投資経費等

保健所施設や検査機器等の整備に係る初期投資経費については、改めて精査する。→見積りで明確に

保健所は県で！中核市になる必要なし！

広域連携体制!?

協議会で議題となっている広域連携体制について(案)の概要を以下に示します。

中心市と周辺町との新たな広域連携体制について

1 趣旨

(1) 広域連携の重要性と有効性

- 行政コストが増大する一方で、人材や財源等の行政資源は減少傾向にある。
- 行政資源を有効に活用する観点から、基礎自治体間の連携をこれまで以上に柔軟かつ積極的に進めていく必要がある。
- 県西地域では、広域連携に早くから取り組み、消防の広域化などで成果を挙げている。

(2) 中心市としての課題認識

- 県西地域は中心市と周辺の各町との規模の差が大きく、水平的・相互補完的、双務的な広域連携は望みにくい。
- 連携を進めるには、中心市に期待される役割に伴う負担の問題がある。
- 中心市自体が財政的に危機的な状況を迎えつつある中では、これまでどおりの広域連携の形は維持できなくなる恐れがある。

(3) 新たな広域連携の展望

- 県西地域では、中心市を軸とする広域連携が今後、一層の重要度を増していく。
- 中心市たる両市が合併及び中核市への移行によって、財政基盤と権能の大幅な強化を実現し、新たな広域連携のあり方を展望する。

2 広域連携制度の概要

地方自治法に規定されている普通地方公共団体相互間の協力等の制度には連携協約、法定協議会、機関等の共同設置、事務の委託、事務の代替執行、一部事務組合及び広域連合がある。なお、法に基づかず任意で協議会を設置するなどの連携手法もある。

3 新たな広域連携の制度等

(1) 連携協約を活用した連携中枢都市圏の形成

- 一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持す

るための拠点を形成し、圏域全体の経済成長の牽引、高次の都市機能の集約・強化及び圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図ろうとするもの。

- 連携中枢都市は次の全ての要件を満たす必要があるが、現時点において小田原市は、Cの要件を満たしていない。(合併した場合も同様)

A 規模が中核市以上

B 昼夜間人口比率が概ね1以上

C 三大都市圏に所在する市においては、三大都市圏内の指定都市及び特別区(23区)への通勤通学者割合が0.1未満

(2) 水平的・相互補完的、双務的な役割分担

- 三大都市圏における水平的・相互補完的、双務的な連携制度を構築するために、現在モデル事業が実施されている。

4 小田原市・南足柄市における広域連携の現状

(1) 広域連携の現状

- 広域連携は課題解決の手段として一定の効果を挙げているものの、一般的に期待される効果が中心市の側では出にくい。
- 県西地域2市8町枠内の連携事業の約75%の取組において、両市は中心市の役割を果たしている。

5 県西地域における広域連携の展望

(1) 広域連携に対する基本的な姿勢

- 行政サービスを持続的に提供し、住民の生活圏の広域化にも適切に対応していく方策として、広域連携の重要性は今後、ますます高まる。
- 両市が合併及び中核市への移行を経て、広域連携を牽引する体力と中心的な役割を担うに相応しい権能を持った中心市となった際には、各町との広域連携を一層強化していく。
- 各町との連携を互恵的なものとするため、中心市が過度に負担をするような連携とならないよう留意が必要である。 以下省略

合併後、中核市移行し、広域連携を強化していくというシナリオです。私は、少し規模が大きくなって保健所を抱える小さな中核市となることは、将来的に厳しくなると判断しています。**合併反対!**

武松政策研究会からのお知らせ

8月の月刊武松の発行配布は都合により中止します。

7月の武松忠議会報告会について

日時 7/22(土) 18:00~

場所 おだわら市民交流センターUMECO 会議室8

テーマ 「任意協議会の協議状況について」

参加費 100円

終了後 懇親会を行います。

5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →



HPIは、「たけまつただし」で検索! 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter: @ttakemat

facebook: <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

7～8月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

89,791円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	15,162円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	17,520円
会場費	2,500円
通信費(携帯電話代、折込代)	54,609円
支出計 17/7/1～17/8/31	89,791円

市政を考える

月刊武松

発行日

17/9/1

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

武松政策研究会

第167号

15300部発行

任意協議会が終了!?

協議結果に基づき合併を推進することが望ましい???

第9回をもって小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会が終了しました。3000を超える事務事業について、両市のサービス水準を、ある面機械的に調整した結果、増加する経費や削減できる人件費等がある程度明らかになりました。ただし、重複施設の統廃合など住民合意が必要なものについては、合併後に先送りとなっています。以下に、市議会調査特別委員会に示された小田原市としての協議結果に対する評価を示します。

■合併に関する協議結果に対する評価について

1 行革効果に関する評価

- 小田原市、南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会において合併については、両市の行財政基盤の強化に向けた抜本的な行政改革の手段となり得るかどうかとの趣旨で協議が行われた。
- 合併のみでは、人口減少、少子高齢化によるマイナス影響を長期にわたって埋めることはできないものの、年間約18億円という大きな財政改善効果が見込まれることが明らかになった。
- これは、単独の市であれば、行政サービスの縮減を含む非常に厳しい行政改革をもってしても容易には生み出し難い規模の財政効果であり、**合併はまさに「究極の行政改革」と呼ぶにふさわしい抜本的な行政改革の手段で有ることが確認できた**。
- 中長期的に避けることができないと見込まれた行政サービス水準の低下は、合併することにより当面、最小限に止めることができるようになる。
- また、公共施設配置などの面で、スケールメリットを生かしたより一層の行政改革の取組を加速することができるという点も、合併効果として期待できる。

2 市民生活の影響にかかる評価

- 協議の結果、一部に行政サービス水準が低下するものがあるが、多くの事務事業においては水

準に大きな変化はない、若しくは向上が期待される見通しとなった。

- また、合併後の市においては、単独の市であり続ける場合よりも行財政基盤の強化が図られ、財政の柔軟性が高まることにより、単独の市では継続が困難になるおそれのあったサービスを継続したり、新たな投資を構想したりすることが可能になるものと考えられる。

- 市民の関心が高いと思われる「合併方式」については、本市への編入合併となったほか、「市の名称」、「市章」、「その他慣行に関する事項」などについても、小田原市の現状が大筋で存続することとなった。

3 まちづくりへの影響にかかる評価

- 両市の総合計画を比較検証した結果、両市のまちづくりの基本的な理念は共通している部分が多く、これを融合した場合でも、これまで本市が進めてきたまちづくりの方向性と矛盾は生じないことが確認できた。
- また、両市の強みを生かしながらこれまでのまちづくりを融合して新たな価値を生み出すことも可能と考えられる。

4 合併に対する総合的な評価

- 上記1から3の評価を勘案すれば、**2市の合併は小田原市の行財政基盤の強化に資するものであり、今後、中長期的に市民サービスの維持・向上を図る上で有効な手段であると言える**。よって、小田原市としては南足柄市における評価や今後の取組の方針を踏まえることが前提となるものの、協議結果に基づいて合併を推進することが望ましいものと認識する。今後、この認識に基づき、市民に対する丁寧な説明を行い、市民の意向を把握した上で、合併の是非について判断することが妥当である。

重複施設の統廃合が出来なければデメリット！

合併により縁辺地域の衰退が加速！

シンポジウム・説明会

9月の広報小田原と一緒に、小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会の協議結果説明冊子が配布されます。その冊子を基にシンポジウム、全体説明会2回と地域別説明会6回を開催します。多くの市民の参加をお願いします。

■合併について考えるシンポジウム

小田原市と南足柄市は、平成28年10月に小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会を設置し「合併」・「中核市」・「広域連携」について検討・協議を行ってきました。その協議結果を両市の市民の皆様にお知らせし、合併について考えてもらうためのシンポジウムを開催します。

日時 9月24日(日) 14:00～16:30(13:30開場)

対象 小田原市民、南足柄市民

定員 600人(当日先着順)

場所 小田原市民会館大ホール(本町1-5-12)

内容

第1部 協議会会長による協議結果の報告

第2部 パネルディスカッション

今こそ考えよう、安心して暮らし続けられるまち

コーディネーター

牛山久仁彦(明治大学政治経済学部 教授)

パネリスト

木村秀昭(小田原市自治会総連合会長)

佐藤廣理(南足柄市前地蔵堂自治会長)

小野康夫(小田原市社会福祉協議会会長)

宗像達也(南足柄市PTA連絡協議会役員)

加藤憲一(任意協議会会長・小田原市長)

* 公共交通機関でお越しいただくか、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

* 託児サービスを用意します。(2歳から。開催日の1週間前までに事務局へ電話でお申込みください。)

* 手話通訳と要約筆記を用意します。

■全体説明会 14:00～15:30(13:30開場)

地区	日程	会場	定員
川西	9/9(土)	市民会館小ホール	270
川東	10/8(日)	保健センター大研修室	170

* 市民会館とUMECOには駐車場はありません。公共交通機関でお越しいただくか、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

* 全体説明会には託児サービスを用意しています。(2歳から。開催日前日までに企画政策課に事前申込)手話通訳・要約筆記も行います。

■地域別説明会 19:00～20:30(18:30開場)

地区	日程	会場	定員
川東北部	9/11(月)	梅の里センター 大会議室	120
富水桜井	9/13(水)	小田原アリーナ 研修室	80
片浦	9/15(金)	根府川公民館	30
中央	9/22(金)	市民交流センター UMECO会議室1～3	100
川東南部	9/27(水)	川東アリーナ-マロニエ 集会室202	80
橘	9/28(木)	橘アリーナ-こゆるぎ ホール	80

* 地域外にお住まいの方にもご参加いただけます。

おもて面に示した通り、小田原市行政は、合併推進で前のめりに説明してくる可能性があります。

合併の是非を判断するには、夢や希望ではなく、**データと事実の積み重ね**しかありません。多くの市民の目でチェックし、将来の小田原市を考えていきましょう。

武松政策研究会からのお知らせ

9月の武松忠議会報告会について

日時 9/23(土) 18:00～

場所 おだわら市民交流センターUMECO 会議室9

テーマ 「任意協議会説明資料と市民ホールについて」

参加費 100円

終了後 懇親会を行います。

5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →



HPIは、「たけまつただし」で検索! 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter: @ttakemat

facebook: <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松 第167号 武松政策研究会 討議資料

9～10月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

46,537円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	9,003円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	17,523円
会場費	2,500円
通信費(携帯電話代、折込代)	17,511円
支出計 17/9/1～17/10/31	46,537円

市政を考える 月刊武松

発行日
17/11/1

第168号

15300部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

合併説明会 小田原の参加少数

参加者アンケート 合併「必要」「どちらかといえば必要」で52.3%

突然の衆議院解散により月刊武松の頒布を急遽中止しました。(選挙期間中は、政治活動禁止の為)

まず、167号でお伝えした合併に関する市民説明会の開催状況について説明します。

■市民説明会開催状況(小田原市) 参加者321人

開催場所ごとの参加者数/定員を示します。

・全体説明会 14:00～15:30

地区	日程	会場	参加者数 /定員
川西	9/9(土)	市民会館小ホール	103/270
川東	10/8(日)	保健センター 大研修室	32/170

・地域別説明会 19:00～20:30

地区	日程	会場	参加者 /定員
川東 北部	9/11(月)	梅の里センター 大会議室	28/120
富水 桜井	9/13(水)	小田原アリーナ 研修室	31/80
片浦	9/15(金)	根府川公民館	30/30
中央	9/22(金)	市民交流センター UMECO会議室1-3	28/100
川東 南部	9/27(水)	川東外センター マロニエ 202	46/80
橘	9/28(木)	橘外センターこゆるぎ ホール	23/80

主な質問事項

- ・合併の効果と課題
- ・両市の財政状況、財政推計
- ・市民意向の把握手法
- ・事務事業調整の内容
- ・公共施設の再編

小田原会場アンケート「合併の必要性について」 237人

	人数	割合 %
必要	60	25.32
どちらかといえば必要	64	27.00
どちらかといえば必要ない	25	10.55
必要ない	44	18.57
わからない	37	15.61
未回答	7	2.95

■市民説明会開催状況(南足柄市) 参加者664人

日程		会場	参加者数
9/6 (水)	19:00 -20:30	岡本 コミュニティセンター	68
9/9 (土)	10:00 -11:30	福沢 コミュニティセンター	95
9/9 (土)	19:00 -20:30	南足柄市役所 大会議室	136
9/13 (水)	19:00 -20:30	内山公民館	54
9/18 (月)	15:00 -16:30	岩原公民館	91
9/19 (火)	19:00 -20:30	南足柄市役所 大会議室	133
9/21 (木)	19:00 -20:30	中部公民館	87

主な質問事項

- ・南足柄市の財政状況
 - ・合併による財政効果
 - ・市民意向の把握
 - ・合併しない場合の行政改革
 - ・合併に対する市長の考え
 - ・公共施設の再編
 - ・大型公共事業
 - ・中核市への移行
- 裏面に続く

市民アンケート

9月議会の補正予算で、合併に関する市民アンケート事業費（157万円）を決定しました。

■合併に関するアンケートについて

市では、小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会の協議結果等について市民説明会等で市民に周知してきましたが、この度、南足柄市との合併の是非を判断するために、市民の意向を把握するためのアンケートを実施することになりました。

1 アンケート実施時期

発送：2017年10月16日（月）

締切：2017年10月31日（火）当日消印有効

2 アンケート対象

2017年4月1日時点で本市に住民登録があり、かつ同年9月1日時点で18歳以上の市民1万人（無作為抽出）

3 発送物

依頼文、アンケート調査票、説明資料

4 設問内容

合併についての認識、性別及び年齢層、自由意見

問（1問のみ）

あなたは、「南足柄市との合併を推進することが望ましい」という市の考え方に賛同できますか。

- ①賛同できる ②どちらかといえば賛同できる
③どちらかといえば賛同できない
④賛同できない ⑤わからない

5 アンケート結果の公表

2017年11月中を予定

■今後の予定

2018/3～2018/4

・合併の是非判断

※南足柄市の状況を見て、本市の是非判断をする。

重複施設は廃止できません。

合併すると市政が停滞！

合併を阻止しましょう！

市民ホール3者選定

小田原市市民ホール整備事業公募型プロポーザルの1次審査を2017年9月16日（土）に行い、応募者4者から提出された技術提案書等をもとに、次の3者を1次審査通過者として選定しました。

■1次審査通過者（敬称略、五十音順）

- ・梓設計・小泉アトリエ・佐藤工業共同企業体
 - ・鹿島建設・環境デザイン研究所共同企業体
 - ・前田建設工業・ヨコミゾマコト建築設計事務所共同企業体
- 以下のパースは順不同



ODAWARA INSPIRE HALL
小田原黒門劇場



武松政策研究会からのお知らせ

**11月の武松忠議会報告会は、
都合により中止します。**



5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →

HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter：@ttakemat

facebook：https://www.facebook.com/tadashi.takematsu

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松 第168号 武松政策研究会 討議資料

11月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

75,214円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	15,162円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	15,468円
通信費(携帯電話代、折込代)	44,584円
支出計 17/11/1~17/11/30	75,214円

寄付 小林さん 30,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
17/12/1

第169号

15300部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

合併に関するアンケート結果

合併推進という市の考えに「賛同できる」「どちらかといえば賛同できる」で68.1%

合併に関するアンケート結果が公表されました。

■目的(小田原市)

中心市のあり方に関する任意協議会の協議結果に基づき、南足柄市との合併の是非を判断するに当たり、予め市民の意向を把握することを目的に実施。

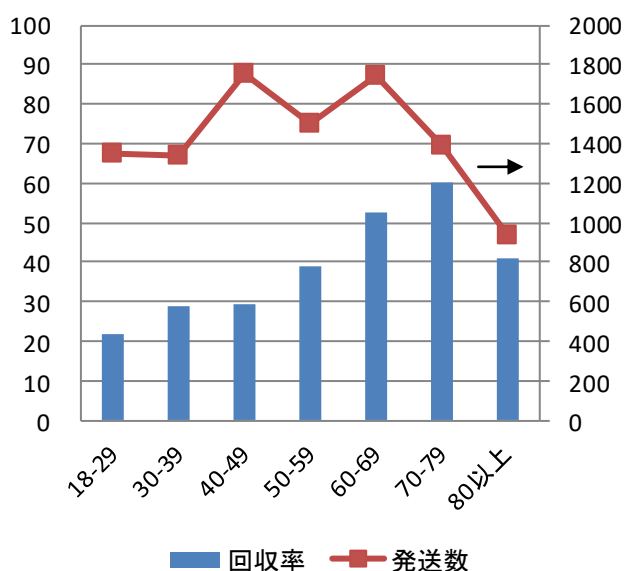
■調査方法(小田原市)

- ・2017/4/1時点で小田原市に住民登録
- ・2017/3/1時点で18歳以上
- ・上記市民から10000人を無作為抽出
- ・郵送による配布・回収

■回収状況(小田原市)

- ・返送件数 3960件 ・回収率 39.6%

図1 小田原市年齢層別回収率と発送数



- ・50歳未満の回収率が低くそれぞれ30%を下回った。(図1) 回答数の54%が60歳以上
- ・「賛同できる」「どちらかといえば賛同できる」合わせて68.1%となった。(図2)
- ・年齢層別の回答状況に大きな差がなかった。(図3)

■質問に対する回答状況

図2 合併を推進することが望ましいという市の考え方に賛同できますか

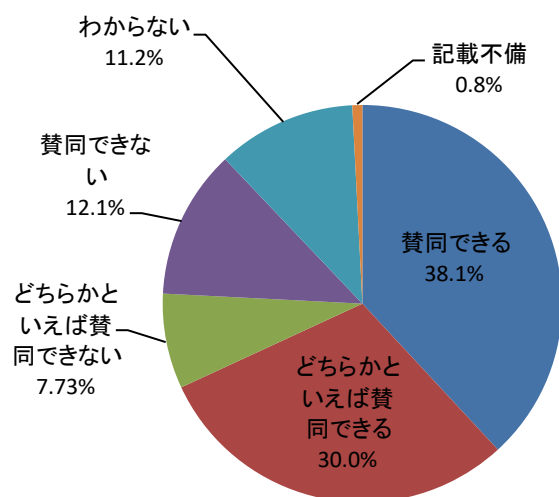
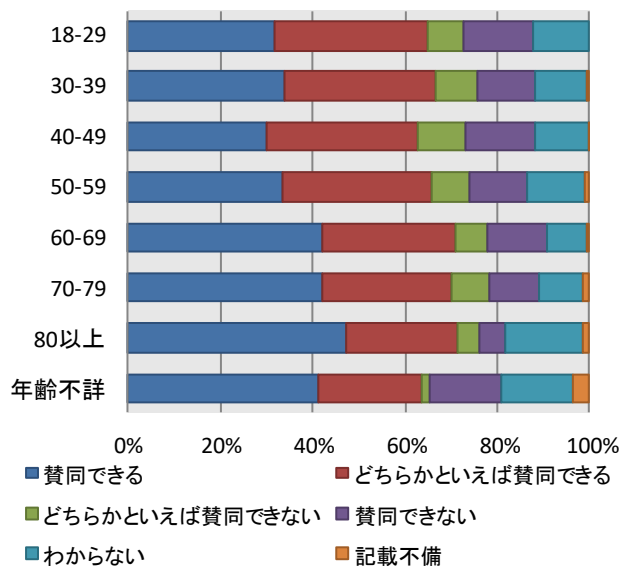


図3 年齢層別回答比率



南足柄市アンケート結果

■調査方法（南足柄市）

- ・南足柄市で住民登録の18歳以上
- ・上記市民から3700人を無作為抽出
- ・郵送による配布・回収

■回収状況（南足柄市）

- ・返送件数 2292件 ・回収率 61.9%

■集計結果

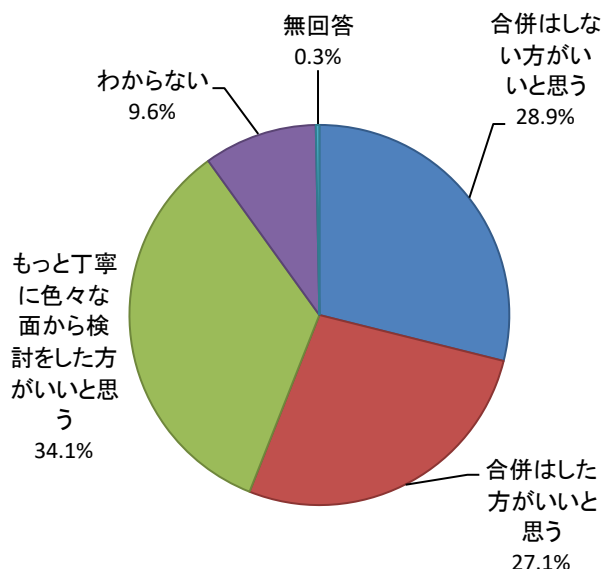
問1 基本情報について（性別、年齢、居住地）
結果省略

問2 合併を目的に協議したわけではないことを
知っているか
知っている：49.2% 知らない：49.7%

問3 歳出削減効果が見込まれるが、合併後の歳入
財源は見込んでいないことを知っているか
結果省略

問4 小田原市との合併について現段階でどのよう
に考えているか

図4 小田原市との合併について
現段階でどのようにお考えですか



問5 合併について住民投票を実施した方がいいか
実施をした方がいいと思う 67.3%
実施をしない方がいいと思う 15.8%
わからない 15.8% 以下省略

以上のような結果となりました。

アンケートの内容も異なりますが、その直前に行われた市民説明会で南足柄市は、任意協発行の冊子とは別に、合併した場合のデメリットや不安点、合併しない場合の対応策を盛り込んだ資料も配布し、その資料に基づいて説明をしています。

基幹設備の状況

以下に両市のごみ焼却施設や上下水道関連の施設状況について示します。

■ごみ処理関係

環境事業センター基幹的設備改良工事 48億5784万円

改良後、年間約5.3万トンの処理能力となる。現在の排出量は年間約5.2万トンであり、処理能力の余裕は1千トン程度。南足柄市は年間約1万トンのごみ処理量があるため、南足柄市のごみを受け入れることは現状では不可能。

最終処分場残余年数

小田原市：3年半程度、南足柄市：12年
両市を合わせて使用した場合：5年9ヶ月。

■上下水道関係

上水道設備

高田浄水場整備 2016-2035年で76億円

上水道管路耐震化率（南足柄市）【合併後】

全ての管路 24.6%（16.8%）【22.7%】

基幹管路 51.6%（4.4%）【34.6%】

下水道計画区域内面積普及率

小田原市：85.5% 南足柄市：60.4%

下水道管渠の耐震化率（南足柄市）

幹線管渠 約22%（約21%）

■し尿処理関係

し尿処理能力（南足柄市+上郡5町+湯河原・真鶴）

156kl/日（150kl/日）

し尿処理実績（南足柄市+上郡5町+湯河原・真鶴）

120kl/日（92kl/日）

基幹設備を統合できず。耐震化率低下！

武松政策研究会からのお知らせ

12月の武松忠議会報告会、
1月の月刊武松発行・配布は、
都合により中止します。



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter：@ttakemat

facebook：https://www.facebook.com/tadashi.takematsu

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

12～1月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

146,373円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	18,056円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	26,961円
通信費(携帯電話、郵送代、折込代)	101,356円
支出計 17/12/1～18/1/31	146,373円

寄付 Kさん 5,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
18/2/1

第170号

15300部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

南足柄市との合併は見送り

南足柄市加藤市長が「合併すべきではないと判断した。」と答弁

私は、南足柄市との合併には反対だったので、法定協議会が設置される前に、南足柄市長が合併すべきではないと判断したこと、南足柄市議会が、合併の賛否を問う住民投票条例の修正案を否決したことに、とても安堵しています。今回は南足柄市議会一般質問・答弁の概要と住民投票条例等の結果と小田原市の状況について説明します。

■南足柄市議会滝本議員の一般質問と市長答弁概要 Q 滝本議員

- 任意協議会、市民説明会、アンケート等が終了したが、市民は心配している。このような中、市長の合併の是非についての考えを伺いたい。

A 市長

- 結論から申しあげる。任意協議会や市民説明会等の結果を冷静に考察し、市長としては合併をするべきではないと判断する。
- 任意協議会発足当初から、任意協議会は合併を判断する場ではなく、県西地域の連携と強化のために設置されたもの。
- 任意協議会の目的は合併、中核市移行、広域連携の3つの手法から、その目的の達成のためメリット、デメリットを洗い出すこと。
- 決して合併ありきではない。
- 合併の効果が150億円となったが、これは歳出削減であり主に人件費の削減であった。歳入を増やすという方策は示されなかった。
- 中核市や広域連携の議論は先送りされ、その成果は示すこともできなかった。
- これらを度外視しての合併の正当性は見いだせない。
- 県西地域特に足柄上郡1市5町の影響は大きい。
- 大義や合理性は見いだせない。
- 今までの経緯を真摯に受け止め市長としては、合併はすべきではない。南足柄に必要なことは市民の結束と安定、落ち着きである。
- しかしながら、小田原市とは更なる連携を未来志向で図っていきたい。

Q 滝本議員

- 合併はしないということですので、市民は安堵したと思われる。合併に賛成の方も市長の答弁をかみしめてもらいたい。
- 今後どのようなことが想定されるのか。

A 市長

- 小田原市長へは事前に連絡をし、礼を尽くした。今後は、対等でお互い尊重し、より良い相乗効果が図れるよう広域連携に努めたい。

■南足柄市議会 住民投票条例の修正案を否決

12/13の南足柄市議会本会議で、議員提出議案「南足柄市が小田原市と合併することの賛否を問う住民投票条例案」の修正案が否決され、原案が可決されました。

否決された修正案は、150日以内に無条件で住民投票を実施することを求める内容でした。

可決された原案は、市長が法定合併協議会を設置しようとする前に住民投票実施を求めており、南足柄市長は合併すべきではないと表明していることから、**事実上法定協議会は設置されず、住民投票も行われないこととなりました。**

■小田原市議会一般質問の加藤憲一市長答弁

12/15の一般質問で、南足柄市の加藤修平市長が合併すべきではないと判断したことに対し、「極めて残念。理由として挙げられた事柄については理解に苦しむ点も多い」「当面は南足柄市との間で、これ以上、合併に関する協議を進めることはない」と答弁。

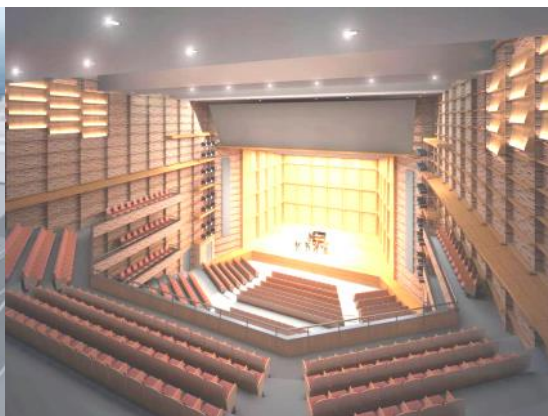
両市長は合併見送りを表明！

■中核市移行の是非は30年度施政方針で表明

1/15の県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員会で副市長は、施行時特例市である小田原市が人口20万人未満でも中核市になることができる期限が平成32年3月末に迫っているため、**30年度施政方針で中核市移行の是非を表明すると答弁。**

市民ホール事業者選定

2次審査で、優先交渉権者として鹿島建設・環境デザイン研究所共同企業体を選定。



▲大ホール（1116席）
◀市民ホール全景

お城通り再開発事業

基本設計まとまる。（万葉倶楽部株式会社）
和風低層棟：4階 ホテル和室、1～3階 商業機能



高層棟：
14階 レストラン
展望広場
10～13階
ホテル客室
9階 業務機能
7・8階
医療施設
6階
図書館・子育て支援
多目的室（会議室）
5階 業務機能
4階 ホテルフロント・
コンベンションホール
3階 商業・業務機能
1・2階
観光バス乗降場
地下1階
駐車場 80台

武松政策研究会からのお知らせ

2月の武松忠議会報告会、
3月の月刊武松発行・配布は、
都合により中止します。



HPは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter：@ttakemat

facebook：https://www.facebook.com/tadashi.takematsu

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松 第170号 武松政策研究会 討議資料

2～3月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

43,160円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	21,567円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	12,811円
通信費(携帯電話代)	8,782円
支出計 18/2/1～18/3/31	43,160円

寄付 中川さん 5,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
18/4/1

第171号

23300部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

2018年度予算成立

中核市移行は見送り 一般会計は過去最大の682億円(5.9%増)

■中核市移行の見送り表明

施政方針で中核市移行の見送りが表明されました。南足柄市長の合併見送り判断による合併協議が終結し、「厳しい行財政改革」と「中核市への移行」を並行して取り組むことは困難と判断したとのことです。その後、2018年度予算審査となりました。

予算特別委員会と本会議最終日に当初予算に対する修正案が提出されたものの、原案が賛成多数で可決されました。

■2018年度予算規模

歳入は、市税が325.1億円0.51%減の見込みです。図1の義務的経費は微増。その他経費は、物件費が8.86%増です。投資的経費は、市斎場建替えとごみ焼却炉の改修が本格化し43.3%増です。

図2の義務的経費中の扶助費は、183.6億円 前年比4.42%増となりました。

一般会計	682億0000万円(+ 5.90%)
特別会計(10会計)	570億6577万円(- 8.01%)
企業会計(3会計)	314億4898万円(+ 0.15%)
全会計(14会計)	1567億1476万円(- 0.71%)

■一般会計予算の特徴

主な歳入

(1)市税	325億1100万円(- 0.51%)
(2)地方交付税	8億0000万円(- 11.1%)
(3)市債(借金)	55億9600万円(+ 22.1%)
うち臨時財政対策債	14億6000万円(- 8.75%)

歳出

(1)投資的経費：道路、施設等整備	95億8190万円(+ 43.3%)
-------------------	--------------------

斎場整備事業、焼却設備改良事業等が本格化し大幅な予算増となっています。

(2)義務的経費：人件費+扶助費+公債費

	324億2962万円(+ 2.46%)
うち人件費	97億3468万円(+ 1.30%)
扶助費	183億6250万円(+ 4.42%)
公債費(借金返済)	43億3243万円(- 2.73%)

扶助費：生活保護、障害者支援、保育所運営、医療費助成

図1 一般会計歳出(性質別当初予算)

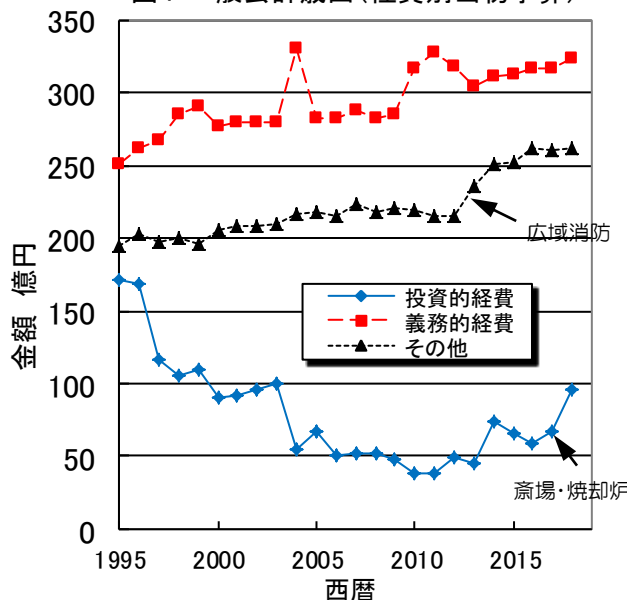
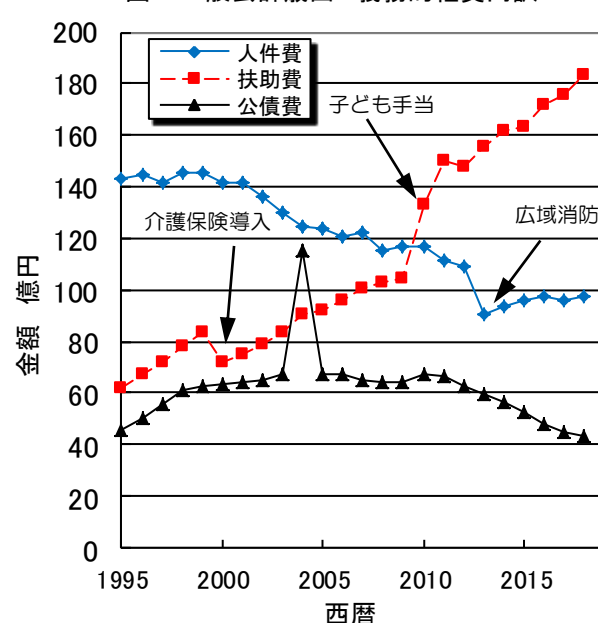


図2 一般会計歳出 義務的経費内訳



主な事業の予算額

■一般会計の主な事業の予算額

新年度の特徴的な予算を以下に列記します。図3は、主な費目別歳出の推移を示します。

民生費

・生活保護費	56億6901万円
・児童福祉費	90億6553万円
・障害者福祉費	44億8090万円

教育費

・学校施設維持管理事業 便所改修・空調設備設置等	6億5273万円
-----------------------------	----------

衛生費

・斎場整備事業	19億0935万円
・焼却設備改良事業	27億1103万円

土木費他

・お城通り地区再開発事業	5億7961万円
・市民ホール整備事業	2億4222万円

■特別会計・企業会計

競輪事業特別会計	119億3000万円(- 5.62%)
天守閣事業特別会計	3億5500万円(+95.05%)
国民健康保険事業特別会計	202億8000万円(-19.16%)

国民健康保険診療施設事業特別会計	2800万円(- 0.00%)
------------------	-----------------

公設地方卸売市場事業特別会計	1億4200万円(+ 5.19%)
----------------	-------------------

介護保険事業特別会計	153億7100万円(+ 0.86%)
------------	---------------------

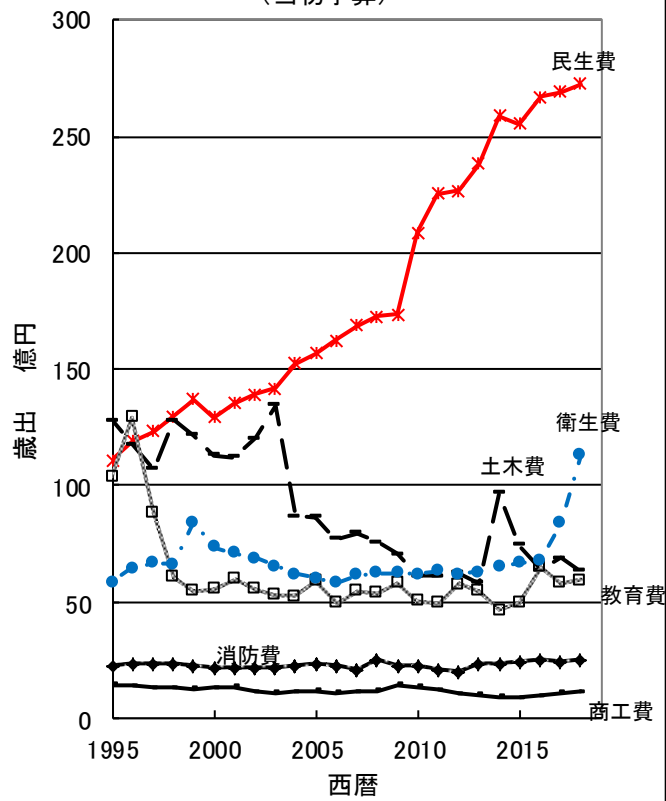
後期高齢者医療事業特別会計	42億7400万円(- 0.49%)
---------------	--------------------

公共用地先行取得事業特別会計	77万円(-97.1%)
広域消防事業特別会計	42億9800万円(+ 5.19%)

地下街事業特別会計	3億8700万円(+ 22.86%)
水道事業会計	57億8592万円(+ 8.10%)

病院事業会計	139億1791万円(+ 1.81%)
下水道事業会計	117億4516万円(- 5.13%)

図3 小田原市の一般会計主な歳出推移
(当初予算)



予算賛成討論の要旨

私の賛成討論の概要を以下に列記します。

- ・今後もさらに厳しい財政状況が続くことが確実
- ・市民ホールとお城通り地区広域交流施設の着実な事業進展による文化並びに商業の活性化を期待
- ・市立病院の建替えも控えており、厳しい行財政改革は喫緊の課題
- ・法定期限内での中核市への移行を見送る判断は極めて賢明であり高く評価
- ・支所等統廃合とマイナンバーカード利用による証明書類のコンビニ交付への対応を高く評価
- ・尊徳翁の映画化の支出は、段階的な予算執行等、慎重を期すべき

武松政策研究会からのお知らせ

4月の個人議会報告会について

日時場所 4/28 18:00～ おだわら市民交流センターUMECO 会議室8

テーマ 「新年度予算等について」 参加費 100円

終了後 懇親会を行います。

折込地域の拡大について 4月より鴨宮・上府中地区にも新聞折込します。

5月3日は、北條五代祭り！今年は甲冑侍として歩きます。



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

4月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

113,127円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	20,950円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	13,662円
会場費	2,500円
通信費(携帯電話代、折込代)	76,015円
支出計 18/4/1~18/4/30	113,127円

市政を考える 月刊武松

発行日
18/5/1

第172号

22800部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

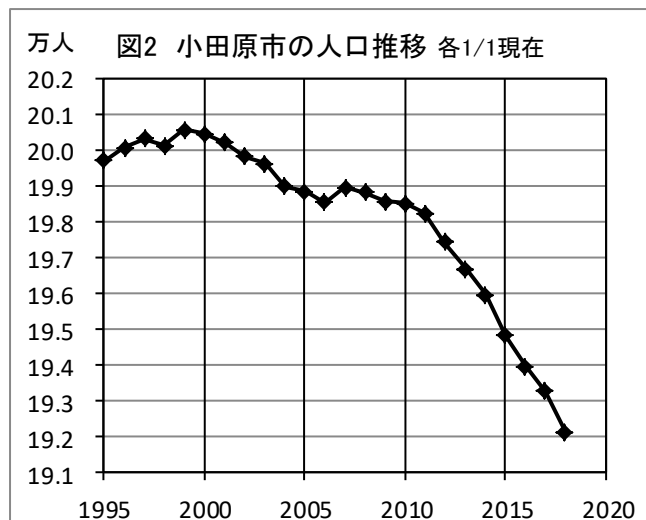
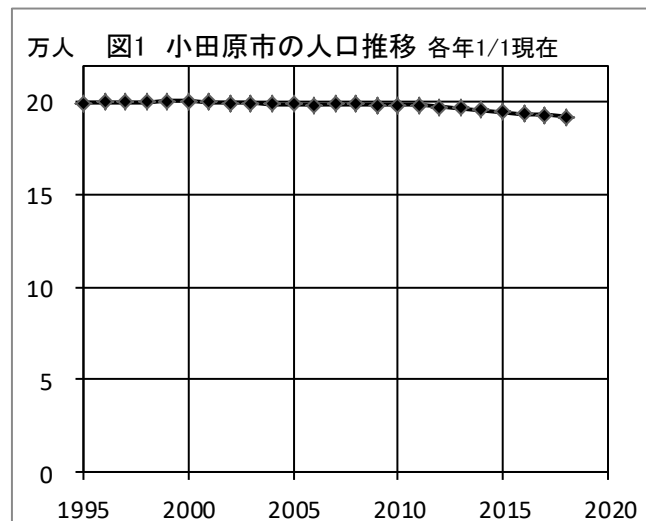
人口が19万1325人に

前年同月比1531人減。その要因を探る。

4月1日の小田原市の人口が191,325人、前年同月比1531人減となりました。人口減少の原因として、少子高齢化や企業の移転等様々な要因が考えられますが、データを整理してみます。

■総人口の推移

まず、図1・図2に総人口の推移を示します。



2011年以降、横ばいから減少に転じました。

月刊武松 第172号

両図とも同じデータなのですが、縦軸の原点を0にした図1より、全体的な人口の推移が横ばいから微減に転じたと見る事ができます。

図2は縦軸の変位に合わせ拡大したもので、微小変化の特徴を見ることができます。これより、2010年を変曲点として、2011年以降直線的に人口減少していると見る事ができます。

人口減少で大変だと印象付けたい場合は、図2のようなグラフの示し方をします。

特に我々議員は、図1、図2の両方の見方で認識することが大事です。

次に図3に出生数死亡数の推移を示します。

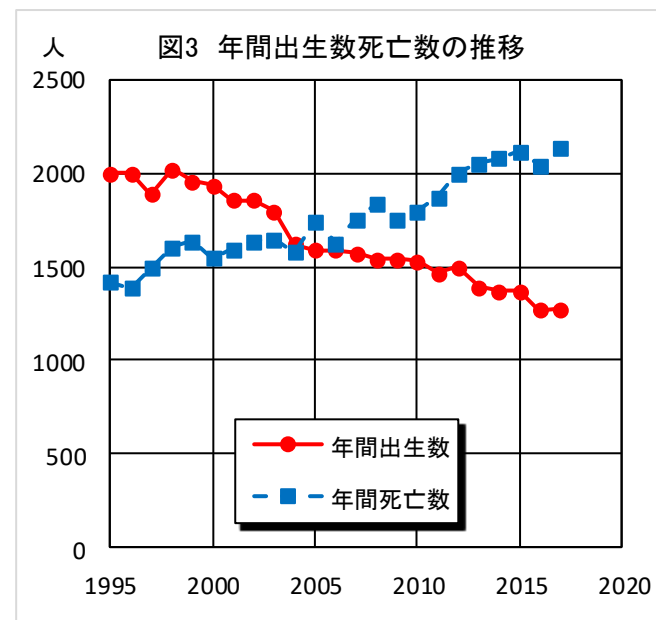


図3より、年間出生数が、2011年以降1500人を割り、さらに減少傾向にあることに加え、年間死亡者数が2012年以降2000人を超えています。

人口統計上は、出生数が死亡数を下回ると自然減といいますが、2017年は、861人の自然減となっています。一方、1996年には614人の自然増となっていました。

裏面に続く

武松政策研究会 討議資料

自然増減社会増減の推移

次は社会増減について見てみます。

小田原市から他市区町村へ引っ越す⇒転出
小田原市へ他市区町村から引っ越す⇒転入
転入数<転出数 = 社会減

年間の転入数転出数の推移は特徴的なところが見られなかったため図は省略しますが、ともに6500～8000人の間でばらついていました。

図4に自然増減と社会増減の推移を示します。

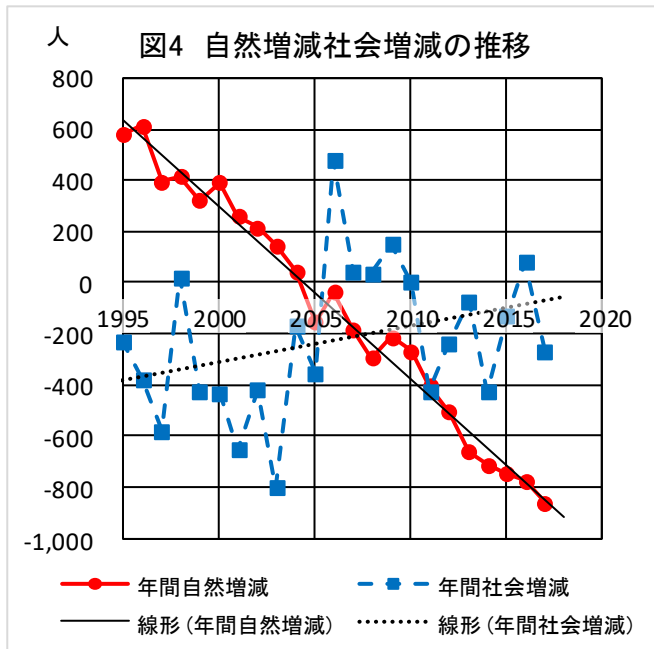


図4より、自然増減は直線的に自然減となっていることがわかります。その線形近似で年間67人ずつ自然減が拡大しており、団塊世代の高齢化に伴う死亡増により、当面自然減が続くと見られます。

社会増減は、年毎にばらつきが大きいものの、線形近似では改善傾向にあります。

次に、年齢5歳区分・男女別人口について1995年(図5)と2017年(図6)を比較してみます。

これより、65-69歳人口が増え、14歳以下の人口減が顕著となっています。小田原は、温暖で歴史

図5 年齢(5歳区分)・男女別人口 (1995)
(平成7年1月1日現在)

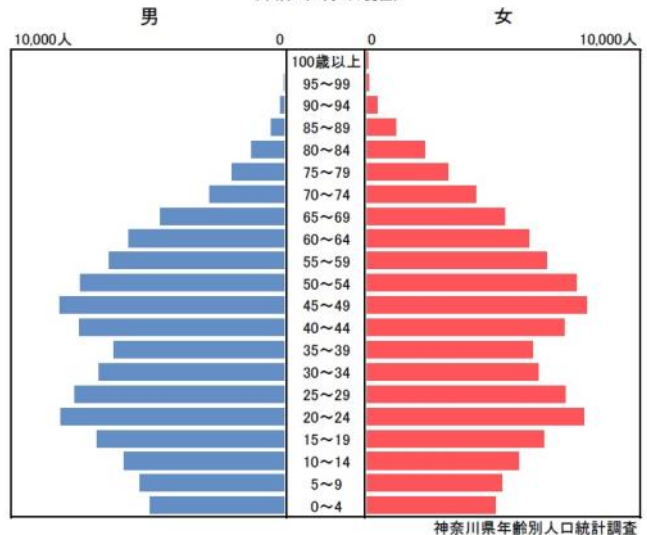
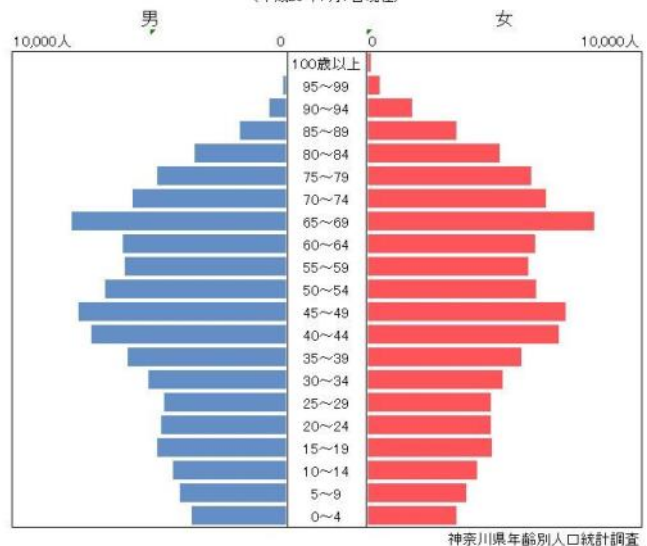


図6 年齢(5歳区分)・男女別人口 (2017)
(平成29年1月1日現在)



もあり、定年後に転入される方が多いようです。

今後、空家等の対策、14歳以下の人口減に伴う市立保育園、幼稚園や小学校の統廃合など具体的に想定していかなければなりません。

武松政策研究会からのお知らせ

5月の個人議会報告会について

日時場所 5/26(土) 18:00～ おだわら市民交流センターUMECO 会議室8

テーマ 「人口減少を考える」 参加費 100円

終了後 懇親会を行います。

折込地域の拡大 4月より鴨宮・上府中地区にも新聞折込しています。



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

5月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

107,651円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	17,995円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	13,629円
会場費	2,500円
通信費(携帯電話代、折込代)	73,527円
支出計 18/5/1~18/5/31	107,651円
寄付 Kさん	30,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
18/6/1

第173号

22800部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

人口増減の地域格差

縁辺部の人口減。区画整理地区やマンション建設で人口増。

■人口増減の地域格差

最大の人口であった1999年と、2018年の地域区分ごとの人口増減の比較をしました。

表1の地域区分別人口増減より、中央の人口減が多く、人口増だったのは川東北部だけでした。

表2に字名ごとの人口減ベスト20、表3に字名ごと人口増ベスト5を示します。

人口減は、市の縁辺部や主要駅から離れた所に目立ちます。

人口増は、土地区画整理された所や小田原駅周辺のマンション建設が進んだ所となっています。

表1 地域区分別人口増減

	1999/4/1	2018/4/1	増減数	増減率 %
片浦	2,070	1,464	-606	-29.3
中央	68,301	63,458	-4843	-7.1
富水・桜井	42,492	40,729	-1763	-4.1
川東南部	49,699	47,588	-2111	-4.2
川東北部	25,185	26,175	990	3.9
橘	12,526	11,911	-615	-4.9



表2 人口減ベスト20

	1999/4/1	2018/4/1	増減数	増減率 %
久野	12,464	11,307	-1157	-9.3
小竹	3,356	2,650	-706	-21.0
蓮正寺	8,455	7,911	-544	-6.4
酒匂二丁目	2,880	2,342	-538	-18.7
栢山	8,425	7,926	-499	-5.9
酒匂六丁目	920	433	-487	-52.9
酒匂一丁目	2,402	1,942	-460	-19.2
風祭	1,480	1,076	-404	-27.3
早川	1,592	1,212	-380	-23.9
鬼柳	914	560	-354	-38.7
扇町二丁目	1,754	1,454	-300	-17.1
浜町二丁目	1,012	720	-292	-28.9
浜町四丁目	1,351	1,061	-290	-21.5
東町一丁目	2,043	1,756	-287	-14.0
中村原	3,477	3,194	-283	-8.1
中町一丁目	1,361	1,083	-278	-20.4
穴部	1,677	1,422	-255	-15.2
曾比	5,346	5,104	-242	-4.5
田島	3,056	2,821	-235	-7.7
入生田	1,208	978	-230	-19.0
扇町三丁目	1,450	1,226	-224	-15.4

表3 人口増ベスト5

	1999/4/1	2018/4/1	増減数	増減率 %
飯泉	4,826	5,800	974	20.18
栄町一丁目	750	1,320	570	76.00
小船	891	1,369	478	53.65
成田	3,375	3,797	422	12.50
本町二丁目	797	1,136	339	42.53

今後5年で児童数が減少

中学校生徒数の推移は、当面横ばいの為省略し、小学校児童数を分析します。

表4に各小学校児童数の推移を減少数順に並べ替えたものを示します。おもて面より、人口減は、市の縁辺部や主要駅から離れた所に目立つと書きましたが、小学校の児童数の予測からも、今後5年間の

増減に格差があることが裏付けられました。

児童数減少の多いものから

桜井小学校：-120人（-21.1%）

久野小学校：-85人（-26.8%）

下中小学校：-76人（-22.6%）

となっています。ともに**市の縁辺部に所在**しています。次が、三の丸小、国府津小、富士見小、東富水小、酒匂小となっており、市中心部や郊外の住宅地に所在したものとなっています。

三の丸小の減少は、地域の人口が増えても（表3）

児童が増えていないということが明らかになりました。

次に、各学年1学級となりうる**全校生徒240名以下の小学校が25校中9校にもなることがわかりました。**

中でも、曾我小学校については、2023年の児童数見込みが66人となり、現在小規模特認校として学区外からも児童を受入れている片浦小学校を下回ってしまい早急な対策が必要です。しかし、片浦小学校と異なり電車通学等できる環境にないため、児童数増加は簡単な課題ではありません。

学校生活は、毎日のことであり、通学安全や教育はしっかりと保障していかねばなりません。

まずは、地域や保護者が市の支援を受けながら、あり方を考えていただくことが第一歩ですが、残された時間はあまりありません。

表4 小学校児童数の推移

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	23-18	増減率
桜井	592	578	570	570	535	499	473	450	-120	-21.1
久野	338	339	317	304	281	270	253	232	-85	-26.8
下中	350	342	336	318	297	294	281	260	-76	-22.6
三の丸	545	533	540	530	527	505	489	468	-72	-13.3
国府津	600	589	564	557	542	533	525	506	-58	-10.3
富士見	543	511	517	522	507	478	462	464	-53	-10.3
東富水	551	511	505	474	480	472	450	456	-49	-9.7
酒匂	402	371	366	361	349	342	340	331	-35	-9.6
新玉	219	214	195	192	184	178	172	163	-32	-16.4
町田	325	325	308	311	301	282	279	277	-31	-10.1
千代	517	505	514	513	511	511	491	483	-31	-6.0
大窪	188	183	201	196	193	183	180	171	-30	-14.9
下曾我	189	191	171	164	165	153	155	144	-27	-15.8
曾我	91	93	92	94	93	89	78	66	-26	-28.3
早川	190	186	180	171	162	154	156	155	-25	-13.9
前羽	141	139	135	134	125	120	113	113	-22	-16.3
富水	553	577	589	583	567	589	582	572	-17	-2.9
下府中	354	354	348	353	335	337	329	331	-17	-4.9
報徳	287	304	312	313	308	306	303	303	-9	-2.9
豊川	562	588	617	634	636	645	625	614	-3	-0.5
足柄	435	432	440	446	461	447	438	438	-2	-0.5
矢作	514	522	516	516	523	527	527	517	1	0.2
片浦	92	96	85	90	90	90	90	90	5	5.9
山王	216	203	194	200	202	207	212	210	16	8.2
芦子	461	445	473	491	489	501	515	549	76	16.1
合計	9255	9131	9085	9037	8863	8712	8518	8363		

武松政策研究会からのお知らせ

6月の個人議会報告会は、都合により中止します。



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter：@ttakemat

facebook：https://www.facebook.com/tadashi.takematsu

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

6月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

158,179円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	13,023円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	12,696円
通信費(折込代)	132,460円
支出計 18/6/1~18/6/30	158,179円

市政を考える 月刊武松

発行日
18/7/1

第174号
22500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

支所等住民窓口の再編

16ヶ所⇒5ヶ所 併設の生涯学習センター分館等も廃止

支所等住民窓口の再編については、唐突の感がありますが、その理由と結果を説明します。

■支所等住民窓口の再編

支所等住民窓口は、表1の築年欄より、**老朽化の著しいものもあり**、施設の安全性を確保し、サービスを維持していくための施設建替えや補修に対し、多額の**財政負担が課題**となっています。また住基ネットやマイナンバーにより、申請書類に必要な証明書類も減っており、この10年で取扱件数は、約25%減となっています。

また、コンビニ交付に伴う既存システム改修費、証明書発行サーバの構築費、証明書交付センターへの接続費等経費等の1/2(上限5000万円)や運

営経費を国が3年間交付する制度等の期限が2019年度となっています。

そのため、そのあり方について検討を重ねてきた結果、民間事業者(全国のコンビニエンスストア及び支所等廃止地域の郵便局)との業務連携による住民票等の交付サービスの導入に併せて、施設の老朽化や利用状況等を考慮し、**支所等住民窓口を現在の16ヶ所から5ヶ所に縮減することとなりました**。なお、廃止される支所・窓口コーナーでの取扱件数は、全体の約21%となっています。

支所等廃止 2019年3月16日施行

■コンビニでの証明書類の交付(来年1月中旬から) コンビニで証明書を入手するにはマイナンバー

カードが必要です。

全国のコンビニに設置してあるマルチコピー機で、マイナンバーカードと暗証番号で手続きできます。

手数料は市役所窓口と同一です。

交付できる証明書類

住民票の写し、印鑑登録証明書
戸籍謄本、戸籍抄本、附票の写し
市民税・県民税証明書

■マイナンバーカード申請は簡単

市役所本庁窓口では、無料で写真撮影を行い、カード申請のお手伝いをしています。

必要なもの

- ・通知カード
 - ・本人確認書類(免許証、パスポート等)
- 注意

カードが出来上がるまで1ヶ月半～2ヶ月ほどかかります。

この機会に是非

マイナンバーカード申請を!

裏面に続く

表1 住民窓口取扱件数及び利用状況(2016年度)

存廃	住民窓口名	築年	証明交付	届出	収納	合計
存続	本庁戸籍住民課	1976	107,525	30,254	88,230	226,009
存続	マロニエ住民窓口	1995	43,128	19,245	81,905	144,278
存続	いずみ住民窓口	2005	14,981	8,302	29,643	52,926
存続	こゆるぎ住民窓口	2007	6,483	2,979	9,881	19,343
存続	アークロード市民窓口	JR	21,133		51,580	72,713
廃止	大窪支所	1928	4,751	1,996	9,291	16,038
廃止	早川支所	JA	2,685	1,007	5,055	8,747
廃止	豊川支所	1954	8,354	2,799	15,515	26,668
廃止	上府中支所	1954	2,920	1,084	5,661	9,665
廃止	下曽我支所	1992	3,052	1,344	5,623	10,019
廃止	片浦支所	1953	598	270	918	1,786
廃止	曽我支所	1956	1,815	483	2,800	5,098
廃止	中央連絡所	1965	9,189	4,657	14,958	28,804
廃止	国府津駅窓口コーナー	1996	3,929		4,483	8,412
廃止	酒匂窓口コーナー	1984	3,451		3,724	7,175
廃止	桜井窓口コーナー	1988	6,695		7,172	13,867

生涯学習センター分館等の廃止

■支所併設の生涯学習センター分館の廃止

生涯学習センター分館（豊川分館、上府中分館、曾我分館、片浦分館、大窪分館）は、支所に併設され、支所職員が兼務で、支所と一体となった管理運営をしています。

支所等住民窓口の再編により、併設する支所が施設の老朽化や利用状況を考慮して廃止されることになり、生涯学習センター分館についても併せて廃止となります。

また一部に併設の図書館分館は自動車文庫等で対応します。

2019年3月16日施行

表2 生涯学習センター分館等の施設概要及び利用状況

	豊川分館	上府中分館	曾我分館	片浦分館	大窪分館	国府津駅前 ふらっとスポット
部屋構成	講堂 会議室・和室	講堂	講堂・和室	講堂・和室	講堂	生涯学習室
利用件数	1,328	498	136	5	7	413
利用人数	16,157	1,005	2,416	41	59	2,308
稼働率 %	42.65	47.98	6.55	0.48	0.67	38.35
廃止後の管理	地域で管理可能か調整中。 公共施設再編計画の中で機能分担を検討					駐輪場等再整備 の中で検討
図書館分館 利用人数	302	35	57	177		
図書館分館 貸出冊数	637	72	163	382		

駅前図書施設等の概要

小田原市は、小田原駅東口のラスカとUMECOの間に広域交流施設（事業主体は万葉倶楽部）を計画しています。その中に、駅前図書施設と子育て支援機能を設置する予定で、その概要について説明します。

■駅前図書施設

場所 広域交流施設6階

面積 約1300㎡（開架面積約1100㎡）

収蔵可能冊数 8万冊（開架冊数6万冊）

主な機能

一般コーナー、児童コーナー、新聞雑誌コーナー、多目的スペース

統合される施設

市立図書館（星崎記念館）の閲覧機能

■子育て支援機能

場所 広域交流施設6階

面積 約210㎡

主な設備

事務室、相談室、ランチスペース、手洗い場、女性用トイレ、デッキ

※授乳室、みんなのトイレ、子供用トイレ、ベビーカー置き場は、駅前図書施設と共用する。

統合される施設

おだぴよ子育て支援センター（約117㎡）

両施設とも、2020年度の広域交流施設のオープンと同時に設置されます。

本年8月下旬にUMECO前に東横イン(294室)、2年後に、広域交流施設内のホテル(188室)もオープンする予定で小田原駅周辺が様変わりします。

武松政策研究会からのお知らせ

7/28は暑気払い 参加希望者はメール・FAXで
8月の月刊武松発行&配布と個人議会報告会は都合により中止します。



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

7～8月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

83,553円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	33,543円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	22,188円
通信費(携帯電話代)	27,822円
支出計 18/7/1～18/8/31	83,553円

寄付 Kさん	5,000円
--------	--------

市政を考える 月刊武松

発行日
18/9/1

第175号

22500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

市立病院再整備の検討状況

事業費最大225億円 2024年供用開始

現在、市立病院再整備基本構想策定検討委員会が開催されており基本構想案が煮詰まってきました。

ここで現病院の課題、新病院の概要、新病院の事業費について説明します。

■現病院の課題

(診療科増と職員数増による施設の狭隘化)

表1 市立病院全面改築当時と現在の状況

西暦	診療科数	一般病床数	職員数	備考
1984	15	417	388	全面改築
2018	26	417	618	

(施設の老朽化など)

●病院施設の状況

- ・1981年の新耐震基準に適合

建設後35年以上が経過

- ・壁面のひび割れ、配管や機械設備の老朽化等のが進んでいる。

たび重なる増改築

- ・集中治療室や救急部門、検査部門が分散
- ・人員や設備の非効率な配置
- ・施設の狭隘化

以上のように、新耐震基準の建物ですが、規模、機能とも狭隘で非効率なため建て替えが必須となっています。

■人口の将来推計

- ・県西二次保健医療圏の人口は、2040年に向けて減少する。
35万0038人(2015)→27万5208人(2040)
- ・65歳以上の人口は増加する。
- ・64歳以下の人口は減少する。
- ・既に高齢化が進んでいる地域であるため、65歳以上の人口の増加率は、神奈川県及び全国平均と比べて非常に緩やかとなる見込み。(図1)

2015年=100とした指数

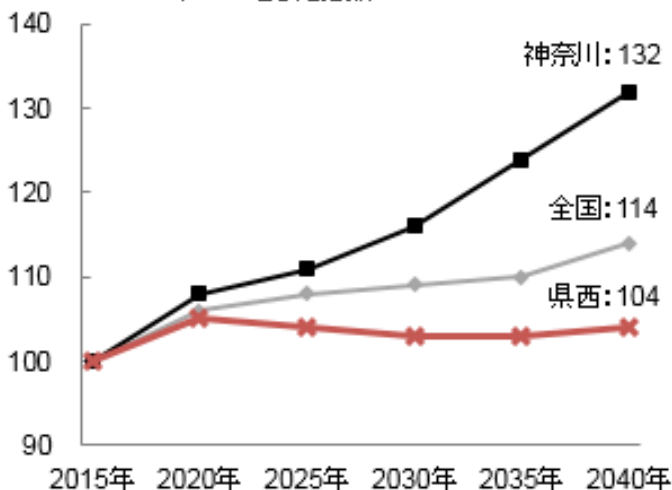


図1 65歳以上人口の伸び率

■新病院の概要

病床数は、現状維持を軸に基本計画策定段階でさらに検討する。

療養環境の向上は、4人部屋を基本としつつ個室の割合を増加させるなど、特別療養環境室の割合を高める。

規模は、1床当たり90～100㎡を想定し、延べ床面積は、約3.6万～4万㎡を見込む。

建設地は、現在の敷地を第1候補地とする。道路を隔てて隣接する看護宿舎や医師住宅などの敷地も検討範囲に含める。

■事業費

整備事業費は、工事費が約144億～180億円、解体撤去費が約5億円、医療機器整備費が約40億円で合計約189～225億円を想定。

■スケジュール

2019年秋 基本計画策定

2019年度内 基本・実施設計開始

2021年度 着工、2023年度中の完成

2024年度 供用開始

議員定数等検討しています

小田原市議会は、議会改革推進委員会を設置しました。著しい社会経済情勢の変動や少子高齢化などにより、地方自治体における行財政運営は、多くの重大な困難に直面しています。一方、市民要望の多様化及び複雑化は急速に進んでおり、市民の代表である市議会に求められる役割も、ますます重要なものとなっています。

このような状況のもと、本市議会は、議会機能の強化、効率的な議事運営等、議会制度改革の推進に努め、より一層「開かれた議会」を目指し、諸課題について広範かつ詳細な調査検討を行うことを目的とし設置しました。

■諮問項目

(1)公正で市民に開かれた議会

- ア 議員定数(現在28名)について
- イ 議員報酬について
- ウ 政務活動費について
- エ 議会基本条例について

(2)市民参加の機会の拡充

- ア 陳情審査基準について

(3)行政監視機能の強化

- ア 効率的な議会運営について
(小項目は省略)

(4)市民に分かりやすい議会

- ア 議長立候補者の所信表明演説について
- イ 委員会の公開について
- ウ 委員会資料の公開時期について
- エ 議会だよりの編集方針の変更について

既に5回の協議が行われ、答申の作成に向け詰め協議が行われています。

特に議員定数については、7会派中、現状維持：1会派、1～2名増：1会派、定数減：5会派となっており、まとまらない場合は、両論併記の答申となる可能性も出てきています。

私が所属する会派の政和は、定数減をすべきとしています。まずは1名減としていますが、議員定数が奇数になると、採決の際に可否同数となった場合、通常採決権のない議長が状況を総合的に判断し、裁決することとなり、好ましくありません。

議員定数の協議及び結果については、多くの市民の皆様にご注目して頂きたいと思っております。

YouTubeで常任委員会中継

これまで、USTREAMを使用し、常任委員会のライブ中継と録画中継の配信を行っていましたが、2018年7月13日よりYouTubeへ切り替えを行いました。なお、本会議中継は、引き続き小田原市議会HPより視聴願います。(PC Windows対応)

■注意・免責事項

- ・配信映像は、本市議会の公式記録ではありません。また、委員会における発言の取り消し及び訂正等についても修正せず配信しています。
- ・配信映像の著作権は、本市議会に帰属します。なお、配信映像の画面あるいは内容を許可なく他のウェブサイトや著作物等に転載することを禁止します。また、配信映像の目的外利用又は内容の改変を禁止します。
- ・インターネット回線の状況やYouTube側のサー

バ負荷、その他視聴者のPC環境等により、映像や音声途切れる、又は停止するなど正常に視聴できないことがあります。

- ・配信ページに表示される、市議会公式アカウント以外の関連動画、企業広告等は本市議会とは一切関係がありません。また、広告によるいかなる理由での損害についても本市議会は一切責任を負いません。
- ・本市議会は、YouTubeとは契約関係にないため、配信映像が正常に視聴できない、あるいは視聴することにより何らかの損害が生じた場合にも一切責任を負いません。

小田原市議会公式YouTube→



武松忠議会報告会

9月の武松忠議会報告会について

日時場所 9/22(土) 18:00～ おだわら市民交流センターUMECO 会議室8

テーマ 「市立病院再整備について」 参加費 100円

終了後 実費で懇親会を行います。



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

9月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

106,174円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	22,743円
交通費(駐車場、燃料代)	11,337円
通信費(携帯電話代、折込代)	72,094円
支出計 18/9/1~18/9/30	106,174円

市政を考える 月刊武松

発行日
18/10/1

第176号

22500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

小中学校普通教室にエアコン

2019年7月から 事業予算21億9927万円

突然の新聞報道から明らかになった市立小中学校普通教室へのエアコン設置。

行政内部で、来年度中にリース契約等による設置も検討している中で8/4新聞報道でした。議会には9/14の本会議まで報告がありませんでした。

その後、9/18に厚生文教常任委員会が開催され、概要が明らかになりましたので常任委員会資料を一部加工して説明します。

■小中学校普通教室等空調設備設置事業について 1 背景及び目的

今年は、全国各地で最高気温が連日35℃を超える猛暑が大きな問題となり、子供たちの熱中症対策として、各地で学校への空調設備設置の検討が進められている。本市では、これまで保健室等の管理諸室及び音楽室、パソコン教室等の特別教室に計画的に空調設備を設置してきたが、普通教室には設置していない状況である。

来年度以降も猛暑が続くことが懸念されることから、児童生徒の安全を守るとともに、より授業に集中できる教育環境を整えるため、来年の7月稼働を目標に、全小中学校の普通教室、特別支援教室、少人数教室等に空調設備を設置する。

2 現況等

(1) 空調設備の設置状況

	普通教室		特別教室		管理諸室		合計	
	教室数	設置数	教室数	設置数	教室数	設置数	教室数	設置数
小	311	0	377	29	100	100	788	129
中	135	0	239	14	44	44	418	58

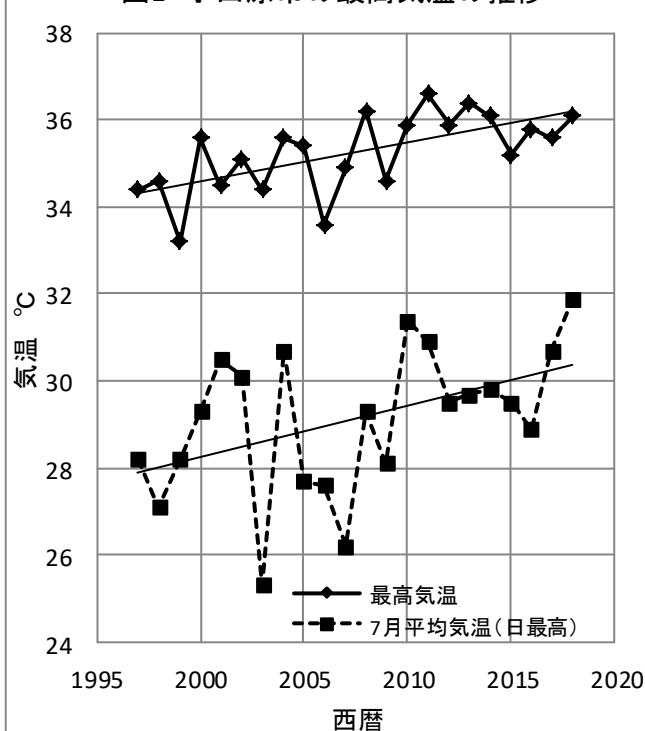
普通教室：通常級の教室

特別教室：特別支援教室、少人数教室、個別支援室、理科室、音楽室、図画工作室、美術室、技術室、家庭科室、パソコン教室、多目的教室、図書室、児童会室、生徒会室等

管理諸室：保健室、職員室、校長室、事務室

(2) 気温の変化

図1 小田原市の最高気温の推移



3 事業概要

(1) 設置教室数

全小中学校の普通教室、特別支援教室、少人数教室等の約660教室

(2) 発注方法：設計・施工一括発注方式

(3) 事業者選定方法：公募型プロポーザル

(4) 事業費(予算額)：21億9927万円

(5) スケジュール

プロポーザル 11月中旬まで

仮契約 11月下旬

本契約 12月中旬(議会で議決後)

設計・工事 06月末まで

稼働 07月から

裏面に続く

エアコン設置 質疑から

・整備事業費約22億円と算定した熱源は？

ガス方式で算定した。電気式の場合、受電設備の更新等も必要となり、29.6億円程度の事業費となる。また、工事期間も長くなり来夏の稼働が望めない。

・電気代や点検等ランニングコストの算定は？

ガス式（都市ガス、LPガス併用）

冷房のみ年間 2900万円

冷暖房年間 7700万円

ガス式（LPガスのみ）

冷房のみ年間 3700万円

冷暖房年間 1億0400万円

電気式 冷房のみ年間 1億0700万円

（8900万円湘南電力）

冷暖房 1億3200万円

・機材の確保は問題ないか？

全国的に学校へのエアコン設置が集中すると推測される。メーカーより、12月中の発注であれば、4ヶ月で納入可能との回答を得ている。

・国の学校施設改善交付金の見込みは？

契約の締結前に申請し、決定を受ければ交付を受けられる。660台の設置で最大2億円。

・財源の内訳は？

市債（16億5000万円）と一般財源（繰越金）

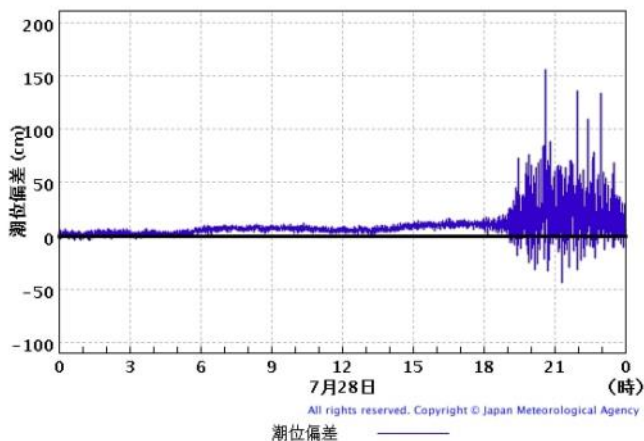
・大規模災害時の復旧期間の検討は？

都市ガスは、復旧に1ヶ月程度。電気は、1週間程度で復旧すると言われている。36校中半数の18校は、LPガス式であるが、電気がないと運転できないため、電気と同等の1週間程度となるが、あくまでも配管や機器に損傷のないことが前提である。

高潮被害を振り返る

小田原では、7/28に襲来した台風12号による被害がありました。真鶴道路で救急車等が被災した映像でご記憶のことと思います。また、9/4の台風21号では大阪で関西国際空港が閉鎖になるなどの被害が出ました。いずれも台風に伴う高潮で、気圧・風向き・地形で異なりますが、潮位のデータを振り返ってみましょう。

図2 台風12号接近通過時の小田原の潮位偏差



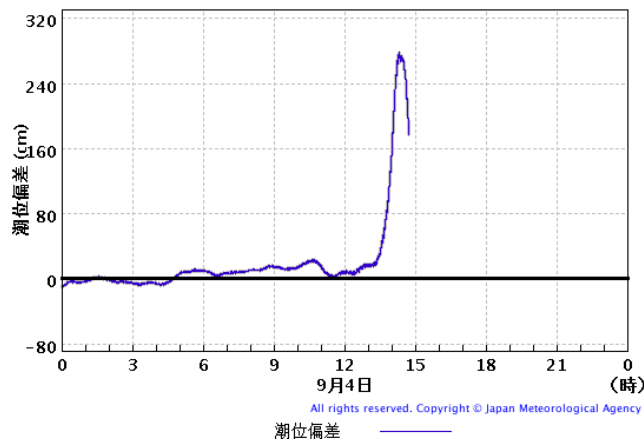
潮位偏差とは；潮位偏差＝実際の潮位－推算潮位で算出し、通常の干満による差を差し引いたもの。

図1より、小田原では台風接近の際は非常に穏やかでしたが、通過したとたん風向きが変わると急に荒れだしたことがわかります。

図2より、大阪港では台風接近と大阪湾に直角に吹き込む風と遠浅の海底形状により、波というよりも急速に潮位が上昇したことがわかります。

1902年9月28日には小田原に高潮襲来しています。万全の準備と正確な情報で、迅速な避難を。

図3 台風21号接近通過時の大阪港の潮位偏差



武松忠議会報告会

10月の武松忠議会報告会は会議室が取れず中止します。
懇親会のみ行います。

日時 10/27(土) 18:00～

場所 メール等でお問い合わせください。 参加費 実費



HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

10月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

102,345円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	19,503円
交通費(駐車場、燃料代)	10,882円
通信費(携帯電話代、折込代)	71,960円
支出計 18/10/1~18/10/31	102,345円

市政を考える 月刊武松

発行日
18/11/1

第177号

22500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

市民の火葬料が有料に

実は今まで無料でした。新斎場供用開始の2019年7月から1.2万円

2019年7月から、新しい小田原市斎場が供用開始となり、市民の火葬料が有料になります。

■新斎場は1市5町から事務委託

施設は引き続き小田原市営火葬場として位置づけ、供用開始後は小田原市が1市5町(南足柄市、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町)から事務の委託を受けて運営します。

事務委託に際し、上記1市5町から整備費等の一部を、人口等に応じ負担をして頂くので、これらの市町民は、小田原市民と同じ利用料となります。

また、運営管理経費については、実際の火葬数等に応じ、各市町からも分担して頂くことになっています。

事実上の広域斎場ですが、新たに一部事務組合(市町が、その事務の一部等を共同処理するために設ける特別地方公共団体であり、法人格を有する)等を設けず、小田原市が主体となって、管理していきます。

■斎場使用料の算出根拠

表1に、小田原市斎場整備運営に係る事業契約金額等に基づき、火葬1体あたりの経費を算出しました。

表1 火葬1体あたりの経費

経費	金額	火葬件数	1体当たり経費
維持管理運営経費 [15年]	25.5億円	6.5万件 (15年間)	3.9万円
うち火葬業務経費	15.5億円		2.4万円
整備費	31.5億円	11.3万件 (25年間)	2.8万円
その他の経費 協議会経費 市債償還利子等	7.0億円	6.5万件 (15年間)	1.1万円
合計			7.8万円

表2 現在の斎場使用料

区分	市内居住者	市外居住者	南足柄市 居住者
大人	0円	38,000円	27,000円
小人 (12歳未満・死 胎児)	0円	19,000円	14,000円
臓器等	0円	6,000円	5,000円
遺体安置室	8,000円	8,000円	8,000円

■市民が有料になった理由

小田原市の整備費負担等を減らすために、1市5町にも整備費等負担をして頂くことになり、小田原市民のみ無料とすることが出来なくなってしまいました。しかし、個別の収骨室、待合室の使い勝手やバリアフリー対応など、これまでの施設より、格段に使いやすい施設になります。

■斎場使用料の考え方

市内住居者と1市5町居住者は、1体あたり火葬業務経費2.4万円の1/2の1.2万円とし、それ以外居住者は、1体あたり経費の全額の7.8万円としました。

また、神奈川県内の公設斎場のうち、市町内居住者火葬料(大人)が無料なのは、17施設中、4施設(平塚、茅ヶ崎、真鶴、愛川)で、有料施設の火葬料は、6千円から1.7万円になっています。

表3 新斎場利用料(2019年7月1日以降)

区分	市内居住者 1市5町居住者	市外居住者
大人	12,000円	78,000円
小人 (12歳未満・死胎児)	6,000円	39,000円
臓器等	2,000円	13,000円
遺体安置室	3,000円	16,000円
待合室 2室目以降1室につき	5,000円	10,000円

危険なブロック塀対策

2018年6月18日に発生した大阪府北部地震（震度6弱）では、塀の倒壊により尊い命が失われました。市の公共施設における危険なブロック塀は既に撤去済みですが、隣接民地の塀は一部未対応です。

塀の倒壊による被害を未然に防止するため、塀の所有者、管理者の方は塀の安全点検を実施してください。また、ブロック塀等撤去費補助金制度もありますので説明します。

■ブロック塀の点検のチェックポイント

点検については、必要に応じて建築士等の専門家へご相談してください。

塀の倒壊に起因する損害は、原則所有者の責任となってしまう。日頃から維持保全に努めていただき、安心して暮らせるまちを目指しましょう。

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

□ 1. 塀は高すぎないか

- ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。

□ 2. 塀の厚さは十分か

- ・塀の厚さは10cm以上か。
（塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上）

□ 3. 控え壁はあるか。

- （塀の高さが1.2m超の場合）
・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。

□ 4. 基礎があるか

- ・コンクリートの基礎があるか。

□ 5. 塀は健全か

- ・塀に傾き、ひび割れはないか。

組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

□ 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。

□ 2. 塀の厚さは十分か。

□ 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。

□ 4. 基礎があるか。

□ 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

■小田原市ブロック塀等撤去費補助金

地震に強いまちをつくるため、市では、一定条件のブロック塀などを撤去する人に、必要な経費の一部を補助します。

補助対象

道路、公共施設、幼稚園、保育所などに面したブロック塀等（高さ1m以上）の撤去

※ただし、撤去後、高さ40cmを超えるブロック塀等を築造しないこと

※詳細については、防災対策課までご相談ください。

※工事着工前に手続きが必要です。

補助金額

塀の長さ1mあたり1万円（限度額50万円）

※補助算定額と、撤去にかかる費用を比べて低い額

用語説明

道路とは

- ・国・県・市その他公法人が所有し、または管理する道
- ・建築基準法（昭和25年法律第201号）第42条に定める道路

ブロック塀等とは

市内に存するコンクリートブロック、コンクリート、石材等を用いて築造した塀又は門柱。

道路面からの高さが1mを超えるもの（擁壁の上に築造されているものにあっても、塀の部分の高さが0.6mを超えているものに限り。）又は傾斜が著しい、風化若しくはひび割れが著しいブロック塀等で、地震により倒壊した場合に危険と認めるものをいう。

申請期間

2018年10月1日から12月28日まで

（※実績報告書の提出期限は2019年2月28日まで）

注意事項

- ・申請書の先着順で申請をお受けします。
- ・申請額が予算額に達した場合は、2018年度の申請をお受けできません。

防災部：防災対策課 0465-33-1855

武松忠議会報告会

1 1月の武松忠議会報告会は会議室が取れず中止します。

HPIは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載



twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

11月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

102,307円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	19,187円
交通費(駐車場、燃料代)	11,156円
通信費(携帯電話代、折込代)	71,964円
支出計 18/11/1~18/11/30	102,307円

寄付 キタムラさん

100円

市政を考える

月刊武松

発行日

18/12/1

第178号

22500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

〒256-0815 小田原市小八幡3-4-40

広域交流施設と周辺施設の接続

東口駐車場2階・広域交流施設3階とペデが段差なしに

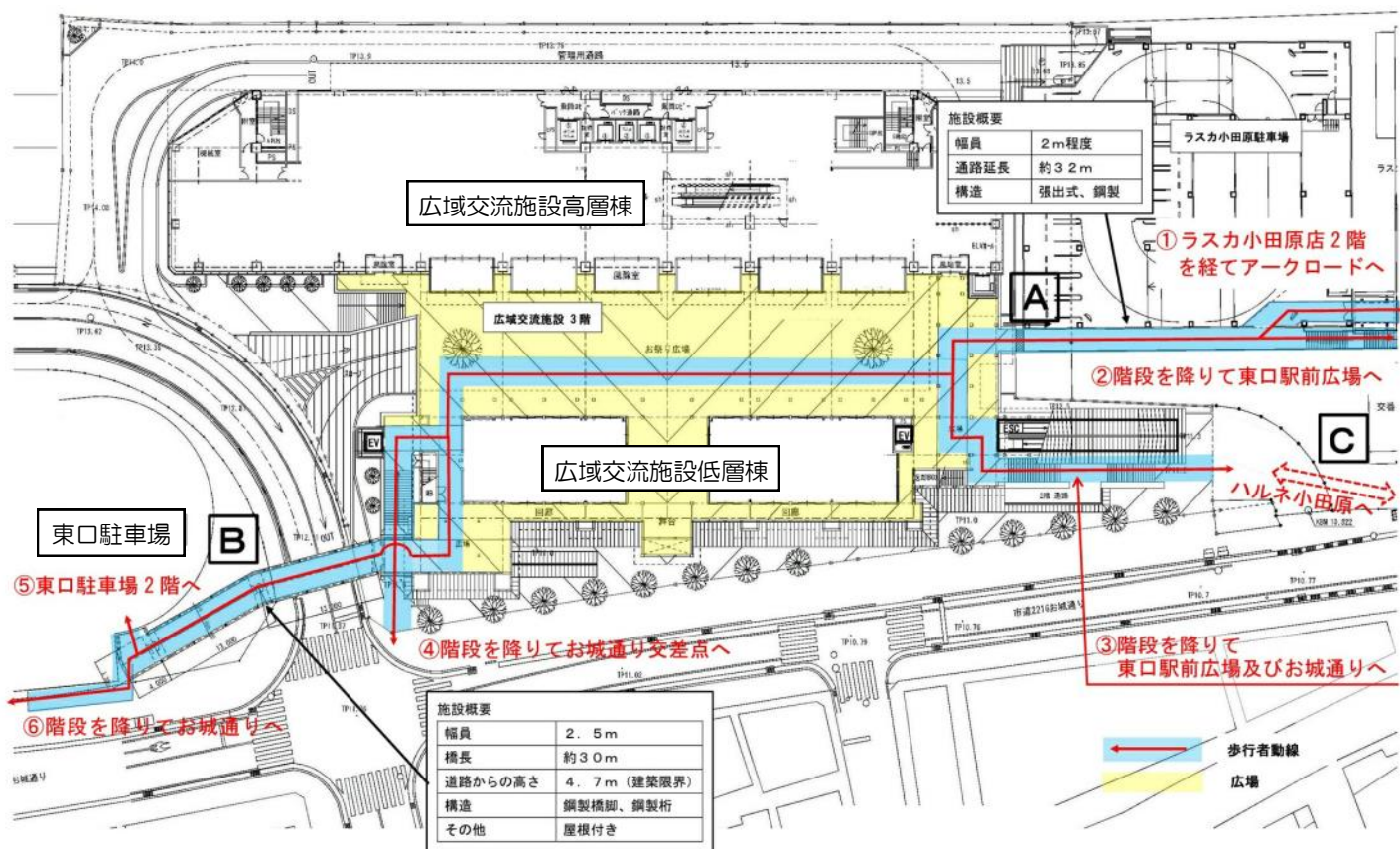


図1 広域交流施設と小田原駅周辺施設の接続(案)

お城通り地区再開発事業の小田原駅周辺施設の接続案が示されました。

■駅ビルとの接続について 図

- ・広域交流施設3階の広場から、建設中のラスカ駐車場施設を利用して駅ビルラスカの2階に接続する歩行者通路を整備する。
- ・歩行者通路は、湘南ステーションビル株式会社が整備、市が管理する方向で、協議を進めている。

■東口駐車場との接続について 図

- ・広域交流施設3階の広場と東口駐車場2階を接続する上空連絡通路整備する。
- ・上空連絡通路は、市の負担により整備・管理する方

向で、万葉倶楽部株式会社と協議を進めている。

- ・上空連絡通路は、屋根の設置を予定している。

■小田原地下街(ハルネ小田原)との接続について 図

- ・広域交流施設の駅側エントランス(階段エスカレータ)と、ハルネ小田原との間を結ぶ、地下通路(エスカレータ)整備に向けた検討を進めている。
- ・整備予定箇所には、地下埋設物が縦横に輻輳していることから、詳細な調査の後設計を行う。

これにより、東口駐車場2階と広域交流施設3階とペDESTリアンデッキが段差なく接続されます。

裏面に続く

東口駐車場との接続について

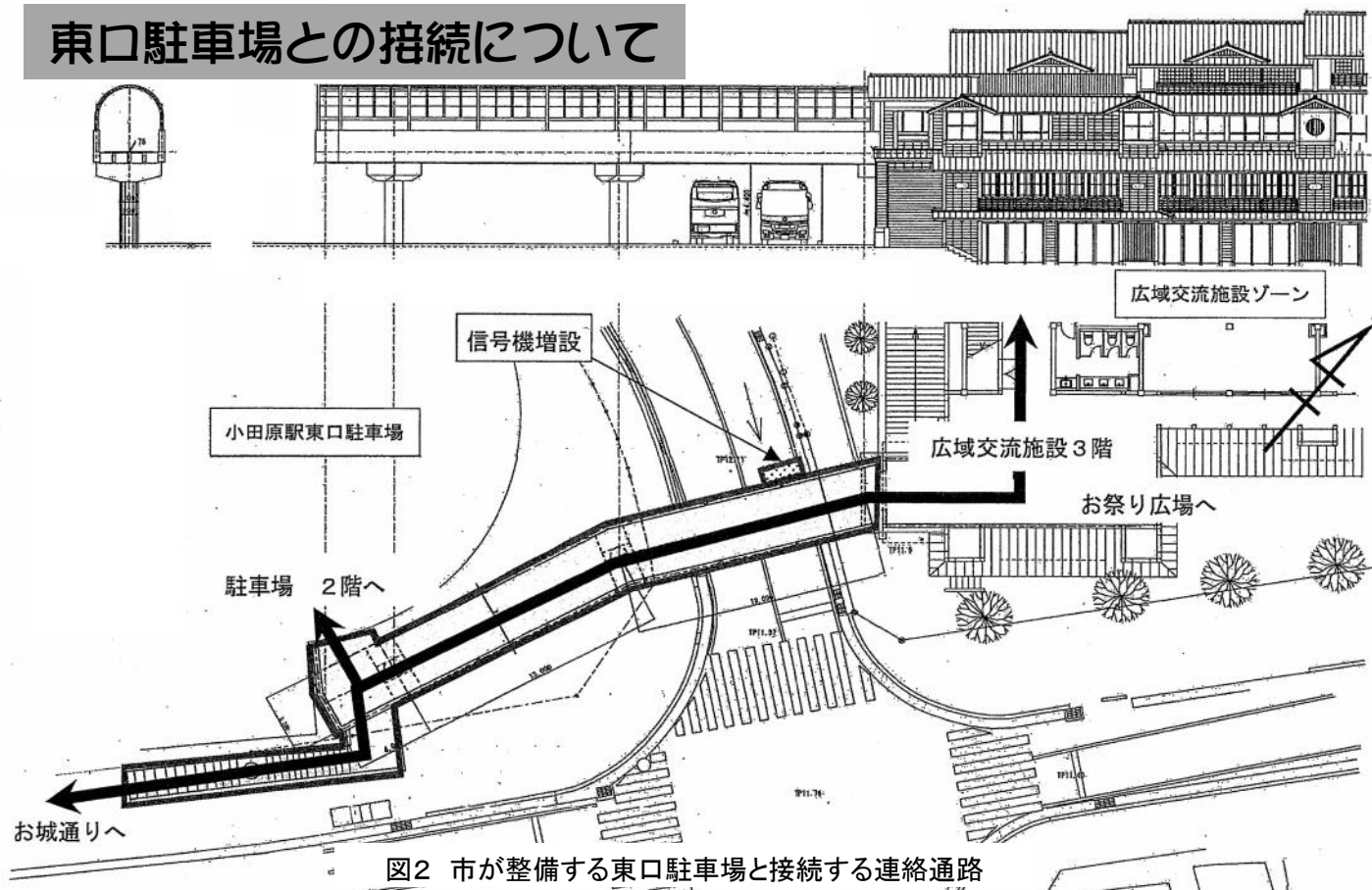


図2 市が整備する東口駐車場と接続する連絡通路

お城通り地区再開発事業の広域交流施設と東口駐車場を接続する連絡通路を図2に示します。

これは、前頁の通り市が整備することになっており市議会12月定例会に2ヵ年度の継続費の設定が提案されています。

表1 広域交流施設連絡通路事業費内訳 (万円)

	業務内訳	年割額	国庫	市債	一般財源
2018	調査・設計	5025	1609	1440	1977
	設置工事費	1億2000	6000	5400	600
2019	設置工事費	1億0000	5000	4500	500
	信号機増設	1200		900	300
	歩道復旧費	500			500

事業費は総額で 2億8725万円

うち国庫支出金 1億2609万円

市債 1億2240万円

一般財源 3876万円 となります。

約30mの連絡通路ですので、通路1m当たり約960万円になります。

なお、広域交流施設の地下1階は、**80台の駐車場**、高層棟1～2階部は吹き抜けの**観光バス乗降場**、高層棟10～13階**ホテル客室(173室)**、低層棟4階**ホテル客室(和室15室)**や、**商業店舗面積計2640㎡**の規模となり、小田原駅東口周辺の**交流人口増が、昼夜間共に期待されています。**

一方、死角の増加も想定されることから防犯対策やホームレス対策も必要です。

駅周辺が住み易くなるかは、課題があります。

武松忠議会報告会

12月の武松忠議会報告会について

日時場所 12/22(土)18:00～ おだわら市民交流センターUMECO 会議室8

テーマ 「2018年を振り返って」 参加費 100円

終了後 実費で懇親会を行います。



twitter : @ttakemat

facebook: <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

12月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

160,130円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代) 25,291円
交通費(駐車場、燃料代) 11,912円
通信費(携帯電話代、折込代、郵送代) 120,427円
支出計 18/12/1~19/1/6 160,130円

寄付 Kさん 5,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
19/1/7

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

第179号

22500部発行

公共施設再編基本計画

財源不足 約1070億円を500億円に

基本計画の概要を示します。(素案は下QRコードで)

1 背景・目的

本市の公共建築物は、老朽化が進行し、今後多くの施設が建替え等の時期を迎える一方、人口減少や少子高齢化に伴う税収の減少や扶助費の増加等により、建替え費等の財源不足が見込まれています。

そこで、今後の厳しい財政状況の中、公共建築物に係るこれまでの取組を踏まえながら、施設の安全・安心な利用、持続可能な行政サービスの提供を実現するために、複合化や統廃合を含めた施設の機能・配置の適正化及び総量縮減を図ることを目的として「小田原市公共施設再編基本計画」を策定することとなりました。

公共施設再編基本計画(素案)→



2 計画の概要

(1) 公共施設再編基本計画の概要 (P.1~2)

計画策定の背景・目的、計画期間、対象施設等を示しました。

- ・計画策定の目的 公共施設の機能
- ・配置の適正化及び総量縮減
- ・計画期間 2019年度~2046年度(28年間)
- ・計画対象施設 本市が保有し、又は管理している公共建築物195施設

(2) 公共施設をとりまく現状と課題 (P.3~7)

本市の人口の推移、財政状況及び公共施設の保有状況を分析し、公共施設の抱える課題をまとめました。

(3) 公共施設再編の目標・取組の方向性

小田原市公共建築物マネジメント基本計画(2017年3月)における目標や取組に基づいて、財源不足約1070億円の解消ほか公共施設再編の目標を定めました。

(4) 公共施設再編の方針

ア 施設分類別の再編の方針 (P.11~36)

施設を15の大分類、26の中分類に区分して、施設の老朽化、耐震性、劣化状況、利用状況、コストなどを整理し、課題を捉えて再編の方針を定めました。

イ 地域別の再編の方針 (P.37~48)

市域を6地域(中央地域、富水・桜井地域、川東南部地域、川東北部地域、片浦地域、橘地域)に分け、

人口推移、施設の保有量、自然災害リスク、将来都市構造などを整理し、課題を捉えて再編の方針を定めました。

ウ 広域的な施設の再編の方針 (P.49)

サービス提供範囲を「広域」又は「市域」に位置付ける施設を対象に、近隣市町の公共施設や広域連携の現状を踏まえて再編の方針を定めました。

(5) 再編効果の試算 (P.50~54)

ア 延床面積と長期保全費用の見通し

本計画を実施した場合の延床面積は、2046年度末までに、-7万4766㎡(-12.8%)。

また、長期保全費用は、現状1821億円を、2046年度末までに1318億円(-503億円:-27.6%)。

本計画を実施してもなお、約500億円の財源不足が見込まれています。(17.8億円/年:9350円/人)

イ 今後の課題

(ア) 長期保全費用の不足額(約500億円)

(イ) 旧耐震基準の建物の長寿命化

(ウ) 建設物価の上昇 (I) 投資可能額の減少

ウ 課題解決へのビジョン

(ア) 更なる施設再編

(イ) 公民連携の推進及び管理運営の効率化

(ウ) 財源の確保

(6) 公共施設再編の進め方 (P.55~58)

計画の進捗管理と計画の見直し、計画の推進体制、再編跡地等の有効活用及び計画の対象施設としなかった民間施設等との連携についてまとめました。

(7) 短期的に取り組む主な事業 (P.59~60)

公共施設の再編を推進するために、短期的(H31~H38)に取り組む主な事業を位置付け、事業の視点、事業概要及びロードマップを示しました。

(8) 個別施設の再編のシミュレーション(P.61~78)

再編効果の試算に当たり、個別施設を機能と建物に分けて短期及び中長期の再編方針を定めました。

(9) 市民参加の試行 (P.79~86)

計画策定と並行し、市内の2地区をモデルに実施した市民参加のワークショップについて、概要、開催結果及びワークショップの成果の活用について示しました。

裏面に続く

主な施設の再編方針

■集会施設

- ・市民活動支援等施設は、市民協働や市民交流によるまちづくりの拠点として、計画的な維持管理を進めます。
- ・集会施設は、地域活動の場として当面の安全確保に努めながら、地域への移管や地区公民館の活用を含めて、公共施設としての位置づけの見直しを検討します。
- ・地域センターは、地域活動や生涯学習活動の場として維持し、計画的に維持管理を進めますが、今後の利用状況やコスト状況を踏まえて、他施設との複合化や民間活力の導入等を検討します。
- ・地域コミュニティ組織の活動の場について、集会機能を有する施設の再編に併せて、民間施設の活用も含め、機能の確保を検討します。

■市民会館

- ・市民会館は、市民ホールが開館するまでは必要最小限の修繕を行い安全確保に努めるとともに、市民ホール開館後は市民の安全を考慮して早期に建物を除却します。
- ・除却後の跡地活用を検討します。
- ・市民ホールは、近隣市町の文化施設との相互利用や機能分担等の広域連携、利用率を高めるための利用促進の方法を検討します。

■スポーツ施設

各施設の利用状況やコスト状況、類似施設の分布状況等を踏まえて、統廃合や複合化、運営の効率化広域連携の拡張、今後のあり方等を検討します。

■観光施設

歴史文化・観光・地域情報の発信拠点として、国内外の観光客を対象とした機能の拡充を図るとともに、計画的な維持管理や運営の効率化を進めます。

2018年を振り返る

小田原市の2018年を振り返ってみます。
個人的に順位付けしてみました。

■第1位 法定期限内での中核市への移行見送り

見送りの理由を施政方針で市長は、「大きな事務の負担を要する厳しい行財政改革と中核市への移行に並行して取り組むことは困難であり、まずは基礎自治体として、安定的に行政サービスを提供することのできる強固な行財政基盤を確立することを優先すべきであると判断した。」と述べています。この判断は、極めて賢明であり高く評価しています。

■第2位 人口減少

4月1日の人口は、19万1325人、前年同月比1531人減となりました。（月刊武松172号）
人口増減の地域格差（月刊武松173号）

■第3位 支所等住民窓口の再編

16ヶ所⇒5ヶ所 併設の生涯学習センター分館等

も廃止（月刊武松174号）

■第4位 市立病院再整備基本構想

事業費最大225億円、2024年供用開始の予定です。2019年秋までに基本設計を行います。これはあくまでも現地再建が可能となった場合の想定で、不可能となった場合は、新たに事業用地の取得やその後の基本設計となるため、事業費の増大と、供用開始の大幅な遅れが危惧されます。（月刊武松175号）

■市民ホール

実施設計完了間近。小ホールの袖壁の廃止で平土間使用時の空間拡大等設計変更。

■小田原市斎場

エレベータ定員増や用地取得の遅れにより供用開始が2019年7月（3ヶ月遅れ）となりました。

■小中学校普通教室におけるエアコン設置

7月から供用開始の予定です。

駅頭配布20年になりました。（1999年1月から）

武松忠議会報告会

日時 1月26日（土）18:00～20:00
場所 おだわら市民交流センターUMECO 会議室9
テーマ 「公共施設再編基本計画について」
参加費 100円 終了後実費で懇親会を行います。



公式HP



twitter



facebook



月刊武松2018発行分

1月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

104,029円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	16,609円
交通費(駐車場、燃料代)	8,723円
会場費(議会報告会)	1,000円
通信費(携帯電話代、折込代)	77,697円
支出計 19/1/4~19/1/31	104,029円
寄付 中川さん	5,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
19/2/1

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

第180号

22500部発行

平成の30年間を振り返って

人口:同規模 扶助費:4倍 硬直化する財政 初期に大規模施設整備

様々な所で、平成が振り返られています。小田原市について振り返ってみたいと思います。

■ピークより9600人減る

小田原市の総人口については、19万0495人(1989/1/1)と19万0999人(2019/1/1)で、ほぼ変わりがありませんが、図1に示す通りピークからは約9600人減っています。

図1 小田原市の人口推移 各1/1現在

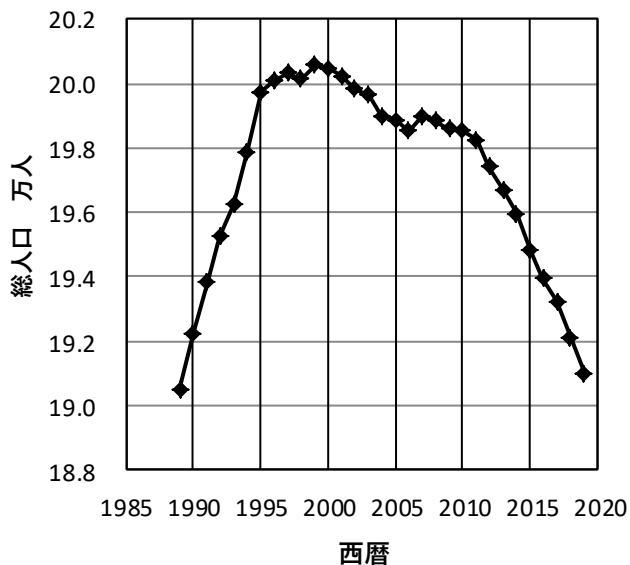


図2 3年齢区分別人口比率

■15歳未満 □15~64歳 ■65歳以上

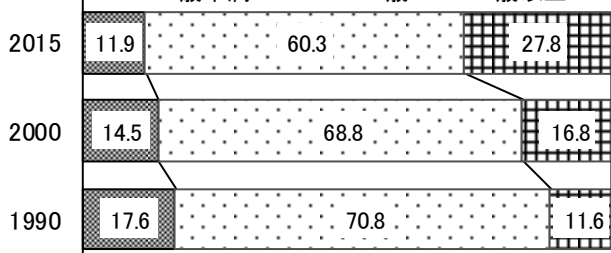


図2の3年齢区分別人口比率で1990年と2015年を比較すると、**15歳未満比率**では、17.6%が11.9%と**1/3減**となっています。

65歳以上比率では、11.6%が、27.8%となり、**2.4倍**になっています。

65歳以上人口比率に対する15~64歳割合の比率、すなわち何人の生産年齢で一人の高齢者を支えているかという比率は、

$70.8 \div 11.6 = 6.1$ 人(1990)

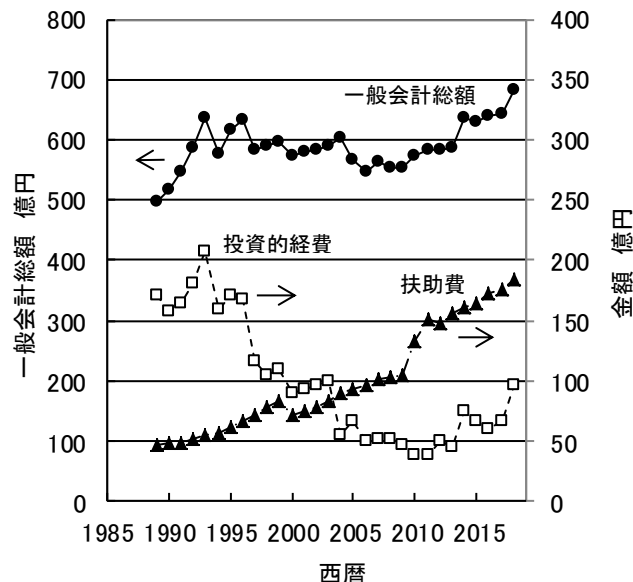
$60.3 \div 27.8 = 2.2$ 人(2015) となります。

■硬直化する財政

図3に一般会計の推移を示します。**投資的経費**(道路、橋、公園、学校、市営住宅の建設等の整備)は、一時期はピークの1/4まで落ち込んでいましたが、近年の伸びは斎場と焼却場の整備によるものです。

扶助費(医療費助成、児童手当、障害者自立支援給付、民間保育所の運営、生活保護扶助費)は、**30年で4倍**の183.6億円まで、直線的に伸びています。

図3 一般会計、扶助費、投資的経費の推移



平成年代の箱物整備

かながわ・ゆめ国体（1998）に向けスポーツ施設の建設が進みました。4000㎡以上は太字

- 1989 小峰庭球場 27㎡
下曽我小学校 5928㎡
多古しらさぎ会館 1006㎡
- 1990 小田原球場 4050㎡
浅原住宅 5439㎡
上府中公園 49㎡
辻村植物公園
扇町クリーンセンター 803㎡
久野霊園 221㎡
- 1992 梅の里センター 1164㎡
生きがいふれあいセンター「いそしぎ」
5312㎡
看護師寮(白梅寮) 4810㎡
下曽我支所 56㎡
水道局庁舎 3081㎡
- 1993 小田原フラワーガーデン 2785㎡
- 1994 かもめ図書館 5657㎡
大窪小学校 7470㎡
消防本部庁舎 4289㎡
下水道コミュニティホールかるがも 307㎡
- 1995 上府中公園スポーツ広場
三の丸小学校 9599㎡
川東タウンセンターマロニエ 8250㎡
マロニエ子育て支援センター 198㎡
マロニエ住民窓口 224㎡
サンサンヒルズ小田原 3201㎡

- 1996 小田原アリーナ 1万6200㎡
サンサンヒルズ小田原 3201㎡
下中老人憩の家 257㎡
鴨宮ケアセンター 514㎡
歯科二次診療所 594㎡
- 1997 小田原テニスガーデン 674㎡
酒匂川スポーツ広場 407㎡
曽我保育園 320㎡
国府津駅前窓口コーナー 53㎡
消防荻窪出張所 279㎡
リサイクルセンター 1471㎡
栄町駐車場 8599㎡
- 1999 曽我みのり館 346㎡
- 2000 わんぱくらんど 661㎡
- 2003 アークロード市民窓口 71㎡
西口第1自転車駐車場
西口第2自転車駐車場
- 2005 城内弓道場 136㎡
城北タウンセンターいずみ 1188㎡
いずみ子育て支援センター 118㎡
いずみ住民窓口 44㎡
東口自転車駐車場 10㎡
- 2006 消防南町分署 1411㎡
- 2007 橘タウンセンターこゆるぎ 1050㎡
こゆるぎ子育て支援センター 97㎡
こゆるぎ住民窓口 40㎡
- 2010 酒匂川防災ステーション 243㎡
- 2013 社会福祉センター 1601㎡
- 2014 障がい児通園施設つくしんぼ教室 460㎡

1993年まで競輪からの繰入が年間30億円以上あり、小学校や図書館の整備も進みました。

会派が変わりました

1/31をもって、同じ会派の大村学議員が、県議選に向け議員辞職した為、3人会派であった政和が会派構成要件を満たさなくなりました。

協議の上、私と川崎雅一議員は、志民の会（細田代表、安野副議長、鈴木敦子議員）に合流することになりました。

改選まで3ヶ月ですが、しっかりと予算審査に取り組んでいきたいと思います。

駅頭配布20年！

武松忠議会報告会

日時 2月23日（土）18:00～20:00
場所 おだわら市民交流センターUMECO 会議室8
テーマ 「市民ホール実施設計について」 テーマが変わる場合もあります。
参加費 100円 終了後実費で懇親会を行います。



公式HP

月刊武松のつたがへ他



twitter

防災・インフルエンザ情報



facebook



Instagram

建物・花・風景

4年間の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

3,322,739円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	642,436円
交通費(駐車場、燃料代)	458,953円
会場費(議会報告会)	21,400円
通信費(携帯・折込・郵送代)	2,199,950円
支出計 15/3/2～19/2/28	3,322,739円

市政を考える 月刊武松

発行日
19/3/1

第181号

22500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

市民ホール実施設計まとまる

大ホール1103席・小ホール296席or平土間・ギャラリー213㎡

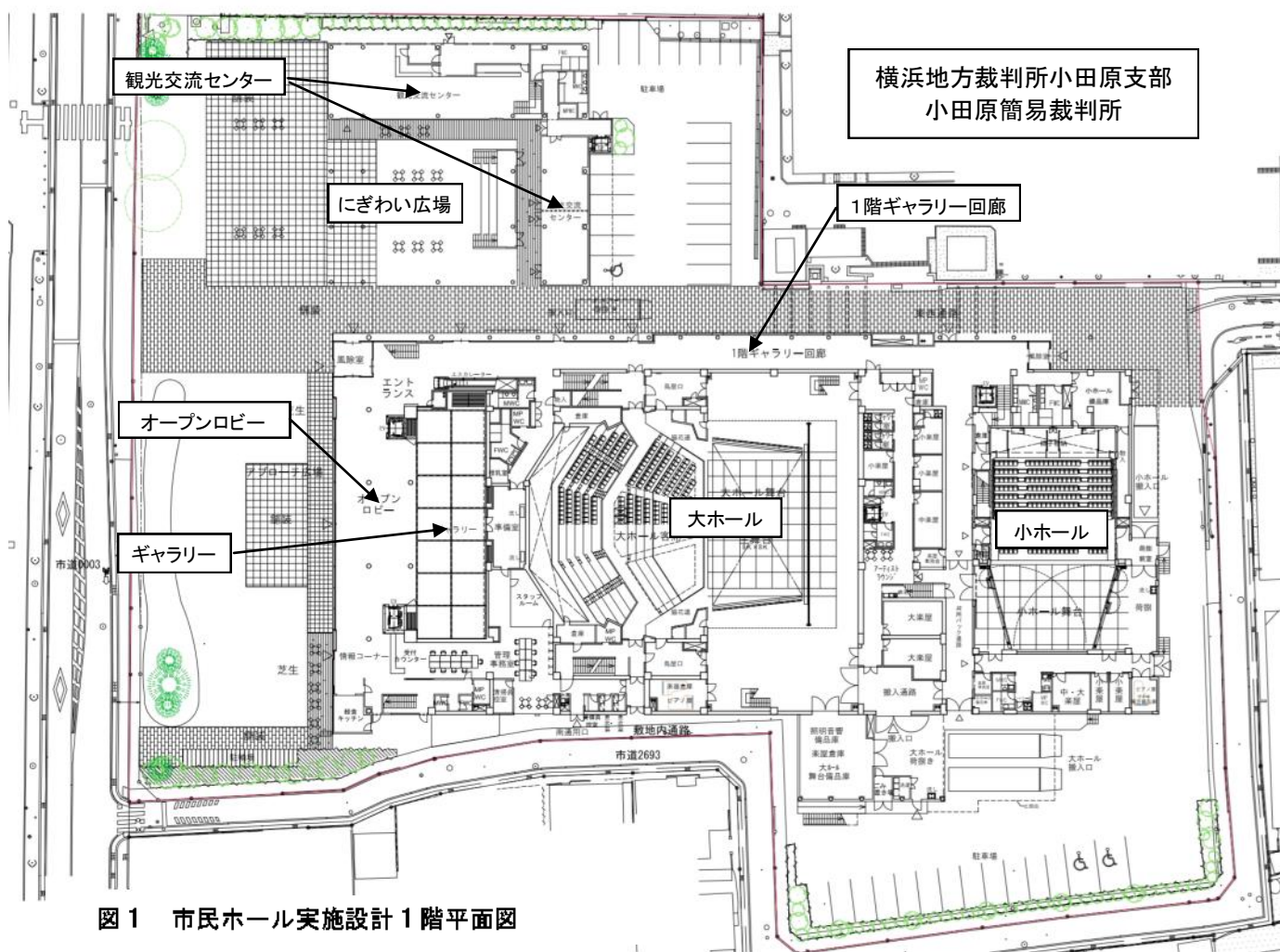


図1 市民ホール実施設計1階平面図

■市民ホール実施設計の概要

大ホール 多様な演目に対応できる多目的ホール

- ・客席数 1103席 ・楽屋 6室
- ・舞台寸法8×8間(14.4m×14.4m)
- ・オーケストラピットを設置

小ホール 主に市民の使用

- 大ホールのリハーサル 平土間利用可
- ・客席数 296席(可動席を含む) ・楽屋 3室
- ・舞台寸法 6×5間(10.8m×9.0m)

ギャラリー 平面作品だけでなく、多様な表現を持つ現代の芸術作品、立体作品の展示に対応

- ・面積 212.7㎡ ・有効天井高 4.0m
- ・有効展示長 最大140.6m

他ギャラリー回廊と小ホール平土間の合計296.3m

創造系 中スタジオ 1室 小スタジオ 3室

交流系 オープンロビー、情報コーナー、カフェ等

■建設費 60億2640万円(観光交流センター除く)

今期のまとめ

4年間の活動や出来事をまとめてみます。

■月刊武松発行

第151-181号の31号発行（計56.6万部）

■月刊武松駅頭配布

31号×9日/月=279日

■4年間の主な出来事

2015年度

- ・市議会議長就任（任期2年）
- ・小田原市斎場PFI事業者募集手続き一部延期
→工期等延長し募集
- ・小田原城耐震工事 総事業費：約9億9000万円
耐震壁等設置、スリット（切り込み）加工
屋根補修、外壁全面塗装、
機械設備工事、電気（空調）設備工事、
展示制作設置業務（摩利支天空間再現業務含む）他
- ・芸術文化創造センター入札不調
予定価格 72億9748万6560円（税込み）
入札価格 93億8844万円（税込み）
入札結果 不調（予定価格超過）
中堅ゼネコン1社による不落、約21億円の予定
価格超過となる。
- ・小田原駅東口の開発進む
11/19 小田原駅東口駐車場オープン
11/28 市民交流センターUMECOオープン
11/27 トザンイーストオープン
- ・芸術文化創造センター今後の整備方針探る
市場調査から、事業提案（設計・施工一括発注方
式）を軸に、整備の可能性を探る。

2016年度

- ・市議会県西地域のあり方に関する調査特別委員会
6/28 設置
- ・小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する
任意協議会の設置（10月）

・市民ホールに名称変更

機能と規模を限定、建設費を圧縮。

建設費：63億円程度

整備手法：事業提案（設計・施工一括発注方式）

2017年度

- ・小田原市斎場建設工事着手
- ・市議会議長退任
- ・小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する
任意協議会
協議結果に基づいて合併を推進することが望ま
しいとまとめ、協議を終了。
- ・南足柄市長が合併見送り
南足柄市加藤市長が12/1の本会議で合併を見送
ると答弁。
- ・両市長が合併見送りを表明

2018年度

- ・中核市への移行を見送り
小田原市加藤市長が施政方針で見送ると表明
- ・人口減少が進む
- ・支所等住民窓口の再編 16ヶ所⇒5ヶ所
併設の生涯学習センター分館等も廃止
- ・市立病院再整備の検討進む
事業費：最大225億円 2024年供用開始
- ・小中学校普通教室にエアコン
2019/7から 事業予算21億9927万円
- ・市民の火葬料が有料に
新斎場供用開始の2019/7から1.2万円に
- ・市民ホール 工事請負契約の締結

今期を振り返ると、一番の課題は、南足柄市との
合併協議関係でした。私も協議の途中から合併反対
の立場を明確にし、結果的に合併と中核市移行を見
送りにすることが出来ました。

来期の最大の課題は、市立病院再整備です。現地
再建できるか否かで事業費と工期が大きく変わっ
てきます。また入札不調を起こさないように整備手
法を決めていかなければなりません。

駅頭配布20年！

武松忠議会報告会

- ・3月の議会報告会は、都合により中止します。
- ・4月と5月の月刊武松発行配布は、選挙公示期間とその後の事務処理の為
行いません。
- ・再当选すれば6月から月刊武松発行配布を再開します。



公式HP

月刊武松の「つたが」他



twitter

防災・インフルエンザ情報



facebook



Instagram

建物・花・風景

